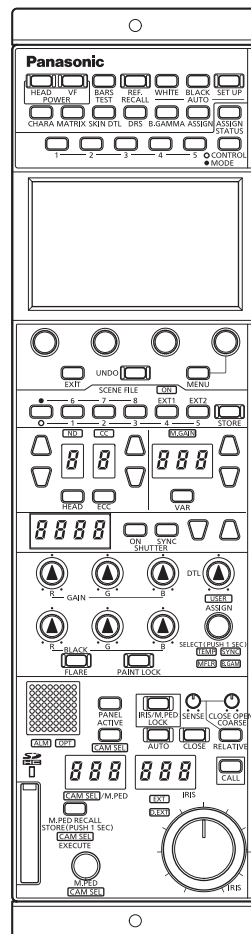


取扱説明書

リモートオペレーションパネル

品番 **AK-HRP1000**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に、「安全上のご注意」（4～6ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

目次

安全上のご注意（必ずお守りください。）	4	マスターゲイン（M.GAIN）の表示と設定のしかた	41
はじめに	7	シャッター（SHUTTER）	42
本書の見かた	7	シャッター（SHUTTER）の表示と設定のしかた	42
商標および登録商標について	7	マスターペDESTAL（M.PED）	43
著作権について	7	マスターペDESTAL（M.PED）の表示、設定のしかた	43
本書内のイラストや画面表示について	7	アイリス（IRIS）	44
個人情報の保護について	7	アイリス（IRIS）の表示、設定のしかた	44
略称について	7	SELECTダイヤル	46
概要	8	SELECTダイヤルの使いかた	46
おしらせ	9	カメラの選択	47
必要なパーソナルコンピューター環境	9	ステータス画面	48
免責について	9	ステータス画面の表示と操作	48
ネットワークに関するお願い	9	ステータス画面に表示される項目	49
ユーザー認証について	9	OPT LEVEL	49
使用時の制約事項	10	CAM INFO	49
メモリーカードについて	10	SCENE	49
アップグレード用ソフトウェアについて	10	ASSIGN	50
周辺機器のソフトウェアについて	10	ASSIGN ステータス画面	51
各種ファイルについて	10	ROPメニュー	52
特長	11	メニュー表示のしかた	52
付属品	12	基本的なメニュー操作のしかた	53
使用上のお願い	13	その他のメニュー操作のしかた	54
設置上のお願い	14	ROPメニュー一覧	55
ラックマウント用金具の取り付け/取り外し	15	01 PAINT SWITCH	68
ラックへの取り付け（ラックマウント）	15	02 SHUTTER SPEED	69
接続	16	03 BLACK SHADING	70
動作モード	16	04 PEDESTAL	71
動作モードの設定手順について	16	05 HD CHROMA	72
シリアル接続とIP接続の切り替えについて	16	06 UHD CHROMA	73
システム接続構成	17	07 RGB GAIN	74
CCUとの接続	17	08 COLOR TEMP	75
各部の名前とはたらき	19	09 ECC	76
前面パネル1	19	10 CAM USER SW TEMP	77
前面パネル2	22	11 WHITE SHADING	78
前面パネル3	23	12 FLARE	79
前面パネル4	24	13 GAMMA	80
前面パネル5	25	14 BLACK GAMMA	81
前面パネル6	27	15 KNEE	82
前面パネル7	28	16 WHITE CLIP	83
前面パネル8	30	17 DRS	84
前面パネル9	33	18 HD DETAIL	85
コネクター	34	19 UHD DETAIL	87
調整と設定	35	20 SD DETAIL	88
オートセットアップ	35	21 HD SKIN TONE DTL	89
オートセットアップのしかた	35	22 UHD SKIN TONE DTL	91
シーンファイル	36	23 LINEAR MATRIX	93
シーンファイルの登録と呼び出しのしかた	36	24 COLOR CORRECTION	95
PAINT LOCK	37	25 SKIN CORRECTION	98
PAINT LOCKの使い方	37	26 DNR	99
NDフィルター	38	27 SHUTTER SELECT	100
NDフィルターの表示と設定のしかた	38	28 LENS FILE/EDIT	101
CCフィルター	39	29 MONITOR	103
CCフィルター表示、設定のしかた	39		
色温度（ECC）	40		
色温度（ECC）設定のしかた	40		
マスターゲイン（M.GAIN）	41		

30 SYSTEM CAM	104
31 SYSTEM CCU	106
32 CAMERA MENU CONTROL	108
33 CCU MENU CONTROL	109
34 ROP SETTING	110
35 CONNECT SETTING	115
36 ROP IP SETTING	117
37 CAMERA IP SETTING	119
38 SD CARD STORE	121
39 SD CARD LOAD	122
40 REFERENCE	124
41 AUTO IRIS SETTING	125
42 HDR-PAINT	126
43 LENS CONTROL	128
ソフトウェア	129
IP接続	129
IP接続の手順について	129
パーソナルコンピューターの接続、設定	129
機器のIPアドレスの設定	130
ROPの各種設定	130
IP簡単設定ソフトウェア	131
ソフトウェアのインストールと起動	131
機器のIPアドレスを設定する	131
ROPセットアップソフトウェア	133
ROPセットアップソフトウェアのご使用に関するお 知らせ	133
ROPセットアップソフトウェアへ本機を登録する [ROP List]	133
本機の機器設定を行う[Configuration]	135
カメラとの接続設定をする[Camera List]	135
ユーザー認証の設定を行う[UserAuth.]	138
資料	140
コネクターピンアサイン表	140
1 〈CCU〉 コネクター	140
2 〈LAN〉 コネクター	140
外形寸法図	141
保証とアフターサービス（よくお読みください）	142
修理を依頼される時	142
定格	143
総合	143
索引	144

安全上のご注意（必ずお守りください。）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



■本機の設置や接続工事は販売店に依頼する

（設置や接続工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。）
⇒必ず販売店に依頼してください。



■電源を入れたまま設置や接続工事、配線をしてはいけない

（火災や感電の原因となります。）

異常、故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグを抜く

■異常があったときは、ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルを抜く

〔内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき〕

（そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。）

⇒本機を電源から完全に遮断するには、ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルを抜く必要があります。
⇒お買い上げの販売店にご相談ください。



■ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルは、根元まで確実に差し込む

（差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。）

⇒傷んだケーブルやゆるんだケーブルのまま使用しないでください。

（ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。）

■ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルのほこりなどは、定期的にとる

（本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。）

■付属品・オプションは、指定の製品を使用する

（本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。）



■ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルが破損するようなことはしない

〔傷つける、加工する、高温部や熱機器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど〕

（傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。）

（ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。）







■内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない





（ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。）

⇒機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。

■不安定な場所に置かない

（落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。）

 警告	
 分解 禁止	<p>■分解や改造をしない （内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。） ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 接触 禁止	<p>■雷が鳴り出したら、本機やROPケーブル、PoE給電のLANケーブルには触れない （感電の原因になります。）</p>
 水場使 用禁止	<p>■水場で使用しない （火災や感電の原因になります。）</p>
 ぬれ手 禁止	<p>■ぬれた手でROPケーブル、PoE給電のLANケーブルやコネクタに触れない （感電の原因になります。）</p>
	<p>■振動や強い衝撃を与えない （火災や感電の原因となります。）</p>
	<p>■開口部に手を入れない （けがや感電の原因となります。）</p>
	<p>■メモリーカード（別売品）は乳幼児の手の届くところに置かない （誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。） ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>

 注意	
	<p>■本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない、横倒し、逆さまにしない] （内部に熱がこもり、火災の原因になります。）</p>
	<p>■油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない （電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。）</p>
	<p>■直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない （特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になりますので、外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。） ⇒ 本機を絶対に放置しないでください。</p>
	<p>■ROPケーブルやPoE給電のLANケーブル、コネクタを抜くときは、コードを引っ張らない （コードが傷つき、火災や感電の原因になります。） ⇒ 必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。</p>
	<p>■本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない （落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。）</p>
	<p>■コードを接続した状態で移動しない （コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。）</p>
	<p>■落としたり、破損させたりしない （本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。） ⇒ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>
 電源プラグを抜く	<p>■長期間使用しないときや、お手入れのときは、ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルを本機から抜く （火災や感電の原因になります。）</p>
	<p>■1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談をする （本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。）</p>

はじめに

本書の見かた

商標および登録商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Internet Explorer®は、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel® Core™は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為には禁じられています。

本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当しません。^{*1}

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

*1：経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- SDメモリーカードとSDHCメモリーカードは、いずれも「メモリーカード」と記載しています。それぞれを分けて説明する場合は、個別に記載しています。
- スタジオハンディカメラを「カメラ」と記載しています。
- カメラコントロールユニットを「CCU」と記載しています。
- リモートオペレーションパネルを「ROP」と記載しています。

また本書では、機器の品番を次のように記載しています。

機器の品番	本書での記載
AK-HC5000	AK-HC5000
AK-HC5000S	
AK-UC3000	AK-UC3000
AK-UC3000S	
AK-UC4000	AK-UC4000
AK-UC4000S	
AK-HRP1000	AK-HRP1000
AK-UCU500	AK-UCU500
AK-UCU500S	
AK-UCU600	AK-UCU600
AK-UCU600S	

概要

本機はスタジオハンディカメラ（AK-HC5000：別売品、AK-UC3000/AK-UC4000：別売品）およびカメラコントロールユニット（AK-UCU500/AK-UCU600：別売品）を制御するリモートオペレーションパネルです。

スタジオハンディカメラとカメラコントロールユニット間は、専用の光ファイバermalチケーブルで接続し、本機とカメラコントロールユニット間は、ROPケーブルまたはIPで接続します。

IP接続時は、カメラコントロールユニットを最大99台制御することができます。

おしらせ

必要なパーソナルコンピューター環境

本機に付属するソフトウェアは、下記のWebサイトに示すパーソナルコンピューターでご使用ください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- 取り付け方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと
- 本体やメモリーカードまたはパーソナルコンピューターに保存された画像データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用する機能もあります。

ネットワークへ接続して使用するときには、以下のような被害を受けることが考えられます。

- 本機を経由した情報の漏えいや流出
- 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアーウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。

また、以下の点にもご注意ください。

- 本機やケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

ユーザー認証について

ネットワークに接続する場合、本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないためには、ユーザー認証を有効にしてアクセスを制限するなどの対策を実施してください。

使用時の制約事項

接続する機器のネットワーク環境は、本機のネットワーク設定と同一のセグメントを推奨します。

セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。

メモリーカードについて

本機で使用するメモリーカードは、SD規格/SDHC規格に準拠したものをお使いください。

また、メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

本機では、下記の容量のメモリーカードが使用できます。

SD:	8 MB ~ 2 GBまで
SDHC:	4 GB ~ 32 GBまで

なお、SDXCメモリーカードには対応していません。

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のWeb サイトをご参照ください。

(日本語) <https://panasonic.biz/cns/sav/>

(英語) <https://pro-av.panasonic.net/>

使用時、保管時は次の点にお気をつけください。

- 高温・多湿を避ける。
- 水滴を付けない。
- 帯電を避ける。

アップグレード用ソフトウェアについて

アップグレード用ソフトウェアは、下記のWeb サイトの「サポート&ダウンロード」から入手することができます。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

アップグレードの手順は、ダウンロードファイルに含まれている手順書に従って行ってください。

周辺機器のソフトウェアについて

本機に接続する周辺機器（カメラ、CCU）は、ソフトウェアのアップデートが必要な場合があります。

詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

各種ファイルについて

シーンファイル	絵作り用のデータです。
リファレンスファイル	ユーザーファイルとファクトリーファイルを総称してリファレンスファイルと呼びます。
ユーザーファイル	シーンファイルとオペレーションデータで構成されるシステムセッティング用のデータです。ユーザーによる登録が可能です。
ファクトリーファイル	工場でのカメラ設定を記憶したリファレンスファイルです。
レンズファイル	レンズ固有の特性を補正するデータです。
ROP設定ファイル	ROP固有の設定データです。

特長

- 本機はスタジオハンディカメラ（AK-HC5000/AK-UC3000/AK-UC4000）およびカメラコントロールユニット（AK-UCU500/AK-UCU600）を制御するリモートオペレーションパネルです。
- メモリーカードへシーンファイルやユーザーファイル、レンズファイルを保存できます。
- シリアル接続で、CCU（AK-UCU500/AK-UCU600）を1台接続することができます。
- ネットワークハブ（スイッチングハブ）（100base-TX）を介して最大99台までのCCUを接続することによって、専用のROPケーブルが不要となります。
- 本機は、PoE*1 搭載です。PoE規格対応のネットワーク機器（IEEE802.3af準拠）*2 に接続できます。
- 付属のIP簡単設定ソフトウェアを使って、本機およびCCUのIPアドレスを設定できます。
- 付属のROPセットアップソフトウェアを使って、カメラ接続の設定ができます。

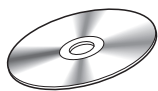
*1：Power over Ethernetの略です。以降「PoE」と表記いたします。

*2：動作確認済みのPoE給電装置については、販売店もしくは当社のサービス窓口にお尋ねください。

付属品

- 包装材料は、商品を取り出したあと、適切に処理してください。

CD-ROM……………1



- IP簡単設定ソフトウェア
- ROPセットアップソフトウェア

使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

■ 取り扱いには注意に

- 落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。

■ 使用温度範囲は、0℃～40℃でお使いください

- 0℃を下回る寒いところや、40℃を超える暑いところでは内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

■ ケーブルの抜き差しは電源を切ってから

- ケーブルの抜き差しは、本機の電源が切れている状態で行ってください。

■ 湿気、ほこりの少ないところで

- 湿気、ほこりの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますので避けてください。

■ お手入れは

- 電源を切って乾いた布で拭いてください。
汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いた後、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。



NOTE

- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

■ 火を近づけないでください

- ろうそく等の炎を機器の近くに置かないでください。

■ 水をかけないでください

- 直接水をかけないでください。故障の原因になります。

■ 廃棄のときは

- 本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

■ 液晶パネルについて

- 液晶パネルのドットについては有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。
- 液晶部を固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。
- 液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。
- 本機を、温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。
- 液晶パネルはその特性上、明るい静止画などの長時間連続表示や、高温多湿環境下での連続使用をすると、残像、輝度低下、焼きつき、すじなどが発生したり、パネルの一部分の明るさが、しみのように恒久的に変化したままになる場合があります。また、次のような環境での連続使用は避けてください。

- 高温多湿になる密閉された場所
- 空調設備の吹き出し口近くなど

上記のような映像や環境での長時間使用は液晶パネルの経年変化を早めます。経年変化の現象を未然に防ぐため、次のことをお勧めします。

- 明るい静止画などは長時間連続して表示しない
- 輝度を下げる
- 使用しない場合は本体（CCUまたはハブの電源）の電源を切る
残像現象は、画面表示を変えることで徐々に解消される場合もあります。

設置上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

本機を設置するときや接続工事を行うときは、必ず、販売店に依頼してください。

■ ケーブルの接続について

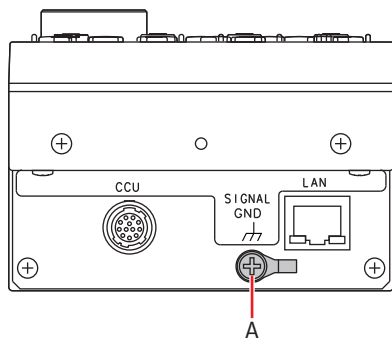
- 必ず専用のROPケーブル（平河ヒューテック製ケーブル20379-FG-SV-10相当品）を使用してください。
- 長時間使用しないときは、節電のためROPケーブルを本機から抜いてください。

■ PoE給電について

- 本機は、IEEE802.3afに準拠しています。PoE給電時には、対応したイーサネットハブ、およびPoEインジェクターをご使用ください。
動作確認済みイーサネットハブ、およびPoEインジェクターについては、販売店にお問い合わせください。

■ 接地について

- 本体の〈SIGNAL GND〉端子から設置を行ってください。



A. 〈SIGNAL GND〉端子

■ 取り扱いはいないに

- 落としたり、強い衝撃や振動を与えたりすると、故障や事故の原因になります。

■ 内部に異物を入れないでください。

- 水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

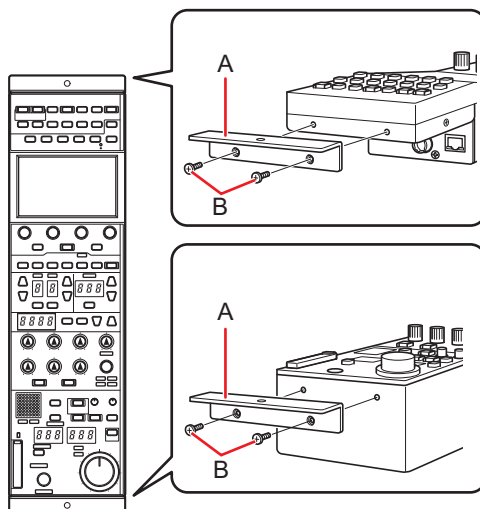
■ 設置場所について

- 本機は、屋内専用の機器です。
- 十分な強度があり、安定した水平な場所に置いて使用してください。
- パネルやテーブルに埋め込んで使用する場合は、通気と配線の空間を十分に確保してください。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください。
- 0℃以下の寒いところや、40℃以上の暑いところに設置しないでください。
- 直射日光の当たるところや温風の吹き出し口付近への設置は避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。

ラックマウント用金具の取り付け/取り外し

ラックマウント用金具は、工場出荷時にあらかじめ本機に取り付けられています。

ラックマウント用金具をお客様にて取り外される場合は、取り付けねじ（4本）をプラスドライバーで取り外してください。



A. ラックマウント用金具

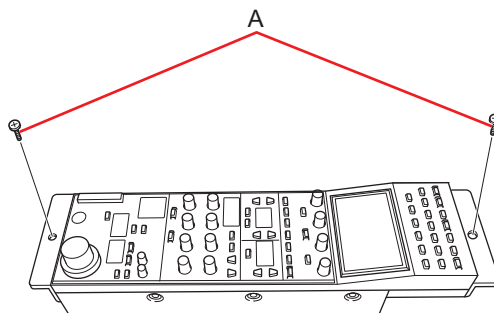
B. 取り付けねじ

- 取り外したラックマウント用金具と取り付けねじは、大切に保管してください。
- 再度、ラックマウント用金具を取り付ける場合は、取り付けねじ（4本）で、締め付けトルク: 50 N・cm以上を目安として取り付けてください。

ラックへの取り付け（ラックマウント）

本機を固定ねじ（2本）でラックに取り付けてください。

- 固定ねじは本機に付属していません。φ5の穴に適用するねじをあらかじめご準備ください。
- ラック内の温度は0℃～40℃に保ってください。



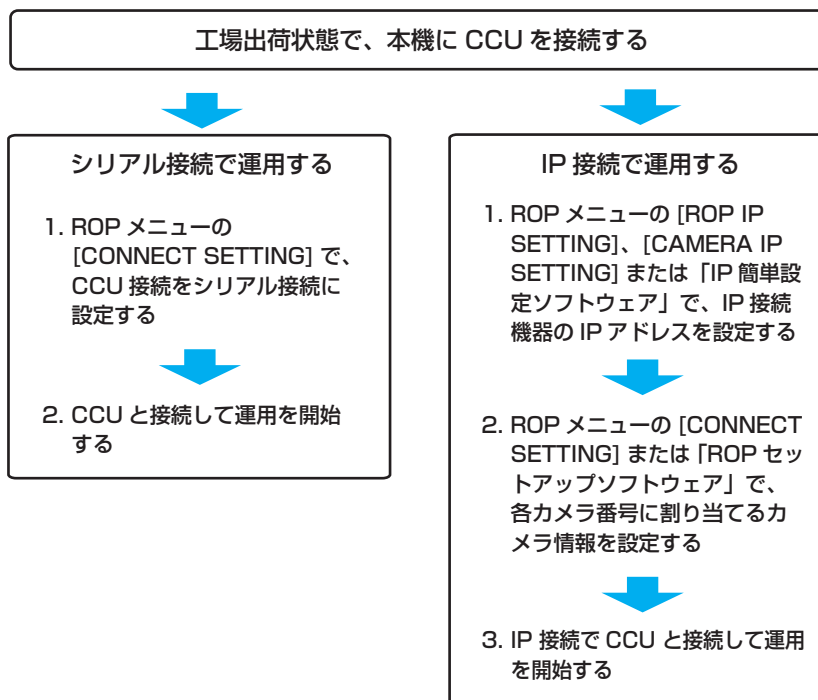
A. 固定ねじ（市販品）

接続

動作モード

動作モードの設定手順について

工場出荷状態で本機にCCUを接続して、動作モードの設定を行ってください。



NOTE

- 運用中にIP簡単設定ソフトウェア、ROPセットアップソフトウェアを起動させないでください。ROPの接続が切れ、運用に支障をきたすおそれがあります。

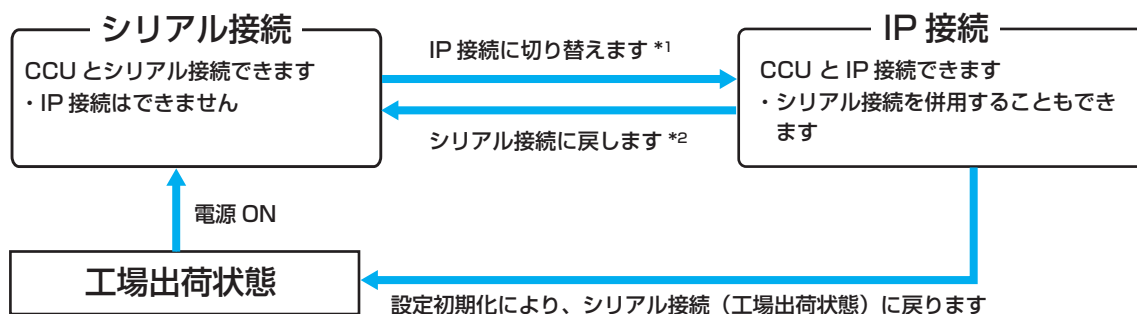
シリアル接続とIP接続の切り替えについて

シリアル接続とIP接続の切り替えは、ROPメニューの[CONNECT SETTING]またはROPセットアップソフトウェアでSerial/LANの設定を行います。

- ➡ 「35 CONNECT SETTING」 (115ページ参照)
- ➡ 「ROPセットアップソフトウェア」 (133ページ参照)

設定の初期化を行うと、シリアル接続（工場出荷状態）に戻ります。

- ➡ 「INITIAL with NW」 (114ページ参照)



*1：シリアル接続のときは、IP接続でメモリーカードに保存した「ROP設定ファイル」を読み込むと、IP接続になります。

*2：IP接続のときは、シリアル接続でメモリーカードに保存した「ROP設定ファイル」を読み込むと、シリアル接続になります。

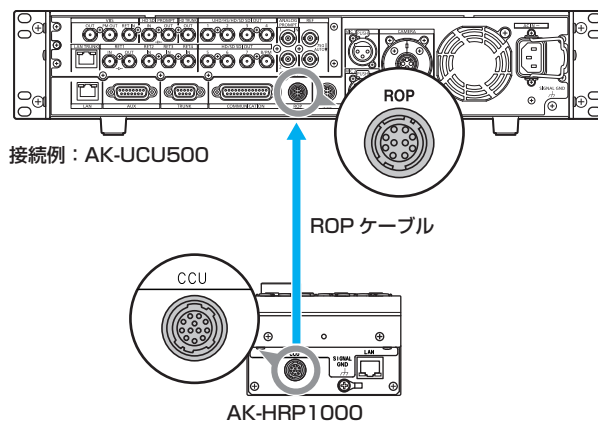
システム接続構成

本機は、CCUをシリアル接続もしくはIP接続することができます。

- CCUを最大99台まで制御可能です。
- シリアル接続は、CCU1台のみ可能です。
- シリアル接続1台とIP接続98台の構成も可能です。

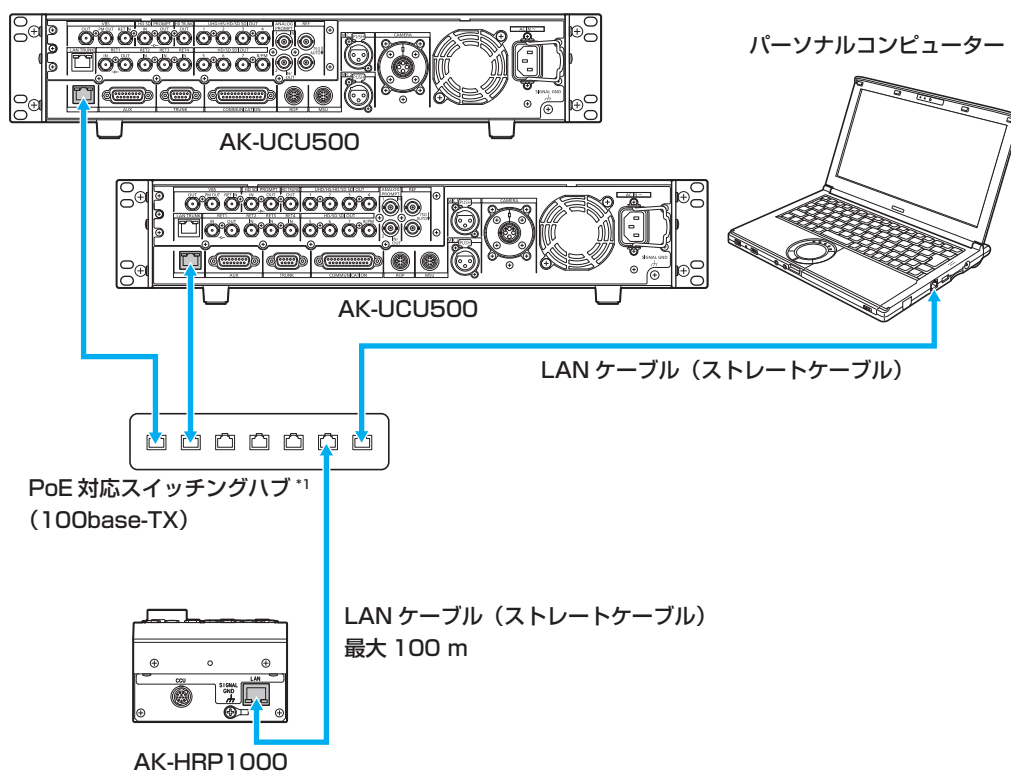
CCUとの接続

シリアル接続



1. 本機の〈CCU〉コネクタと、CCUの〈ROP〉コネクタを専用のROPケーブル（別売品）で接続する
2. 接続が完了したら、CCUの主電源をONにする
 - カメラが接続されていない場合は、本機からCCUへの制御機能は一部制限されます。
 - ROPケーブルを外す前に、必ずCCUの電源をOFFにしてください。

IP接続



*1 : CCUはPoEには対応していません。

1. 本機の〈LAN〉コネクタと、CCU背面の〈LAN〉コネクタをLANケーブル（別売品）で接続する

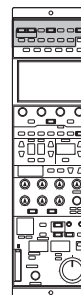
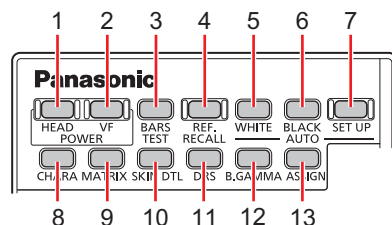
- 本機はPoE給電で動作いたします。PoE対応スイッチングハブをご使用ください。
 - LANケーブル*2は、ストレートケーブル（カテゴリ5e以上）をご使用ください。（最大100 m）
- *2 : STP（Shielded Twisted Pair）

2. 接続が完了したら、CCUの電源をONにする

- カメラが接続されていない場合は、本機からCCUへの制御機能は一部制限されます。
- 本機から最大99台までのCCU（AK-UCU500/AK-UCU600）を制御可能です。
- CCUとIP接続で使用する場合は、ROPメニューの[CONNECT SETTING]またはROPセットアップソフトウェア（付属品）による設定が必要です。ROPセットアップソフトウェア使用時は、LANケーブルでパーソナルコンピュータを接続してください。
 - ➡ 「35 CONNECT SETTING」（115ページ参照）
 - ➡ 「ROPセットアップソフトウェア」（133ページ参照）

各部の名前とはたらき

前面パネル1

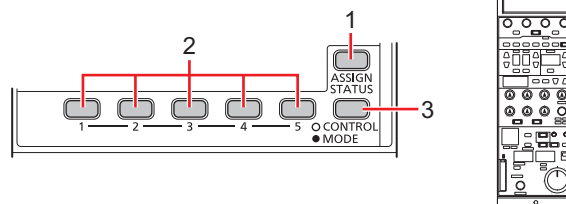


1	[POWER HEAD]ボタン	<p>カメラの電源をリモート制御します。ただし、CCUの電源およびカメラ自体の電源が入っていない場合は本機能は動作しません。 押すたびにカメラの電源ON/OFFを切り替えます。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯（緑）： カメラの電源がONの状態 点灯（赤）： カメラ側で電源OFFされている状態 点滅（赤）： 本機から電源OFFされている状態 消灯： カメラが接続されていない状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ カメラを外部DC電源で使用している場合は点灯（緑）となり、本機からのカメラ電源のリモート操作はできません。
2	[POWER VF]ボタン	<p>ビューファインダーの電源をリモート制御します。 本機でカメラの電源をONにした場合は、ビューファインダーの電源も同時にONになります。 押すたびにON（電源入）/OFF（電源切）を切り替えます。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯（緑）： カメラとビューファインダーの電源がONの状態 消灯： 本機からビューファインダーの電源がOFFされている状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ビューファインダーの電源がOFFの場合、ビューファインダーのON/OFFはできません。
3	[BARS/TEST]ボタン	<p>CCU背面のカメラ映像出力からCCUカラーバー信号を出力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CCUカラーバーの種類は、ROPメニューの[SYSTEM CCU] > [BARS HD]および[BARS SD]で選択することができます。 ➡ 「BARS HD」（107ページ参照） ➡ 「BARS SD」（107ページ参照） ● 映像信号がカメラまたはカラーバー信号のとき、[BARS/TEST]ボタンを長押しするとTEST信号に切り替わります。TEST信号のときに、[BARS/TEST]ボタンを押すとカメラ映像に切り替わります。 <p>状態表示</p> <p>点灯（黄）： CCUカラーバーON 点灯（緑）： TEST信号ON 消灯： カメラ映像</p>
4	[REF. RECALL]ボタン	<p>ボタンを長押しすると、カメラの基準設定情報（リファレンスファイル）を呼び出します。 ROPメニューの[SYSTEM CAM] > [REF.RECALL]でユーザーファイル、ファクトリーファイルを割り当てておきます。 ➡ 「REF.RECALL」（105ページ参照）</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： 呼び出し中 消灯： 呼び出し完了</p>

5	[AUTO WHITE]ボタン	<p>オートホワイトバランス調整を実行します。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： オートホワイトバランス調整の起動を受け付けたことを示します。</p> <p>点滅： オートホワイトバランス調整の終了後、ホワイトバランスが十分に取れていないことを警告しています。ハイライト、ローライトでNGの場合は、元のホワイトバランスに戻します。その他の理由で十分にホワイトバランスが取れない場合には、収束された最後の状態で終了します。</p> <p>消灯： オートホワイトバランス調整が良好に終了したことを示します。</p> <p>■ ホワイトバランス調整中（点灯中）に[AUTO WHITE]ボタンを長押しすると、調整を中止して消灯します。（CCUのピクチャーモニター（PM）に「BREAK」が表示されます。）このときホワイトバランス値は、オートホワイトバランス実行前の状態に戻ります。</p>
6	[AUTO BLACK]ボタン	<p>オートブラックバランス調整を実行します。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： オートブラックバランス調整の起動を受け付けたことを示します。</p> <p>点滅： オートブラックバランス調整の終了後、ブラックバランスが十分に取れていないことを警告しています。オートブラックバランスを起動する前の状態に戻ります。</p> <p>消灯： オートブラックバランス調整が良好に終了したことを示します。</p> <p>■ ブラックバランス調整中（点灯中）に[AUTO BLACK]ボタンを長押しすると、調整を中止して消灯します。（CCUのピクチャーモニター（PM）に「BREAK」が表示されます。）このときブラックバランス値は、オートブラックバランス実行前の状態に戻ります。</p>
7	[AUTO SET UP]ボタン	<p>オートセットアップを実行します。</p> <p>セットアップの状況は、ピクチャーモニター（PM）に出力されます。</p> <p>➡ 「オートセットアップ」（35ページ参照）</p>
8	[CHARA]ボタン	<p>CCUのピクチャーモニター（PM）の、ステータス画面のキャラクター表示をON/OFFします。</p> <p>状態表示（押しかた）</p> <p>点灯（短押し）： ピクチャーモニター（PM）にキャラクターを表示します。短押しするたびに表示内容が切り替わります。</p> <p>消灯（長押し）： ピクチャーモニター（PM）のキャラクター表示をOFFにします。</p>
9	[MATRIX]ボタン	<p>マトリックスメモリーの各色成分のゲイン調整値にもとづいて、彩度と色相を補正する機能を有効にします。</p> <p>押すたびにON/OFFが切り替わります。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： ON</p> <p>消灯： OFF</p>
10	[SKIN DTL]ボタン	<p>映像出力で肌色の部分のディテール強調にコアリングをかけて肌色のディテールを緩和、強調します。</p> <p>押すたびにON/OFFが切り替わります。</p> <p>ROPメニューの[ROP SETTING] > [SKIN DTL SW]で、肌色ディテール操作の制御対象を「UDH」、「HD」、「SD」から選択できます。</p> <p>「SD」は、[CONNECT SETTING]で「Serial(AK)」、「LAN(AK)」が設定されているときに有効となります。</p> <p>➡ 「SKIN DTL SW」（113ページ参照）</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： ON</p> <p>消灯： OFF</p>
11	[DRS]ボタン	<p>ダイナミックレンジストレッチャーをON/OFFします。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： ON</p> <p>消灯： OFF</p>
12	[B.GAMMA]ボタン	<p>ブラックガンマ補正をON/OFFします。</p> <p>ROPメニューの[ROP SETTING] > [B.GAMMA SW]で、ON/OFF対象を「HDR」（HLG B.GAMMA）と「SDR」（B.GAMMA）から選択できます。</p> <p>➡ 「B.GAMMA SW」（111ページ参照）</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： ON</p> <p>消灯： OFF</p>

13	[ASSIGN]ボタン	<p>ボタンに割り当てられたメニュー機能をON/OFFします。</p> <p>状態表示</p> <p>ボタンに「FLARE」、「GAMMA」、「KNEE」、「W.CLIP」、「HD.D」、「UHD.D」、「SD.D」が割り当てられているとき。</p> <p>点灯 : OFF 消灯 : ON</p> <p>それ以外の機能が割り当てられているとき。</p> <p>点灯 : ON 消灯 : OFF</p> <ul style="list-style-type: none">■ [ASSIGN]ボタンに割り当てる機能は、ROPメニューの[ROP SETTING] > [ASSIGN BUTTON]で設定してください。 ➡ 「ASSIGN BUTTON」 (112ページ参照)
----	-------------	---

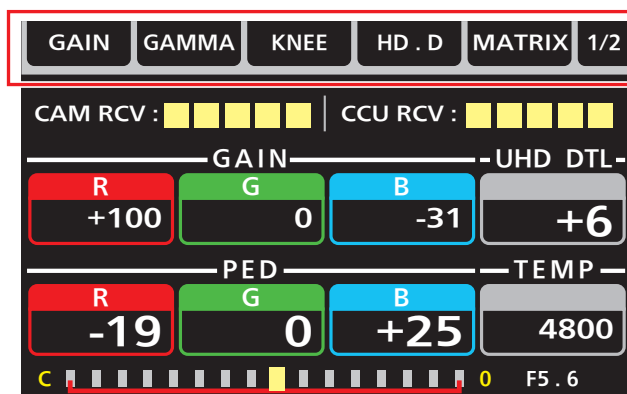
前面パネル2



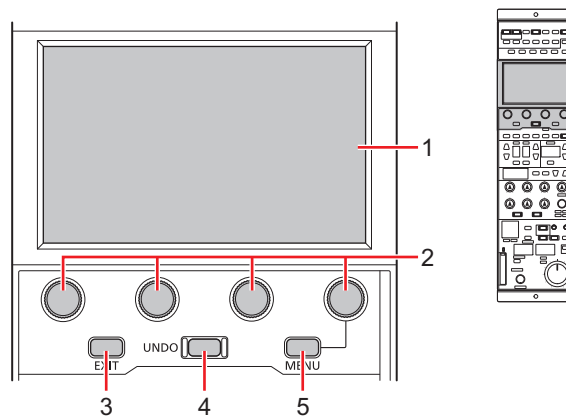
1	[ASSIGN STATUS]ボタン	<p>ASSIGNステータス画面を表示します。 [1]～[5](CONTROL/MODE)ボタンや[ASSIGN]ボタンなどに割り当てられている機能を、液晶パネルに表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> メニュー画面の表示中は、ボタンを押してもASSIGNステータス画面は表示されません。メニューをOFFにしてから操作してください。 <p>➡ 「ASSIGN ステータス画面」 (51ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <p>点灯 : ASSIGNステータス画面表示 消灯 : ASSIGNステータス画面非表示</p>
2	[1]～[5](CONTROL/MODE)ボタン	<p>[CONTROL/MODE]ボタンをCONTROLに切り替えたときは、[1]～[5]ボタンを押すとUSER1～5を選択できます。 [CONTROL/MODE]ボタンをMODEに切り替えたときは、[1]～[5]ボタンを押すと各ボタンに割り当てられている機能のON/OFFが切り替わります。</p> <p>➡ 「CONTROL(MENU)1」～「CONTROL(MENU)5」 (111ページ参照) ➡ 「MODE(ON/OFF)1」～「MODE(ON/OFF)5」 (112ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <p>ボタンに「FLARE」、「GAMMA」、「KNEE」、「W.CLIP」、「HD.D」、「UHD.D」、「SD.D」が割り当てられているとき。</p> <p>点灯 : OFF 消灯 : ON</p> <p>それ以外の機能が割り当てられているとき。</p> <p>点灯 : ON 消灯 : OFF</p>
3	[CONTROL/MODE]ボタン	[1]～[5]ボタンの下に表示されるコントロール項目とモード項目を切り替えます。

NOTE

- 上記の操作で、ステータス画面の上段にボタンの設定が表示されます。

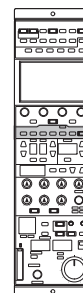
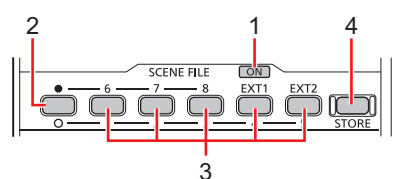


前面パネル3



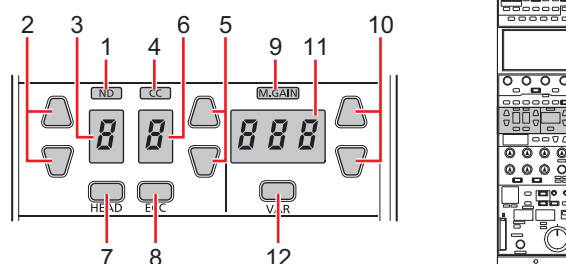
1	液晶パネル	メニュー画面やステータス画面が表示されます。
2	[MENU]ダイヤル	液晶パネルに表示されたメニューの内容に従って操作します。
3	[EXIT]ボタン	メニュー表示が1つ上の階層に戻ります。
4	[UNDO]ボタン	設定操作中に制御した値を、制御前の値に戻します。 点灯時に有効です。 ● 操作中の1行分のメニュー項目が対象となります。
5	[MENU]ボタン	液晶パネルにメニュー画面を表示します。 状態表示 ----- 点灯 : メニュー画面表示 消灯 : メニュー画面非表示 (ステータス画面表示)

前面パネル4



1	[(SCENE FILE) ON]インジケータ	<p>シーンファイルが選択されているときに点灯します。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： シーンファイルが選択されています。</p> <p>消灯： シーンファイルは選択されていません。</p>
2	シーンファイルページ切り替えボタン	<p>シーンファイルページの1～5と、6～8 / EXT1～2を切り替えます。押すごとに、[1]～[5]ボタンと[6]～[8]、[EXT 1]、[EXT 2]ボタンの点灯/消灯が切り替わります。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： シーンファイル6～8、EXT 1、EXT 2が選択できます。</p> <p>消灯： シーンファイル1～5が選択できます。</p>
3	[1/6], [2/7], [3/8], [4/EXT 1], [5/EXT 2](SCENE FILE)ボタン	<p>ボタンに該当するシーンファイルを必要に応じて呼び出すことができます。</p> <p>➡ 「シーンファイル」 (36ページ参照)</p> <p>[EXT 1]、[EXT 2]には、ROPメニューの[SD CARD LOAD] > [PUT FILE]で、メモリーカードから読み込んだシーンファイルを割り当てることができます。</p> <p>➡ 「PUT FILE」 (123ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： シーンファイルが選択されています。</p> <p>消灯： シーンファイルは選択されていません。</p>
4	[STORE]ボタン	<p>シーンファイルを登録するときに使用します。</p> <p>➡ 「シーンファイルの登録のしかた」 (36ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： シーンファイルが登録可能</p> <p>消灯： 通常時</p>

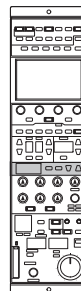
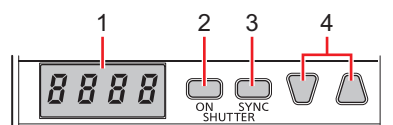
前面パネル5



1	[ND]インジケータ	NDフィルターの設定状態を表示します。 状態表示 ----- 緑点灯： ROPメニューで設定したスタンダードポジションです。 橙点灯： ROPメニューで設定したスタンダードポジションから変更されています。 ■ NDフィルターのスタンダードポジションは、ROPメニューの[ROP SETTING] > [STD POSITION ND]で設定できます。 ➡ 「STD POSITION ND」 (113ページ参照)
2	[ND]セットボタン	NDフィルターの設定を上下ボタンで選択します。 ● [HEAD]ボタン消灯時 NDフィルターの設定を切り替えます。 ● [HEAD]ボタン点灯時 NDフィルターの位置表示のみ行います。(切り替えはできません。) ➡ 「NDフィルター」 (38ページ参照)
3	[ND]ディスプレイ	NDフィルターのポジションが表示されます。
4	[CC]インジケータ	CCフィルターの設定状態を表示します。 状態表示 ----- 緑点灯： ROPメニューで設定したスタンダードポジションです。 橙点灯： ROPメニューで設定したスタンダードポジションから変更されています。 ■ CCフィルターのスタンダードポジションは、ROPメニューの[ROP SETTING] > [STD POSITION CC]で設定できます。 ➡ 「STD POSITION CC」 (113ページ参照)
5	[CC]セットボタン	CCフィルターの設定を上下ボタンで選択します。 ● [HEAD]ボタン消灯時 CCフィルターの設定を切り替えます。 ● [HEAD]ボタン点灯時 CCフィルターの位置表示のみ行います。(切り替えはできません。) ➡ 「CCフィルター」 (39ページ参照) ● [ECC]ボタン点灯時 ROPメニュー[ROP SETTING] > [ECC BTN CTRL]の設定が「VAR」のときは、ROPメニュー[ECC] > [COLOR TEMP]の値を変更できます。 ➡ 「COLOR TEMP」 (75ページ参照) ROPメニュー[ROP SETTING] > [ECC BTN CTRL]の設定が「MEM」のときは、[ECC]メニューで登録したメモリー番号のA～Eの設定値を呼び出します。 呼び出したメモリー番号は[CC]ディスプレイに表示されます。 この状態のときに、ROPメニューの[ECC] > [COLOR TEMP]の設定を変更しても、表示は呼び出したメモリー番号のままです。
6	[CC]ディスプレイ	CCフィルターのポジションを表示します。
7	[HEAD]ボタン	カメラ側のフィルター制御を有効にします。 カメラの[FILTER LOCAL]スイッチを押して点灯させた場合も、[HEAD]ボタンは点灯しません。 状態表示 ----- 点灯： カメラ側のフィルター制御が有効 消灯： ROP (本機) 側のフィルター制御が有効

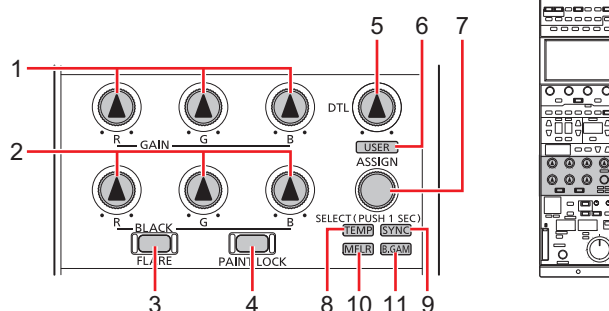
8	[ECC]ボタン	<p>ボタンの点灯時、ROPメニューの[ECC] > [COLOR TEMP SW]をON/OFFできます。 ➡ 「色温度 (ECC) 」 (40ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <p>点灯 : ECCの操作 ([COLOR TEMP SW]がON) 消灯 : CCフィルターの操作 ([COLOR TEMP SW]がOFF)</p>
9	[M.GAIN]インジケータ	<p>マスターゲインの設定状態を表示します。</p> <p>状態表示</p> <p>緑点灯 : ROPメニューで設定したスタンダードポジションです。 橙点灯 : ROPメニューで設定したスタンダードポジションから変更されてい ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ マスターゲインのスタンダードポジションは、ROPメニューの[ROP SETTING] > [STD POSITION M.GAIN]で設定できます。 ➡ 「STD POSITION M.GAIN」 (113ページ参照)
10	[M.GAIN]セットボタン	<p>マスターゲイン (映像入力感度) の設定を上下ボタンで選択します。 ➡ 「マスターゲイン (M.GAIN) 」 (41ページ参照)</p>
11	[M.GAIN]ディスプレイ	<p>マスターゲイン (M.GAIN) の調整値とVAR値を合わせた値が表示されます。</p>
12	[VAR]ボタン	<p>[M.GAIN]の値をステップ変更できるようになります。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯 : 0.1 dBステップで調整します。(±2.9の範囲) 消灯 : 1 dBステップで調整します。</p>

前面パネル6



1	[SHUTTER]ディスプレイ	シャッター値を表示します。
2	[(SHUTTER) ON]ボタン	シャッターをON/OFFします。 状態表示 ----- 点灯： ON 消灯： OFF
3	[(SHUTTER) SYNC]ボタン	シャッター/シンクロシャッターを切り替えます。 状態表示 ----- 点灯： シンクロシャッター 消灯： ステップシャッター
4	[SHUTTER]セットボタン	シャッタースピードの設定を上下ボタンで選択します。 ➡ 「シャッター (SHUTTER)」 (42ページ参照)

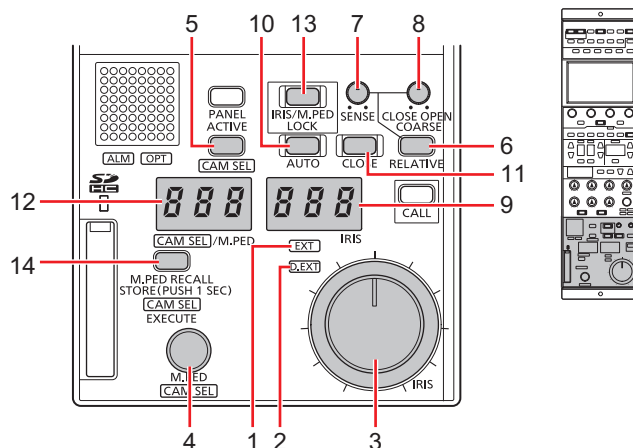
前面パネル7



1	[GAIN R], [GAIN G], [GAIN B]ダイヤル	<p>ホワイトバランス (R、G、B) の調整用ダイヤルです。ダイヤルを回すと、ステータス画面のゲインコントロール値が変化します。設定値は、液晶パネル (ステータス画面) の[GAIN]のエリアで確認できます。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● ペイントボリュームロック (PAINT LOCK) の対象です。
2	[BLACK R], [BLACK G], [BLACK B]ダイヤル	<p>ペダスタル (R、G、B) もしくはフレア (R、G、B) の調整用ダイヤルです。ダイヤルを回すと、ステータス画面のペダスタルもしくはフレアのコントロール値が変化します。設定値は、液晶パネル (ステータス画面) の[PED]のエリアで確認できます。フレア有的时候には、[PED]のエリアは[FLARE]の表示に切り替わります。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● ペイントボリュームロック (PAINT LOCK) の対象です。
3	[FLARE]ボタン	<p>ボタンの点灯時は、[BLACK (R、G、B)]ダイヤルをフレア (R、G、B) の調整用ダイヤルとして使用できます。消灯時は、ペダスタル (R、G、B) の調整用ダイヤルとして使用します。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯 : フレア調整</p> <p>消灯 : ペダスタル調整</p>
4	[PAINT LOCK]ボタン	<p>ペイントの操作をロック (無効) にします。[GAIN (R、G、B)]ダイヤル、[BLACK (R、G、B)]ダイヤル、[DTL]ダイヤル、および[FLARE]ボタンが無効になります。押すたびにON/OFFを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対象のペイントボリュームは[GAIN R、G、B]、[BLACK/FLARE R、G、B]、[DTL]です。 <p>状態表示</p> <p>点灯 : ON (ペイントボリューム値をロックします)</p> <p>消灯 : OFF (ペイントボリューム値が変化します)</p>


5	[DTL]ダイヤル	<p>ディテールの加減調整用ダイヤルです。 設定値は、液晶パネル（ステータス画面）の[DTL]のエリアで確認できます。ROPメニューの[ROP SETTING] > [DTL VOL]で、UHD、HD、SDの[DTL]の操作を設定できます。</p>  <p>● ペイントボリュームロック（PAINT LOCK）の対象です。</p>
6	[USER]インジケータ	<p>[SELECT]ダイヤルで[USER]を選択したときに点灯します。 ➡ 「SELECTダイヤル」（46ページ参照）</p>
7	[SELECT]ダイヤル	<p>[TEMP]、[USER]、[SYNC]、[B.GAM]、[MFLR]のいずれかを選択して調整できます。設定値は、液晶パネル（ステータス画面）の選択項目エリアで確認できます。選択項目によってエリアは[TEMP]、[USER]、[SYNC]、[B.GAM]、[M.FLR]の表示に切り替わりません。</p>  <p>操作方法については、下記のページをご覧ください。 ➡ 「SELECTダイヤル」（46ページ参照）</p>
8	[TEMP]インジケータ	<p>[SELECT]ダイヤルで[TEMP]を選択したときに点灯します。 ➡ 「SELECTダイヤル」（46ページ参照）</p>
9	[SYNC]インジケータ	<p>[SELECT]ダイヤルで[SYNC]を選択したときに点灯します。 ➡ 「SELECTダイヤル」（46ページ参照）</p>
10	[MFLR]インジケータ	<p>[SELECT]ダイヤルで[MFLR]を選択したときに点灯します。 ➡ 「SELECTダイヤル」（46ページ参照）</p>
11	[B.GAM]インジケータ	<p>[SELECT]ダイヤルで[B.GAM]を選択したときに点灯します。 ➡ 「SELECTダイヤル」（46ページ参照）</p>

前面パネル8

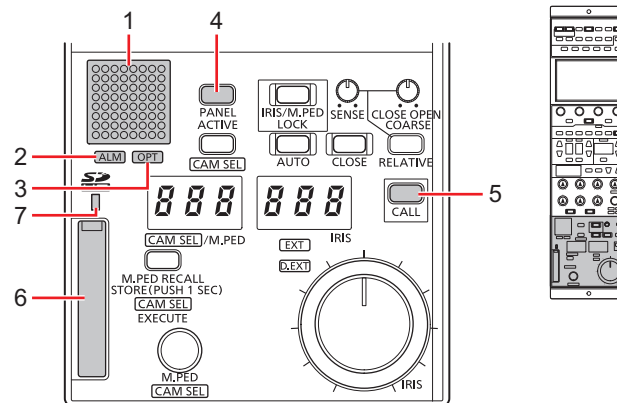


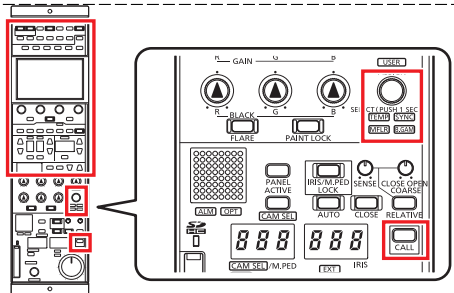
1	[EXT]インジケータ	<p>レンズエクステンダーが1倍以外の設定にあることを警告します。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： レンズエクステンダーが1倍以外の設定です。</p> <p>消灯： レンズエクステンダーを使用していないか、機能が無効です。</p>
2	[D.EXT]インジケータ	<p>デジタルエクステンダーが1倍以外の設定にあることを警告します。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： デジタルエクステンダーが1倍以外の設定です。</p> <p>消灯： デジタルエクステンダーを使用していないか、機能が無効です。</p>
3	[IRIS]ダイヤル	<p>アイリスのレベル調整ダイヤルです。</p> <p>アイリスの手動調整ができます。</p> <p>アイリスの調整についての詳細は、下記のページをご覧ください。</p> <p>➡ 「アイリス (IRIS)」 (44ページ参照)</p> <p>ダイヤル操作</p> <p>右に回す (時計回り)： OPEN (開) 方向に調整します。</p> <p>左に回す (反時計回り)： CLOSE (閉) 方向に調整します。</p>
4	[M.PED/CAM SEL]ダイヤル	<p>マスターペダスタルのレベル調整ダイヤルです。 ([CAM SEL]ボタンがOFF (消灯) のとき)</p> <p>右回し (時計回り) でマスターペダスタルが上がります。</p> <p>マスターペダスタルの調整についての詳細は、下記のページをご覧ください。</p> <p>➡ 「マスターペダスタル (M.PED)」 (43ページ参照)</p> <p>カメラ選択モード時は、ダイヤルを回して制御対象のカメラを選択します。 ([CAM SEL]ボタンがON (点灯) のとき)</p> <p>制御対象のカメラの選択については、下記のページをご覧ください。</p> <p>➡ 「カメラの選択」 (47ページ参照)</p>
5	[CAM SEL]ボタン	<p>カメラ選択モードに切り替えます。</p> <p>カメラ選択モードに切り替えると、[M.PED/CAM SEL]ディスプレイにカメラ選択番号が表示されます。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： カメラ選択モード</p> <p>消灯： カメラ選択モード解除 (マスターペダスタルモード)</p>
6	[RELATIVE]ボタン	<p>[IRIS]ダイヤルの可変範囲を[SENSE]ダイヤルと[COARSE]ダイヤルに依存するかしないかを切り替えます。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： [IRIS]ダイヤルを、[SENSE]ダイヤルと[COARSE]ダイヤルの設定に依存します。</p> <p>消灯： [IRIS]ダイヤルの可変範囲をOPENからCLOSEまでの全域にします。</p>

7	[SENSE]ダイヤル	<p>[IRIS]ダイヤルをOPEN/CLOSEに動かしたときのアイリス可変範囲を調整します。</p> <p>ダイヤル操作</p> <hr/> <p>右に回す（時計回り）： 可変範囲が広がります（[IRIS]ダイヤルの感度が高くなります） ダイヤル右端で約±2絞りです（[ROP SETTING]メニューの[IRIS LEV MODE]が「ABS」のときのみ）。</p> <p>左に回す（反時計回り）： 可変範囲が狭まります（[IRIS]ダイヤルの感度が低くなります） ダイヤルを左端で約±1/2絞りです（[ROP SETTING]メニューの[IRIS LEV MODE]が「ABS」のときのみ）。</p>
8	[COARSE]ダイヤル	<p>[IRIS]ダイヤルの操作に対して、アイリスの範囲を調整します。</p> <p>ダイヤル操作</p> <hr/> <p>[ROP SETTING]メニューの[IRIS LEV MODE]が「ABS」のときに有効です。</p> <p>右に回す（時計回り）（OPEN）： [IRIS]ダイヤルの操作が、感度が高い範囲での操作となります。</p> <p>左に回す（反時計回り）（CLOSE）： [IRIS]ダイヤルの操作が、感度が低い範囲での操作となります。</p>
9	[IRIS]ディスプレイ	現在のアイリス値を表示します。
10	[AUTO]ボタン	<p>オートアイリス機能を有効にします。 オートアイリス機能の詳細は、下記のページをご覧ください。 ➡ 「アイリス (IRIS)」 (44ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <hr/> <p>点灯： オートアイリス機能が有効</p> <p>消灯： [IRIS]ダイヤルによるアイリスの手動（マニュアル）調整が有効</p>
11	[CLOSE]ボタン	<p>アイリスを強制的にCLOSE（閉）します。</p> <p>状態表示</p> <hr/> <p>点灯： アイリスを強制的にCLOSE</p> <p>消灯： アイリスのCLOSEを解除</p>
12	[M.PED/CAM SEL]ディスプレイ	<p>選択状態に合わせて、カメラ番号もしくはマスターペダスタルの値を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラ選択モード時（[CAM SEL]ボタンがON（点灯）のとき）： カメラ番号を表示します。 マスターペダスタルモード時（[CAM SEL]ボタンがOFF（消灯）のとき）： マスターペダスタルの値を表示します。

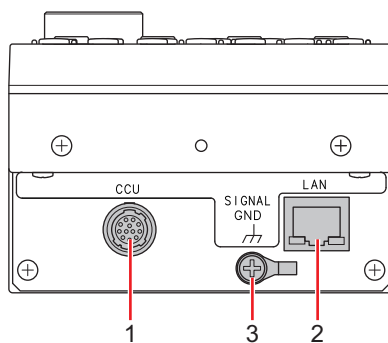
13	[IRIS/M.PED LOCK]ボタン	<p>アイリス、マスターペダスタルを操作無効（ロック）にします。ROPメニューの[ROP SETTING] > [IRIS/PED LOCK]で、ロックの範囲をIRISのみ、M.PEDのみに設定することも可能です。</p> <p>➡ 「IRIS/PED LOCK」 （113ページ参照）</p> <p>ロック範囲</p>  <p>状態表示</p> <p>消灯： アイリス、マスターペダスタルが制御できます。</p> <p>赤点灯： アイリス、マスターペダスタルの操作無効（ロック）状態です。</p> <p>赤点滅： 他の機器からアイリスが操作され、調整値と[IRIS]ダイヤルの位置が不一致の状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 液晶パネル（ステータス画面）の下部に表示されるアイリスのゲージを見ながら[IRIS]ダイヤルを、カメラのアイリスの位置に合わせると、消灯して通常の制御が可能になります。  <p>A. カメラのアイリスの位置 B. [IRIS]ダイヤルの位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 制御対象のカメラを切り替えたときに、カメラの調整値と、[IRIS]ダイヤルの位置がずれている場合も点滅します。[IRIS]ダイヤルを動かして、カメラの調整値と一致した時点で消灯して通常の制御が可能になります。
14	[M.PED RECALL STORE/CAM SEL EXECUTE]ボタン	<p>マスターペダスタルモード時は、ボタンを押すと記憶した値を呼び出します。約1秒以上長押しすると調整した値が記憶されます。（[CAM SEL]ボタンがOFF（消灯）のとき）</p> <p>➡ 「マスターペダスタル（M.PED）」（43ページ参照）</p> <p>カメラ選択モード時は、約1秒以上長押しするとカメラの選択を確定します。（[CAM SEL]ボタンがOFF（消灯）のとき）</p> <p>➡ 「カメラの選択」（47ページ参照）</p>

前面パネル9



1	カメラナンバー/タリーディスプレイ	カメラ番号情報とタリー情報を表示します。
2	[ALM]インジケータ	カメラ、CCUの警告表示灯です。 異常の場合は、販売店にご相談ください。 <ul style="list-style-type: none"> カメラ/CCUの光受信強度レベルの不足、あるいはCCU光伝送受信部のデータエラーが発生した場合や、カメラ、CCUのファンの異常や温度異常の場合に赤点灯します。
3	[OPT]インジケータ	カメラケーブルの警告表示灯です。 状態表示 橙点灯： 光伝送に問題があることを警告しています。 赤点灯： カメラ/CCU間が未接続です。 消灯： カメラケーブル正常接続状態
4	[PANEL ACTIVE]ボタン	パネルの操作をロック（無効）にします。 無効にすると、液晶パネルの表示が消灯します。また、[ND]セットボタン、[CC]セットボタン、[M.GAIN]セットボタン、[SHUTTER]セットボタンも消灯します。 ロック範囲  状態表示 点灯： 有効 消灯： 無効
5	[CALL]ボタン	カメラマンを呼び出す場合に押します。 押している間は、カメラおよびCCUのコールスイッチが点灯します。 また、カメラおよびCCUでコールスイッチを押した場合、スイッチが点灯しブザーが鳴ります。 状態表示 点灯： カメラおよびCCUのコールスイッチが押されていることを示しています。 消灯： カメラおよびCCUのコールスイッチが押されていないことを示しています。
6	メモリーカードスロット	メモリーカードを挿入します。本機の設定およびシーンファイルやユーザーファイルなどを、メモリーカードに保存することができます。 ➡ 「メモリーカードについて」（10ページ参照）
7	メモリーカードアクセスインジケータ	メモリーカードの読み出し中、書き込み中に点灯します。

コネクタ



1	〈CCU〉コネクタ	CCUにシリアル接続するコネクタです。
2	〈LAN〉コネクタ	IP接続対応のCCUおよびパーソナルコンピュータをLANケーブルで接続します。
3	〈SIGNAL GND〉端子	システムグラウンドに接続します。

調整と設定

オートセットアップ

オートセットアップのしかた

オートセットアップの前に

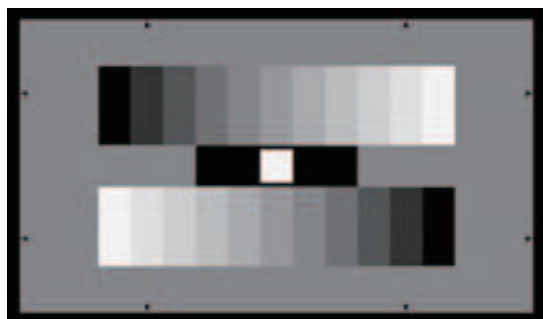
ROPメニューの[SYSTEM CAM] > [ASU MODE]で、「FULL」 / 「EASY」のモードを選択します。

➡ 「ASU MODE」 (105ページ参照)

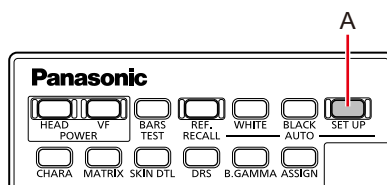
FULL	外撮チャートによる標準セットアップ
EASY	外撮チャートによる簡易セットアップ

グレースケールのくさび位置をビューファインダーの上下方向の画角に合わせてください。チャートの映す位置によっては、うまくオートセットアップできないことがありますので、チャートの映す位置を正しく合わせてください。

- 推奨グレースケール



オートセットアップのしかた



A. [AUTO SET UP]ボタン

操作手順

1. [AUTO SET UP]ボタン (A) を押す

[AUTO SET UP]ボタンが点滅して、オートセットアップ起動準備モードが確定し、カメラのビューファインダー中央に“□”が表示されます。グレースケールの中央の白をこの“□”に合わせてください。(ここで長押しするとセットアップをキャンセルします)

2. 再度、[AUTO SET UP]ボタン (A) を押す

[AUTO SET UP]ボタンが点灯状態となり、オートセットアップを開始します。(オートセットアップ動作中に[AUTO SET UP]ボタンを長押しすると、オートセットアップが中断します。)

正常に終了すると、[AUTO SET UP]ボタンが消灯します。

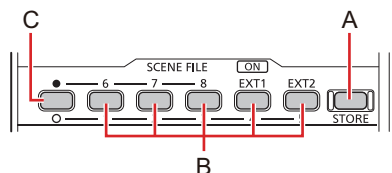
- 約1秒間隔で[AUTO SET UP]ボタンが点灯したときは、オートセットアップが完了せずに終了したことを示します。オートセットアップ動作中、ピクチャーモニター (PM) 上にキャラクターで動作状態を表示します。
- オートセットアップが完了しなかった場合は、CCUのピクチャーモニター (PM) の表示を確認してください。

シーンファイル

シーンファイルの登録と呼び出しのしかた

シーンファイルの登録のしかた

現在運用中のデータをシーンファイルとして登録できます。



- A. [STORE]ボタン
- B. [1/6] / [2/7] / [3/8] / [4/EXT1] / [5/EXT2]ボタン
- C. シーンファイルページ切り替えボタン

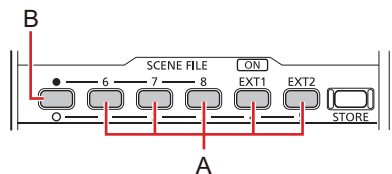
操作手順

1. [STORE]ボタン (A) を押す
ボタンが点灯します。
2. 登録したいシーン番号のボタン (B) を押す
シーンファイルページ切り替えボタン (C) で、[1]～[5]と[6]～[8]を切り替えます。
ボタンを押すとシーンファイルの登録を開始します。
登録が完了すると[STORE]ボタン (A) が消灯します。

NOTE

- シーンファイル呼び出し後に調整を行い、登録操作を行った場合は、その時点の状態がシーンファイルに登録されます。

シーンファイルの呼び出ししかた



- A. [1/6] / [2/7] / [3/8] / [4/EXT1] / [5/EXT2]ボタン
- B. シーンファイルページ切り替えボタン

操作手順

1. 呼び出したいシーン番号のボタン (A) を押す
シーンファイルページ切り替えボタン (B) で、[1]～[5]と[6]～[8]/[EXT1]/[EXT2]を切り替えます。
押されたボタンが点灯し、シーンファイルが呼び出されます。
シーンファイルの呼び出しを止める場合は、点灯しているボタンを押して消灯します。
 - シーンファイル呼び出し前に一時退避されていた設定情報が復帰し、設定状態もシーンファイル呼び出し前に戻ります。
 - 他の番号のボタンを押すと、押されたボタンに登録されているシーンファイルが新たに呼び出されます。

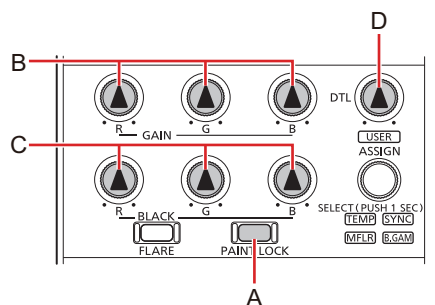
PAINT LOCK

PAINT LOCKの使い方

ペイントボリュームの操作をロック（無効）にします。

ペイントボリュームロック（PAINT LOCK）の対象は、以下の操作です。

- [GAIN R] / [GAIN G] / [GAIN B]ダイヤル（B）：ホワイトバランス調整
- [BLACK R] / [BLACK G] / [BLACK B]ダイヤル（C）：ペDESTAL/フレア調整
- [DTL]ダイヤル（D）：ディテールエンハンサー調整



- A. [PAINT LOCK]ボタン
- B. [GAIN R] / [GAIN G] / [GAIN B]ダイヤル
- C. [BLACK R] / [BLACK G] / [BLACK B]ダイヤル
- D. [DTL]ダイヤル

操作手順

1. 各項目をダイヤルで調整する
2. [PAINT LOCK]ボタン（A）を押す
ボタンが点灯します。
3. ダイヤルを回して中央にセットする
4. もう一度[PAINT LOCK]ボタン（A）を押す
ボタンが消灯します。
この時点のボリュームの位置の値がセンターとなります。

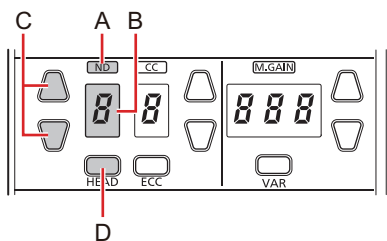
NDフィルター

NDフィルターの表示と設定のしかた

NDフィルターの調整値は、[ND]ディスプレイ (B) に表示されます。

ROPメニューで設定したスタンダードポジションから設定値が変更されている場合は、[ND]インジケータ (A) が橙点灯します。(緑点灯時はスタンダードポジションのままです。)

➡ 「STD POSITION ND」 (113ページ参照)



- A. [ND]インジケータ
- B. [ND]ディスプレイ
- C. [ND]セットボタン
- D. [HEAD]ボタン

■ 操作手順

1. [ND]セットボタン (C) を押す

NDフィルター調整値を変更できます。

- [HEAD]ボタン (D) が点灯時は設定の変更はできません。位置表示のみ行います。(カメラ側で操作中も[HEAD]ボタンが点灯します。)

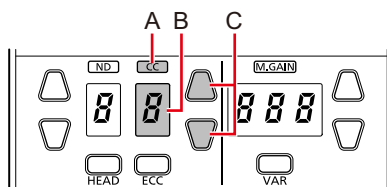
CCフィルター

CCフィルター表示、設定のしかた

CCフィルターの調整値は、[CC]ディスプレイ (B) に表示されます。

ROPメニューで設定したスタンダードポジションから設定値が変更されている場合は、[CC]インジケーター (A) が橙点灯します。(緑点灯時はスタンダードポジションのままです。)

➡ 「STD POSITION CC」 (113ページ参照)



- A. [CC]インジケーター
- B. [CC]ディスプレイ
- C. [CC]セットボタン

■ 操作手順

1. [CC]セットボタン (C) を押す

CCフィルター調整値を変更できます。

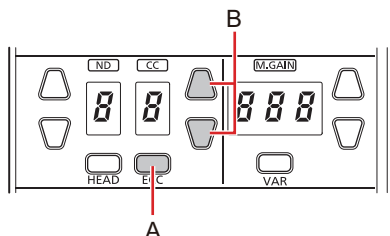
- [HEAD]ボタンの点灯時は設定の変更はできません。位置表示のみ行います。(カメラ側で操作中も[HEAD]ボタンが点灯します。)

色温度 (ECC)

色温度 (ECC) 設定のしかた

[ECC]ボタン (A) をONにすると、プリセットされている色温度を選択して変更することができます。調整値はステータス画面で確認できます。

▶ 「ECC」 (50ページ参照)

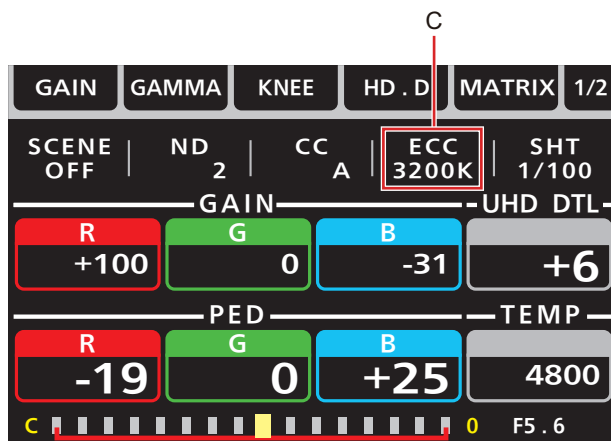


- A. [ECC]ボタン
- B. [CC]セットボタン

操作手順

1. [ECC]ボタン (A) を押してボタンを点灯させる

- [ECC]ボタン点灯時は色温度 (ECC) 調整モードです。[ECC]ボタン点灯で、ECC機能がONになります。(消灯させると機能がOFFになります)
- ステータス画面で[SCENE]を表示しておく、[ECC]の設定 (C) を確認できます。



2. [CC]セットボタン (B) を押す

色温度調整値を変更できます。

NOTE

- ステータス画面で[SCENE]を表示しておく、[TEMP]の欄で変更値を確認することができます。

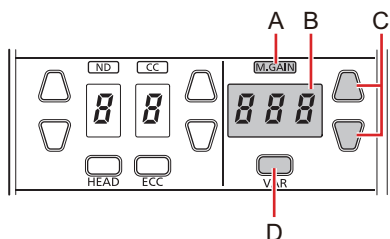
マスターゲイン (M.GAIN)

マスターゲイン (M.GAIN) の表示と設定のしかた

マスターゲイン (M.GAIN) の調整値は、[M.GAIN]ディスプレイ (B) に表示されます。

ROPメニューで設定したスタンダードポジションから設定値が変更されている場合は、[M.GAIN]インジケータ (A) が橙点灯になります。(緑点灯時はスタンダードポジションのままです。)

➡ 「STD POSITION M.GAIN」 (113ページ参照)



- A. [M.GAIN]インジケータ
- B. [M.GAIN]ディスプレイ
- C. [M.GAIN]セットボタン
- D. [VAR]ボタン

操作手順

1. [M.GAIN]セットボタン (C) を押す

マスターゲイン調整値を変更できます。

- [VAR]ボタン (D) を押してボタンを点灯させると、マスターゲインを微調整できます。(0.1dBステップで±2.9の範囲)

シャッター (SHUTTER)

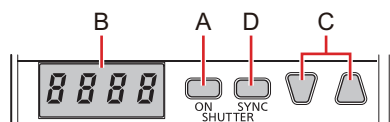
シャッター (SHUTTER) の表示と設定のしかた

[(SHUTTER) ON]ボタン (A) を押して、シャッターのON/OFFを切り替えます。(点灯時、シャッターON)

シャッター値は、[SHUTTER]ディスプレイ (B) に表示され、[SHUTTER]セットボタン (C) で調整します。

[(SHUTTER) SYNC]ボタン (D) の消灯時はステップシャッター、[(SHUTTER) SYNC]ボタン (D) 点灯時はシンクロシャッターの調整となります。ステップ/シンクロの切り替えは[(SHUTTER) SYNC]ボタン (D) のOFF (消灯) /ON (点灯) で行います。

[SHUTTER]ディスプレイ (B) は、現在の設定値を表示します。



- A. [(SHUTTER) ON]ボタン
- B. [SHUTTER]ディスプレイ
- C. [SHUTTER]セットボタン
- D. [(SHUTTER) SYNC]ボタン

■ 操作手順

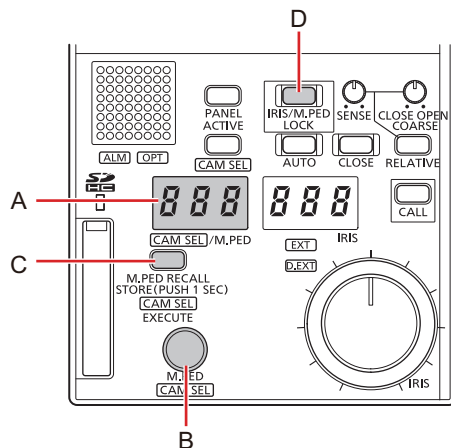
1. [(SHUTTER) ON]ボタン (A) を押してボタンを点灯させる
シャッターが有効になります。
シンクロシャッターを調整する場合は、[(SHUTTER) SYNC]ボタン (D) を押してボタンを点灯させます。
2. [SHUTTER]セットボタン (C) を押す
シャッター値を変更できます。
シャッターがOFFの状態でもシャッター値の調整は可能ですが、シャッターをONにしないとシャッター値は反映されません。
3. [(SHUTTER) ON]ボタン (A) を押してボタンを消灯させる
シャッターが無効になります。

マスターペDESTAL (M.PED)

マスターペDESTAL (M.PED) の表示、設定のしかた

マスターペDESTAL (M.PED) の設定値は、[M.PED/CAM SEL]ダイヤル (B) 操作時に、[M.PED/CAM SEL]ディスプレイ (A) に表示されます。

- [IRIS/M.PED LOCK]ボタン (D) が消灯時 (解除時) に調整可能です。



- A. [M.PED/CAM SEL]ディスプレイ
- B. [M.PED/CAM SEL]ダイヤル
- C. [M.PED RECALL STORE/CAM SEL EXECUTE]ボタン
- D. [IRIS/M.PED LOCK]ボタン

■ 操作手順

1. [M.PED/CAM SEL]ダイヤル (B) を回す
[M.PED/CAM SEL]ディスプレイ (A) に調整値が表示されます。
2. [M.PED RECALL STORE/CAM SEL EXECUTE]ボタン (C) を1秒以上長押しする
 - 調整した値が記憶されます。 ([CAM SEL]ボタンがOFF (消灯) のとき)
 - [M.PED RECALL STORE/CAM SEL EXECUTE]ボタン (C) を押すと、記憶された設定を呼び出します。
 - マスターペDESTALとR、G、BペDESTAL調整は独立しており、マスターペDESTALの設定を変更してもR、G、BペDESTALの調整値は変わりません。

アイリス (IRIS)

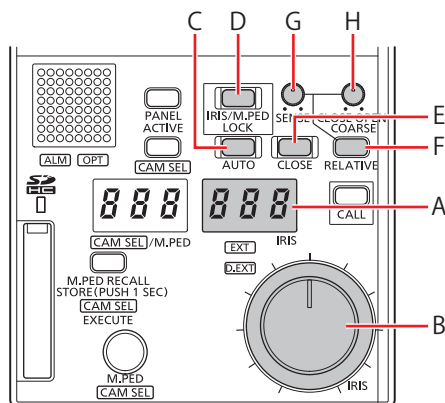
アイリス (IRIS) の表示、設定のしかた

手動調整

オートアイリスでない場合に、アイリスのマニュアル（手動）調整ができます。

アイリス値は[IRIS]ディスプレイ (A) に表示されます。

- [AUTO]ボタン (C) が消灯時 (AUTO解除時) に調整可能です。
- [IRIS / M.PED LOCK]ボタン (D) が消灯時 (アイリスロック解除時) に調整可能です。
- [CLOSE]ボタン (E) が消灯時 (アイリス強制CLOSE解除時) に調整可能です。



- A. [IRIS]ディスプレイ
- B. [IRIS]ダイヤル
- C. [AUTO]ボタン
- D. [IRIS/M.PED LOCK]ボタン
- E. [CLOSE]ボタン
- F. [RELATIVE]ボタン
- G. [SENSE]ダイヤル
- H. [COARSE]ダイヤル

操作手順

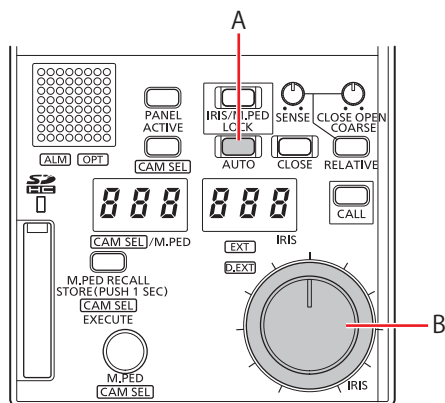
1. [IRIS]ダイヤル (B) でアイリスレベルを調整する

左に回す (反時計回り) とCLOSE方向に、右に回す (時計回り) とOPEN方向に調整します。

- [SENSE]ダイヤル (G) で、[IRIS]ダイヤル (B) を中心から右端、左端に動かしたときのアイリス可変範囲を調整することができます。
➡ 「[SENSE]ダイヤル」 (31ページ参照)
- [COARSE]ダイヤル (H) で、[IRIS]ダイヤル (B) を中心にしたときのアイリス値を調整することができます。
➡ 「[COARSE]ダイヤル」 (31ページ参照)
- [SENSE]ダイヤル (G) 、[COARSE]ダイヤル (H) による可変範囲の制限を解除し、OPENからCLOSEまでの全域を使用する場合は、[RELATIVE]ボタン (F) を押して消灯させてください。

自動設定

アイリスを自動調整します。(オートアイリス)



- A. [AUTO]ボタン
- B. [IRIS]ダイヤル

■ 操作手順

1. [AUTO]ボタン (A) を押して点灯させる

オートアイリスがONになります。

- オートアイリス時は、[IRIS]ダイヤル (B) でアイリスの収束レベルを調整できます。左に回す (反時計回り) とCLOSE方向に、右に回す (時計回り) とOPEN方向に調整します。

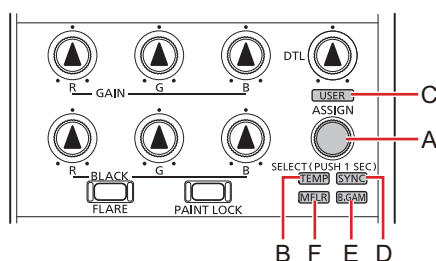
SELECTダイヤル

SELECTダイヤルの使いかた

[SELECT]ダイヤル (A) は、[TEMP]、[USER]、[SYNC]、[B.GAM]、[MFLR]のいずれかの機能を選択して調整できます。

インジケータ	機能
TEMP	ダイヤルで[COLOR TEMP]の値が変更できます。 ➡ 「COLOR TEMP」 (75ページ参照)
USER	ダイヤルでROPメニューの[USER ASSIGN]で割り当てられた機能の値が変更できます。 ➡ 「USER ASSIGN」 (112ページ参照)
SYNC	ダイヤルで[SHUTTER SYNCHRO]の値が変更できます。 ➡ 「SHUTTER SYNCHRO」 (69ページ参照)
B.GAM	ダイヤルで[BLACK GAMMA]の値が変更できます。 ➡ 「14 BLACK GAMMA」 (81ページ参照)
MFLR	ダイヤルで[MASTER FLARE]の値が変更できます。

- [USER]は、ROPメニューの[ROP SETTING] > [USER ASSIGN]で設定されている機能を調整します。



- A. [SELECT]ダイヤル
- B. [TEMP]インジケータ
- C. [USER]インジケータ
- D. [SYNC]インジケータ
- E. [B.GAM]インジケータ
- F. [MFLR]インジケータ

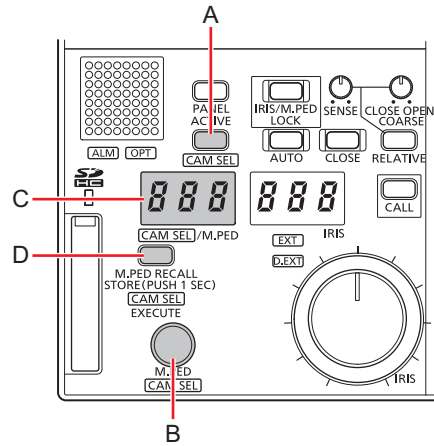
操作手順

1. [SELECT]ダイヤル (A) を約1秒以上長押しする
[TEMP]、[USER]、[SYNC]、[B.GAM]、[MFLR]の選択が可能になります。
2. [SELECT]ダイヤル (A) を回して[TEMP] (B)、[USER] (C)、[SYNC] (D)、[B.GAM] (E)、[MFLR] (F)のいずれかを選択する
ダイヤルを回すことに、[TEMP]、[USER]、[SYNC]、[B.GAM]、[MFLR]のインジケータの点灯が切り替わります。
3. [SELECT]ダイヤル (A) を押す
選択が確定します。
4. [SELECT]ダイヤル (A) を回して選択した機能を調整する

カメラの選択

本機で制御する対象となるカメラを選択します。

カメラの選択は、カメラ選択モードに切り替えてから行います。



- A. [CAM SEL]ボタン
- B. [M.PED/CAM SEL]ダイヤル
- C. [M.PED/CAM SEL]ディスプレイ
- D. [M.PED RECALL STORE/CAM SEL EXECUTE]ボタン

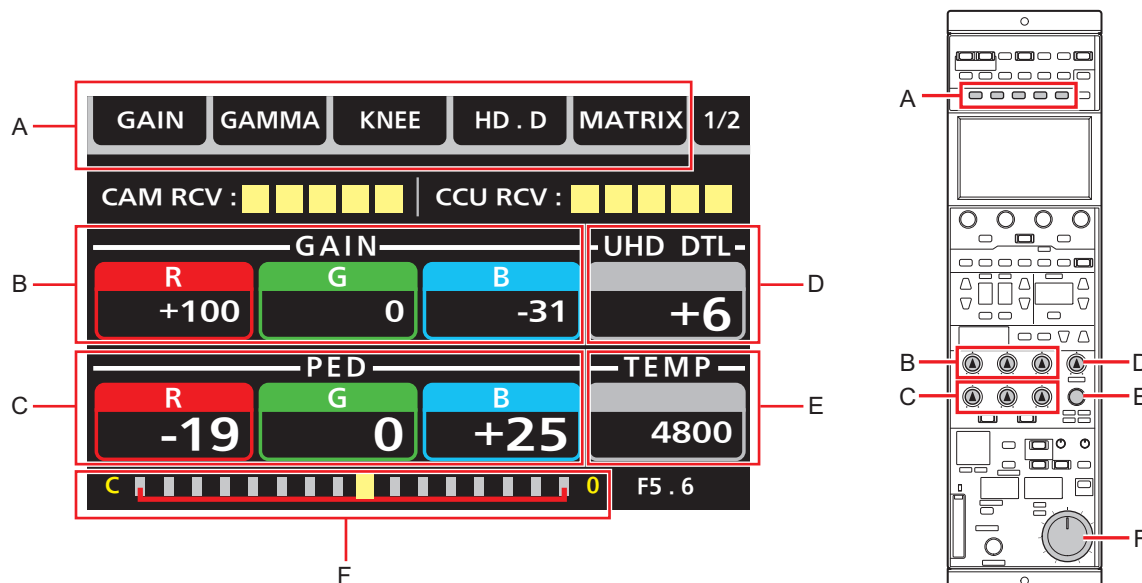
■ 操作手順

1. **[CAM SEL]ボタン (A) を押す**
カメラ選択モードに切り替わり、[M.PED/CAM SEL]ディスプレイ (C) に、現在選択されているカメラ番号が表示されます。
2. **[M.PED/CAM SEL]ダイヤル (B) を回してカメラを選択する**
ダイヤルを回すと[M.PED/CAM SEL]ディスプレイ (C) に表示されているカメラ番号が切り替わります。
3. **[M.PED RECALL STORE/CAM SEL EXECUTE] (D) ボタンを押す**
カメラの選択を確定し、選択したカメラ番号のカメラが制御の対象となります。

ステータス画面

ステータス画面の表示と操作

ステータス画面は、ROPメニュー（REMOTE OPERATION MENU）を使用していないとき（メニューOFFの状態）に、本機の液晶パネルに表示される画面です。



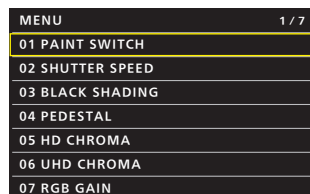
A：各ボタンに割り当てられた機能が表示されます。

B～E：各ダイヤルの調整値が表示されます。

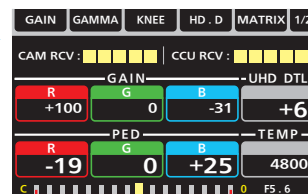
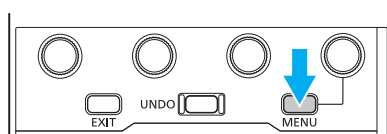
F：アイリスの調整値がスケール表示されます。（表示位置は目安）

ROPメニューが表示されているときは、[MENU]ボタンを押してROPメニューを閉じると、ステータス画面に切り替わります。

MENU画面からの遷移



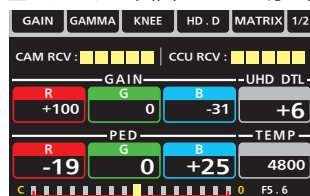
[MENU] ボタン OFF で遷移



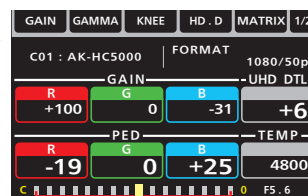
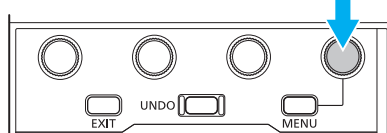
ステータス画面表示のときに、右端のメニュー操作ダイヤルを回すとステータス画面に表示される内容が切り替わります。

- ダイヤルを回すごとに、[OPT LEVEL] → [CAM INFO] → [SCENE] → [ASSIGN]の順に切り替わります。
➡ 「ステータス画面に表示される項目」（49ページ参照）

ステータス画面のページ切り替え



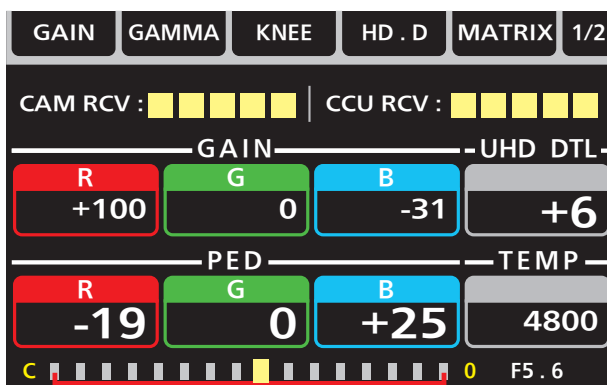
回転でページ切り替え



ステータス画面に表示される項目

OPT LEVEL

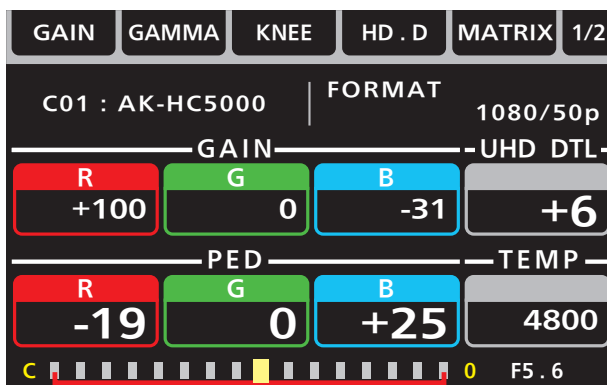
光伝送の強度を表示します。



表示	項目
CAM RCV	カメラ側の光伝送受信強度が表示されます。
CCU RCV	CCU側の光伝送受信強度が表示されます。

CAM INFO

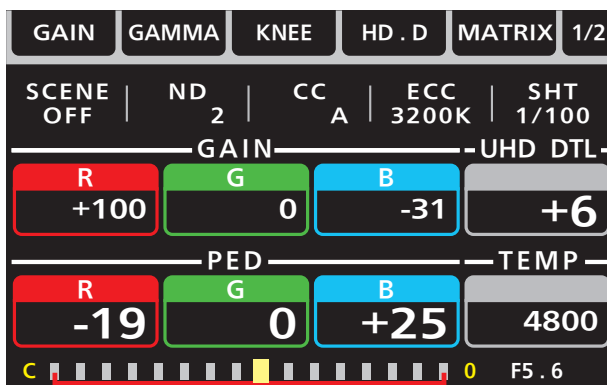
カメラ情報を表示します。



表示	項目
C**	現在選択されているカメラの名称が表示されます。 ➡ 「カメラの選択」 (47ページ参照)
FORMAT	現在選択されているシステムフォーマットが表示されます。 ➡ 「FORMAT」 (106ページ参照)

SCENE

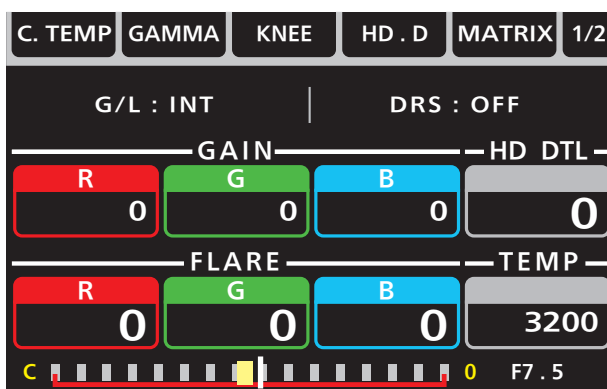
シーン設定の情報を表示します。



表示	項目
SCENE	現在設定されているシーン番号が表示されます。 ➡ 「シーンファイル」 (36ページ参照)
ND	CCUから取得したNDフィルター名が表示されます。 ➡ 「NDフィルター」 (38ページ参照)
CC	CCUから取得したCCフィルター名が表示されます。 ➡ 「CCフィルター」 (39ページ参照)
ECC	現在の、ROPメニュー[09 ECC] > [COLOR TEMP]の情報を表示します。 ➡ 「色温度 (ECC)」 (40ページ参照)
SHT	現在設定されているシャッター値を表示します。 ➡ 「シャッター (SHUTTER)」 (42ページ参照)

ASSIGN

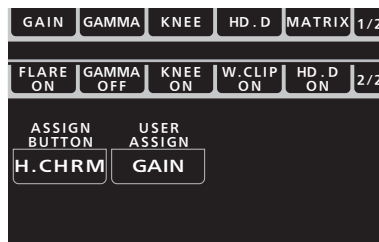
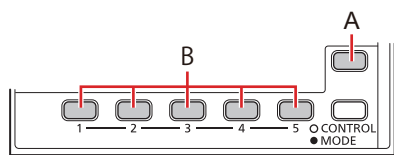
ASSIGNの情報を表示します。



表示	項目
G/L	GENLOCKの状態を表示します。 NG : UNLOCK EXT : 外部同期中 INT : 内部同期中
DRS	現在の、ROPメニュー[01 PAINT SWITCH] > [DRS]の情報を表示します。 ➡ 「DRS」 (68ページ参照)

ASSIGN ステータス画面

[1]～[5]ボタン (B) や[ASSIGN]ボタン、[USER]インジケータに割り当てられた内容を液晶パネルで確認できます。
[ASSIGN STATUS]ボタン (A) を押すと表示されます。



- A. [ASSIGN STATUS]ボタン
- B. [1]～[5]ボタン

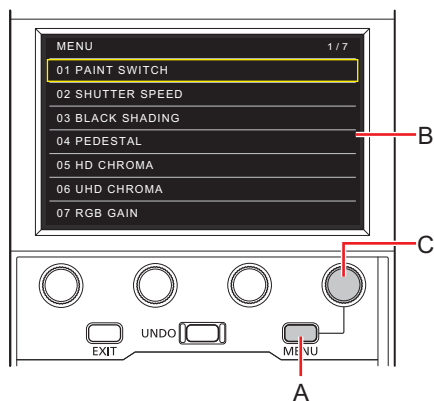
ROPメニュー

メニュー表示のしかた

本機の液晶パネルを使用して、ROPメニュー（REMOTE OPERATION MENU）を操作できます。

ROPメニューの操作は、本機をカメラまたはCCUと接続したときに有効となる機能です。

以下の手順で、ROPメニューを表示します。ROPメニューは本機の液晶パネル（B）に表示されます。



- A. [MENU]ボタン
- B. 液晶パネル
- C. [MENU]ダイヤル

操作手順

1. [MENU]ボタン（A）を押す

液晶パネル（B）にROPメニューが表示されます。

- 再度、ボタンを押すと、ステータス画面に戻ります。

2. [MENU]ダイヤル（C）でメニューを選択します。

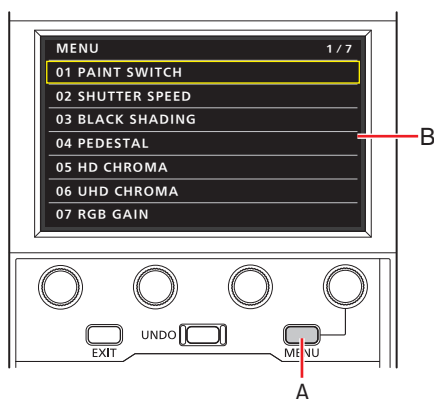
以下のメニュー項目から選択できます。

- メニューの操作方法については、下記のページを参照してください。
➡ 「基本的なメニュー操作のしかた」（53ページ参照）
- メニューの設定内容については、下記のページを参照してください。
➡ 「ROPメニュー一覧」（55ページ参照）

基本的なメニュー操作のしかた

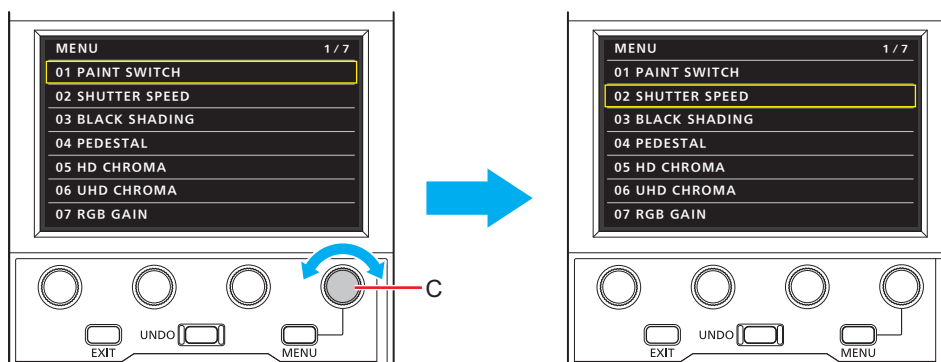
1. [MENU]ボタン (A) を押す

液晶パネル (B) にメニューが表示されます。(先頭行にカーソルがあります)



- A. [MENU]ボタン
B. 液晶パネル

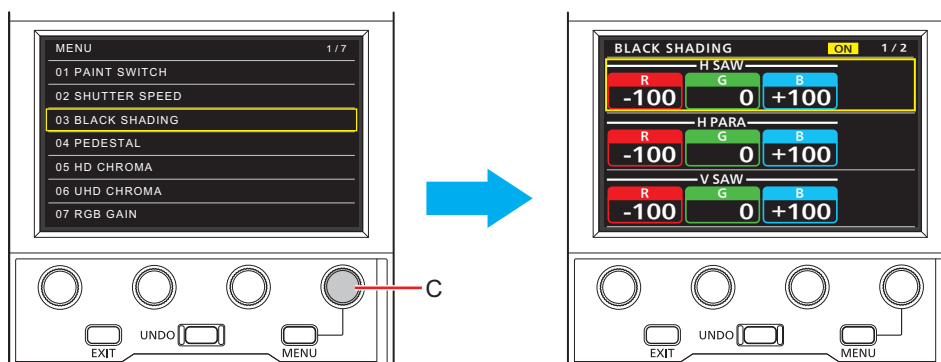
2. [MENU]ダイヤル (C) を右に回してカーソルを移動する



- C. [MENU]ダイヤル

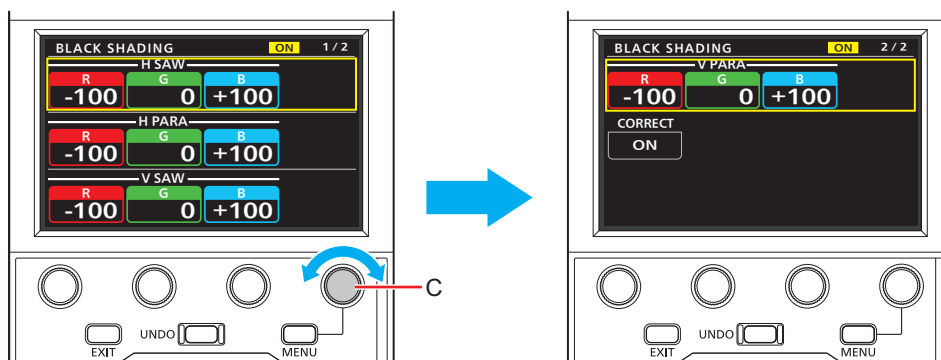
3. [MENU]ダイヤル (C) を押してメニューを選択する

(以下、[BLACK SHADING]を例に説明します。)



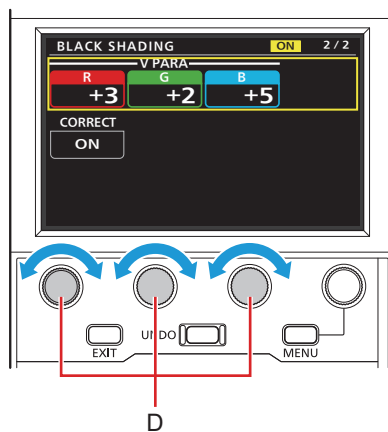
- C. [MENU]ダイヤル

4. [MENU]ダイヤル (C) を回して各設定項目にカーソルを移動する



C. [MENU]ダイヤル

5. [MENU]ダイヤル (D) を回して設定する。
画面の各項目と同じ位置のダイヤルを回します。

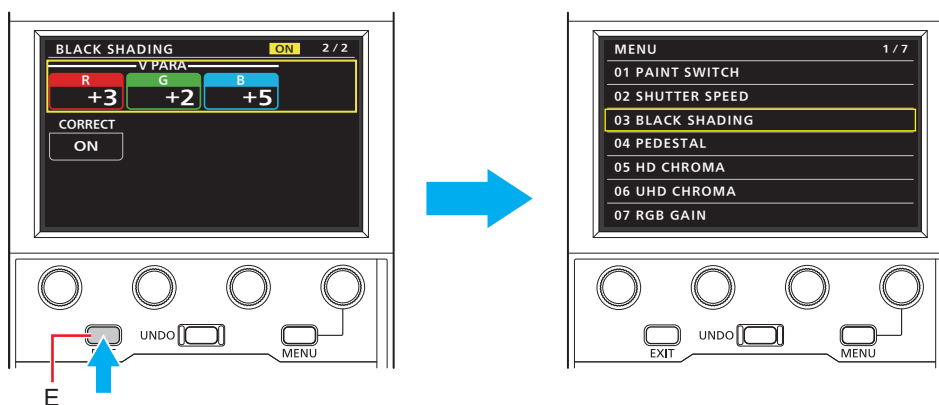


D. [MENU]ダイヤル

その他のメニュー操作のしかた

メニュー選択画面に戻るには

1. [EXIT]ボタン (E) を押す



E. [EXIT]ボタン

ROPメニュー一覧

01 PAINT SWITCH	BLACK SHADING	➡ 「BLACK SHADING」 (68ページ参照)
	WHITE SHADING	➡ 「WHITE SHADING」 (68ページ参照)
	FLARE	➡ 「FLARE」 (68ページ参照)
	GAMMA	➡ 「GAMMA」 (68ページ参照)
	BLACK GAMMA	➡ 「BLACK GAMMA」 (68ページ参照)
	DRS	➡ 「DRS」 (68ページ参照)
	WHITE CLIP	➡ 「WHITE CLIP」 (68ページ参照)
	KNEE	➡ 「KNEE」 (68ページ参照)
	MATRIX	➡ 「MATRIX」 (68ページ参照)
	COLOR CORRECT	➡ 「COLOR CORRECT」 (68ページ参照)
	HD S.DTL	➡ 「HD S.DTL」 (68ページ参照)
	HD DTL	➡ 「HD DTL」 (68ページ参照)
	UHD S.DTL	➡ 「UHD S.DTL」 (68ページ参照)
	UHD DTL	➡ 「UHD DTL」 (68ページ参照)
	SD DTL	➡ 「SD DTL」 (68ページ参照)
	PRESET MATRIX	➡ 「PRESET MATRIX」 (68ページ参照)
LINEAR MATRIX	➡ 「LINEAR MATRIX」 (68ページ参照)	
02 SHUTTER SPEED	SHUTTER SPEED	➡ 「SHUTTER SPEED」 (69ページ参照)
	SHUTTER SYNCHRO	➡ 「SHUTTER SYNCHRO」 (69ページ参照)
	SHUTTER SW	➡ 「SHUTTER SW」 (69ページ参照)
	SHUTTER MODE	➡ 「SHUTTER MODE」 (69ページ参照)
03 BLACK SHADING	H SAW R	➡ 「H SAW R」 (70ページ参照)
	H SAW G	➡ 「H SAW G」 (70ページ参照)
	H SAW B	➡ 「H SAW B」 (70ページ参照)
	H PARA R	➡ 「H PARA R」 (70ページ参照)
	H PARA G	➡ 「H PARA G」 (70ページ参照)
	H PARA B	➡ 「H PARA B」 (70ページ参照)
	V SAW R	➡ 「V SAW R」 (70ページ参照)
	V SAW G	➡ 「V SAW G」 (70ページ参照)
	V SAW B	➡ 「V SAW B」 (70ページ参照)
	V PARA R	➡ 「V PARA R」 (70ページ参照)
	V PARA G	➡ 「V PARA G」 (70ページ参照)
	V PARA B	➡ 「V PARA B」 (70ページ参照)
	CORRECT	➡ 「CORRECT」 (70ページ参照)

04 PEDESTAL	PED R	➡ 「PED R」 (71ページ参照)
	PED G	➡ 「PED G」 (71ページ参照)
	PED B	➡ 「PED B」 (71ページ参照)
	M.PED	➡ 「M.PED」 (71ページ参照)
	M. PED ABS DISP SW	➡ 「M. PED ABS DISP SW」 (71ページ参照)
	PED OFFSET	➡ 「PED OFFSET」 (71ページ参照)
	M.PED RANGE	➡ 「M.PED RANGE」 (71ページ参照)
05 HD CHROMA	CHROMA LEVEL	➡ 「CHROMA LEVEL」 (72ページ参照)
	CHROMA LEVEL SW	➡ 「CHROMA LEVEL SW」 (72ページ参照)
06 UHD CHROMA	CHROMA LEVEL	➡ 「CHROMA LEVEL」 (73ページ参照)
	CHROMA LEVEL SW	➡ 「CHROMA LEVEL SW」 (73ページ参照)
07 RGB GAIN	GAIN AWB R	➡ 「GAIN AWB R」 (74ページ参照)
	GAIN AWB G	➡ 「GAIN AWB G」 (74ページ参照)
	GAIN AWB B	➡ 「GAIN AWB B」 (74ページ参照)
	GAIN OFFSET	➡ 「GAIN OFFSET」 (74ページ参照)
	GAIN ABS	➡ 「GAIN ABS」 (74ページ参照)
	G GAIN REL	➡ 「G GAIN REL」 (74ページ参照)
08 COLOR TEMP	COLOR TEMP	➡ 「COLOR TEMP」 (75ページ参照)
	GAIN R	➡ 「GAIN R」 (75ページ参照)
	AXIS G	➡ 「AXIS G」 (75ページ参照)
	GAIN B	➡ 「GAIN B」 (75ページ参照)
09 ECC	COLOR TEMP	➡ 「COLOR TEMP」 (76ページ参照)
	GAIN R	➡ 「GAIN R」 (76ページ参照)
	AXIS G	➡ 「AXIS G」 (76ページ参照)
	GAIN B	➡ 「GAIN B」 (76ページ参照)
	COLOR TEMP SW	➡ 「COLOR TEMP SW」 (76ページ参照)
	PRI.MEM	➡ 「PRI.MEM」 (76ページ参照)
	PRI.MEM	➡ 「PRI.MEM」 (76ページ参照)
	COLOR TEMP	➡ 「COLOR TEMP」 (76ページ参照)
	GAIN R	➡ 「GAIN R」 (76ページ参照)
	AXIS G	➡ 「AXIS G」 (76ページ参照)
	GAIN B	➡ 「GAIN B」 (76ページ参照)
10 CAM USER SW TEMP	COLOR TEMP	➡ 「COLOR TEMP」 (77ページ参照)
	GAIN R	➡ 「GAIN R」 (77ページ参照)
	AXIS G	➡ 「AXIS G」 (77ページ参照)
	GAIN B	➡ 「GAIN B」 (77ページ参照)

11 WHITE SHADING	H SAW R	➔ 「H SAW R」 (78ページ参照)
	H SAW G	➔ 「H SAW G」 (78ページ参照)
	H SAW B	➔ 「H SAW B」 (78ページ参照)
	H PARA R	➔ 「H PARA R」 (78ページ参照)
	H PARA G	➔ 「H PARA G」 (78ページ参照)
	H PARA B	➔ 「H PARA B」 (78ページ参照)
	V SAW R	➔ 「V SAW R」 (78ページ参照)
	V SAW G	➔ 「V SAW G」 (78ページ参照)
	V SAW B	➔ 「V SAW B」 (78ページ参照)
	V PARA R	➔ 「V PARA R」 (78ページ参照)
	V PARA G	➔ 「V PARA G」 (78ページ参照)
	V PARA B	➔ 「V PARA B」 (78ページ参照)
	CORRECT	➔ 「CORRECT」 (78ページ参照)
12 FLARE	FLARE R	➔ 「FLARE R」 (79ページ参照)
	FLARE G	➔ 「FLARE G」 (79ページ参照)
	FLARE B	➔ 「FLARE B」 (79ページ参照)
	M.FLARE	➔ 「M.FLARE」 (79ページ参照)
	FLARE	➔ 「FLARE」 (79ページ参照)
13 GAMMA	GAMMA R	➔ 「GAMMA R」 (80ページ参照)
	GAMMA MASTER	➔ 「GAMMA MASTER」 (80ページ参照)
	GAMMA B	➔ 「GAMMA B」 (80ページ参照)
	INITIAL GAMMA	➔ 「INITIAL GAMMA」 (80ページ参照)
	GAMMA MODE	➔ 「GAMMA MODE」 (80ページ参照)
	BLACK STRETCH	➔ 「BLACK STRETCH」 (80ページ参照)
	DYNAMIC LEVEL	➔ 「DYNAMIC LEVEL」 (80ページ参照)
	KNEE POINT	➔ 「KNEE POINT」 (80ページ参照)
	KNEE SLOPE	➔ 「KNEE SLOPE」 (80ページ参照)
	GAMMA	➔ 「GAMMA」 (80ページ参照)
	DRS EFFECT.D	➔ 「DRS EFFECT.D」 (80ページ参照)
	DRS SW	➔ 「DRS SW」 (80ページ参照)
14 BLACK GAMMA	BLACK GAMMA R	➔ 「BLACK GAMMA R」 (81ページ参照)
	BLACK GAMMA MASTER	➔ 「BLACK GAMMA MASTER」 (81ページ参照)
	BLACK GAMMA B	➔ 「BLACK GAMMA B」 (81ページ参照)
	B.GAMMA	➔ 「B.GAMMA」 (81ページ参照)
15 KNEE	POINT R	➔ 「POINT R」 (82ページ参照)
	POINT MASTER	➔ 「POINT MASTER」 (82ページ参照)
	POINT B	➔ 「POINT B」 (82ページ参照)
	SLOPE R	➔ 「SLOPE R」 (82ページ参照)
	SLOPE MASTER	➔ 「SLOPE MASTER」 (82ページ参照)
	SLOPE B	➔ 「SLOPE B」 (82ページ参照)
	KNEE	➔ 「KNEE」 (82ページ参照)

16 WHITE CLIP	WHITE CLIP LEVEL R	➔ 「WHITE CLIP LEVEL R」 (83ページ参照)
	WHITE CLIP LEVEL MASTER	➔ 「WHITE CLIP LEVEL MASTER」 (83ページ参照)
	WHITE CLIP LEVEL B	➔ 「WHITE CLIP LEVEL B」 (83ページ参照)
	HI-COLOR LEVEL	➔ 「HI-COLOR LEVEL」 (83ページ参照)
	WHITE CLIP	➔ 「WHITE CLIP」 (83ページ参照)
	HIGH COLOR	➔ 「HIGH COLOR」 (83ページ参照)
17 DRS	EFFECT DEPTH	➔ 「EFFECT DEPTH」 (84ページ参照)
	DRS	➔ 「DRS」 (84ページ参照)
18 HD DETAIL	MASTER DETAIL	➔ 「MASTER DETAIL」 (85ページ参照)
	DETAIL LV H	➔ 「DETAIL LV H」 (85ページ参照)
	DETAIL LV V	➔ 「DETAIL LV V」 (85ページ参照)
	PEAK FRQ	➔ 「PEAK FRQ」 (85ページ参照)
	V DETAIL FRQ	➔ 「V DETAIL FRQ」 (85ページ参照)
	CRISP	➔ 「CRISP」 (85ページ参照)
	LEVEL DEPENDENT	➔ 「LEVEL DEPENDENT」 (85ページ参照)
	DARK DETAIL	➔ 「DARK DETAIL」 (85ページ参照)
	DETAIL SOURCE	➔ 「DETAIL SOURCE」 (85ページ参照)
	DETAIL GAIN (+)	➔ 「DETAIL GAIN (+)」 (85ページ参照)
	DETAIL GAIN (-)	➔ 「DETAIL GAIN (-)」 (85ページ参照)
	DETAIL CLIP+	➔ 「DETAIL CLIP+」 (86ページ参照)
	DETAIL CLIP-	➔ 「DETAIL CLIP-」 (86ページ参照)
	KNEE APERTURE	➔ 「KNEE APERTURE」 (86ページ参照)
	DETAIL KNEE	➔ 「DETAIL KNEE」 (86ページ参照)
	DETAIL	➔ 「DETAIL」 (86ページ参照)
	LV DPN SW	➔ 「LV DPN SW」 (86ページ参照)
	D. DTL SW	➔ 「D. DTL SW」 (86ページ参照)
19 UHD DETAIL	MASTER DETAIL	➔ 「MASTER DETAIL」 (87ページ参照)
	DETAIL LV H	➔ 「DETAIL LV H」 (87ページ参照)
	DETAIL LV V	➔ 「DETAIL LV V」 (87ページ参照)
	PEAK FRQ	➔ 「PEAK FRQ」 (87ページ参照)
	CRISP	➔ 「CRISP」 (87ページ参照)
	DETAIL CLIP+	➔ 「DETAIL CLIP+」 (87ページ参照)
	DETAIL CLIP-	➔ 「DETAIL CLIP-」 (87ページ参照)
	KNEE APERTURE	➔ 「KNEE APERTURE」 (87ページ参照)
	DETAIL KNEE	➔ 「DETAIL KNEE」 (87ページ参照)
	LEVEL DEPENDENT	➔ 「LEVEL DEPENDENT」 (87ページ参照)
	DARK DETAIL	➔ 「DARK DETAIL」 (87ページ参照)
	DETAIL	➔ 「DETAIL」 (87ページ参照)
	LV DPN SW	➔ 「LV DPN SW」 (87ページ参照)
	D. DTL SW	➔ 「D. DTL SW」 (87ページ参照)

20 SD DETAIL	DETAIL LV H	➡ 「DETAIL LV H」 (88ページ参照)
	DETAIL LV V	➡ 「DETAIL LV V」 (88ページ参照)
	PEAK1 FRQ	➡ 「PEAK1 FRQ」 (88ページ参照)
	PEAK2 FRQ	➡ 「PEAK2 FRQ」 (88ページ参照)
	CRISP	➡ 「CRISP」 (88ページ参照)
	LEVEL DEPENDENT	➡ 「LEVEL DEPENDENT」 (88ページ参照)
	DARK DETAIL	➡ 「DARK DETAIL」 (88ページ参照)
	DETAIL	➡ 「DETAIL」 (88ページ参照)
21 HD SKIN TONE DTL	MEMORY SELECT	➡ 「MEMORY SELECT」 (89ページ参照)
	CURSOR	➡ 「CURSOR」 (89ページ参照)
	POS H	➡ 「POS H」 (89ページ参照)
	POS V	➡ 「POS V」 (89ページ参照)
	SKIN GET	➡ 「SKIN GET」 (89ページ参照)
	ZEBRA SWITCH	➡ 「ZEBRA SWITCH」 (89ページ参照)
	ZEBRA EFFECT	➡ 「ZEBRA EFFECT」 (89ページ参照)
	EFFECT MEMORY	➡ 「EFFECT MEMORY」 (89ページ参照)
	SKIN TONE CRISP	➡ 「SKIN TONE CRISP」 (89ページ参照)
	I CENTER	➡ 「I CENTER」 (89ページ参照)
	I WIDTH	➡ 「I WIDTH」 (90ページ参照)
	Q WIDTH	➡ 「Q WIDTH」 (90ページ参照)
	Q PHASE	➡ 「Q PHASE」 (90ページ参照)
	SKIN TONE DETAIL	➡ 「SKIN TONE DETAIL」 (90ページ参照)
22 UHD SKIN TONE DTL	MEMORY SELECT	➡ 「MEMORY SELECT」 (91ページ参照)
	CURSOR	➡ 「CURSOR」 (91ページ参照)
	POS H	➡ 「POS H」 (91ページ参照)
	POS V	➡ 「POS V」 (91ページ参照)
	SKIN GET	➡ 「SKIN GET」 (91ページ参照)
	ZEBRA SWITCH	➡ 「ZEBRA SWITCH」 (91ページ参照)
	ZEBRA EFFECT	➡ 「ZEBRA EFFECT」 (91ページ参照)
	EFFECT MEMORY	➡ 「EFFECT MEMORY」 (91ページ参照)
	SKIN TONE CRISP	➡ 「SKIN TONE CRISP」 (91ページ参照)
	I CENTER	➡ 「I CENTER」 (92ページ参照)
	I WIDTH	➡ 「I WIDTH」 (92ページ参照)
	Q WIDTH	➡ 「Q WIDTH」 (92ページ参照)
	Q PHASE	➡ 「Q PHASE」 (92ページ参照)
	SKIN TONE DETAIL	➡ 「SKIN TONE DETAIL」 (92ページ参照)

23 LINEAR MATRIX	PRESET MATRIX	➡ 「PRESET MATRIX」 (93ページ参照)
	LINEAR TABLE	➡ 「LINEAR TABLE」 (93ページ参照)
	COLOR CORRECT	➡ 「COLOR CORRECT」 (93ページ参照)
	MATRIX(R-G) P	➡ 「MATRIX(R-G) P」 (93ページ参照)
	MATRIX(R-G) N	➡ 「MATRIX(R-G) N」 (93ページ参照)
	MATRIX(R-B) P	➡ 「MATRIX(R-B) P」 (93ページ参照)
	MATRIX(R-B) N	➡ 「MATRIX(R-B) N」 (93ページ参照)
	MATRIX(G-R) P	➡ 「MATRIX(G-R) P」 (93ページ参照)
	MATRIX(G-R) N	➡ 「MATRIX(G-R) N」 (93ページ参照)
	MATRIX(G-B) P	➡ 「MATRIX(G-B) P」 (93ページ参照)
	MATRIX(G-B) N	➡ 「MATRIX(G-B) N」 (93ページ参照)
	MATRIX(B-R) P	➡ 「MATRIX(B-R) P」 (93ページ参照)
	MATRIX(B-R) N	➡ 「MATRIX(B-R) N」 (93ページ参照)
	MATRIX(B-G) P	➡ 「MATRIX(B-G) P」 (93ページ参照)
	MATRIX(B-G) N	➡ 「MATRIX(B-G) N」 (93ページ参照)
	MATRIX	➡ 「MATRIX」 (93ページ参照)
	COLOR CORRECT	➡ 「COLOR CORRECT」 (94ページ参照)
LINEAR MATRIX	➡ 「LINEAR MATRIX」 (94ページ参照)	

24 COLOR CORRECTION	PRESET MATRIX	➔ 「PRESET MATRIX」 (96ページ参照)
	LINEAR TABLE	➔ 「LINEAR TABLE」 (96ページ参照)
	CORRECT TABLE	➔ 「CORRECT TABLE」 (96ページ参照)
	COLOR CORRECT	➔ 「COLOR CORRECT」 (96ページ参照)
	SAT	➔ 「SAT」 (96ページ参照)
	PHASE	➔ 「PHASE」 (96ページ参照)
	SAT G	➔ 「SAT G」 (96ページ参照)
	SAT G_CY	➔ 「SAT G_CY」 (96ページ参照)
	SAT CY	➔ 「SAT CY」 (96ページ参照)
	SAT CY_B	➔ 「SAT CY_B」 (96ページ参照)
	SAT B	➔ 「SAT B」 (96ページ参照)
	SAT B_MG	➔ 「SAT B_MG」 (96ページ参照)
	SAT MG	➔ 「SAT MG」 (96ページ参照)
	SAT MG_R	➔ 「SAT MG_R」 (96ページ参照)
	SAT R	➔ 「SAT R」 (96ページ参照)
	SAT R_YE	➔ 「SAT R_YE」 (96ページ参照)
	SAT YE	➔ 「SAT YE」 (96ページ参照)
	SAT YE_G	➔ 「SAT YE_G」 (96ページ参照)
	PHASE G	➔ 「PHASE G」 (97ページ参照)
	PHASE G_CY	➔ 「PHASE G_CY」 (97ページ参照)
	PHASE CY	➔ 「PHASE CY」 (97ページ参照)
	PHASE CY_B	➔ 「PHASE CY_B」 (97ページ参照)
	PHASE B	➔ 「PHASE B」 (97ページ参照)
	PHASE B_MG	➔ 「PHASE B_MG」 (97ページ参照)
	PHASE MG	➔ 「PHASE MG」 (97ページ参照)
	PHASE MG_R	➔ 「PHASE MG_R」 (97ページ参照)
	PHASE R	➔ 「PHASE R」 (97ページ参照)
	PHASE R_YE	➔ 「PHASE R_YE」 (97ページ参照)
	PHASE YE	➔ 「PHASE YE」 (97ページ参照)
	PHASE YE_G	➔ 「PHASE YE_G」 (97ページ参照)
	CURSOR	➔ 「CURSOR」 (97ページ参照)
	POS H	➔ 「POS H」 (97ページ参照)
POS V	➔ 「POS V」 (97ページ参照)	
GET	➔ 「GET」 (97ページ参照)	
MATRIX	➔ 「MATRIX」 (97ページ参照)	
COLOR CORRECT	➔ 「COLOR CORRECT」 (97ページ参照)	
LINEAR MATRIX	➔ 「LINEAR MATRIX」 (97ページ参照)	
25 SKIN CORRECTION	SKIN AREA HUE	➔ 「SKIN AREA HUE」 (98ページ参照)
	SKIN AREA TONE	➔ 「SKIN AREA TONE」 (98ページ参照)
	SKIN AREA SW	➔ 「SKIN AREA SW」 (98ページ参照)
	SKIN AREA TABLE	➔ 「SKIN AREA TABLE」 (98ページ参照)

26 DNR	DNR LEVEL	➡ 「DNR LEVEL」 (99ページ参照)
	DNR SW	➡ 「DNR SW」 (99ページ参照)
27 SHUTTER SELECT	POSITION1	➡ 「POSITION1」 (100ページ参照)
	POSITION2	➡ 「POSITION2」 (100ページ参照)
	POSITION3	➡ 「POSITION3」 (100ページ参照)
	POSITION4	➡ 「POSITION4」 (100ページ参照)
	POSITION5	➡ 「POSITION5」 (100ページ参照)
	POSITION6	➡ 「POSITION6」 (100ページ参照)
	POSITION7	➡ 「POSITION7」 (100ページ参照)
	POSITION8	➡ 「POSITION8」 (100ページ参照)
	SHUTTER OFF	➡ 「SHUTTER OFF」 (100ページ参照)
28 LENS FILE/EDIT	MODE	➡ 「MODE」 (101ページ参照)
	FILE No.	➡ 「FILE No.」 (101ページ参照)
	LENS FILE SW	➡ 「LENS FILE SW」 (101ページ参照)
	FILE NAME	➡ 「FILE NAME」 (102ページ参照)
	EXECUTE	➡ 「EXECUTE」 (102ページ参照)
	EXTENDER	➡ 「EXTENDER」 (102ページ参照)
	FILE No.	➡ 「FILE No.」 (102ページ参照)
	FILE NAME	➡ 「FILE NAME」 (102ページ参照)
	FLARE R	➡ 「FLARE R」 (102ページ参照)
	FLARE G	➡ 「FLARE G」 (102ページ参照)
	FLARE B	➡ 「FLARE B」 (102ページ参照)
	GAIN R	➡ 「GAIN R」 (102ページ参照)
	GAIN B	➡ 「GAIN B」 (102ページ参照)
	W H SAW R	➡ 「W H SAW R」 (102ページ参照)
	W H SAW G	➡ 「W H SAW G」 (102ページ参照)
	W H SAW B	➡ 「W H SAW B」 (102ページ参照)
	W H PARA R	➡ 「W H PARA R」 (102ページ参照)
	W H PARA G	➡ 「W H PARA G」 (102ページ参照)
	W H PARA B	➡ 「W H PARA B」 (102ページ参照)
	W V SAW R	➡ 「W V SAW R」 (102ページ参照)
	W V SAW G	➡ 「W V SAW G」 (102ページ参照)
	W V SAW B	➡ 「W V SAW B」 (102ページ参照)
	W V PARA R	➡ 「W V PARA R」 (102ページ参照)
	W V PARA G	➡ 「W V PARA G」 (102ページ参照)
	W V PARA B	➡ 「W V PARA B」 (102ページ参照)
	STORE NUM	➡ 「STORE NUM」 (102ページ参照)
	STORE	➡ 「STORE」 (102ページ参照)
	CANCEL	➡ 「CANCEL」 (102ページ参照)

29 MONITOR	MONITOR R	➡ 「MONITOR R」 (103ページ参照)
	MONITOR G	➡ 「MONITOR G」 (103ページ参照)
	MONITOR B	➡ 「MONITOR B」 (103ページ参照)
	MONITOR SEQ	➡ 「MONITOR SEQ」 (103ページ参照)
	MONITOR ENC	➡ 「MONITOR ENC」 (103ページ参照)
30 SYSTEM CAM	FORMAT	➡ 「FORMAT」 (104ページ参照)
	TALK OFF INCOM1	➡ 「TALK OFF INCOM1」 (104ページ参照)
	TALK OFF INCOM2	➡ 「TALK OFF INCOM2」 (104ページ参照)
	MIC1 GAIN	➡ 「MIC1 GAIN」 (104ページ参照)
	MIC1 LINE LV	➡ 「MIC1 LINE LV」 (104ページ参照)
	MIC1 AMP	➡ 「MIC1 AMP」 (105ページ参照)
	MIC2 GAIN	➡ 「MIC2 GAIN」 (105ページ参照)
	MIC2 LINE LV	➡ 「MIC2 LINE LV」 (105ページ参照)
	MIC2 AMP	➡ 「MIC2 AMP」 (105ページ参照)
	SHOOTING MODE	➡ 「SHOOTING MODE」 (105ページ参照)
	CAM FAN	➡ 「CAM FAN」 (105ページ参照)
	TALLY GUARD	➡ 「TALLY GUARD」 (105ページ参照)
	ASU FILTER	➡ 「ASU FILTER」 (105ページ参照)
	ASU MODE	➡ 「ASU MODE」 (105ページ参照)
	ASU M. PED TARGET	➡ 「ASU M. PED TARGET」 (105ページ参照)
	ASU REF.FILE	➡ 「ASU REF.FILE」 (105ページ参照)
	REF.RECALL	➡ 「REF.RECALL」 (105ページ参照)
	CABLE CONNECT	➡ 「CABLE CONNECT」 (105ページ参照)
	CTRL ROTATION	➡ 「CTRL ROTATION」 (105ページ参照)
	TALLY CONTROL	➡ 「TALLY CONTROL」 (105ページ参照)
TALLY INPUT	➡ 「TALLY INPUT」 (105ページ参照)	

31 SYSTEM CCU	FORMAT	➡ 「FORMAT」 (106ページ参照)
	RETURN1 SELECT	➡ 「RETURN1 SELECT」 (106ページ参照)
	RETURN2 SELECT	➡ 「RETURN2 SELECT」 (106ページ参照)
	RETURN3 SELECT	➡ 「RETURN3 SELECT」 (106ページ参照)
	RETURN4 SELECT	➡ 「RETURN4 SELECT」 (106ページ参照)
	RETURN FS	➡ 「RETURN FS」 (107ページ参照)
	CAMERA NUMBER	➡ 「CAMERA NUMBER」 (107ページ参照)
	D/C MODE	➡ 「D/C MODE」 (107ページ参照)
	U/C MODE	➡ 「U/C MODE」 (107ページ参照)
	BARS HD	➡ 「BARS HD」 (107ページ参照)
	BARS SD	➡ 「BARS SD」 (107ページ参照)
	C/B SETUP	➡ 「C/B SETUP」 (107ページ参照)
	SDI8 OUT	➡ 「SDI8 OUT」 (107ページ参照)
	HD H COARSE	➡ 「HD H COARSE」 (107ページ参照)
	HD H FINE	➡ 「HD H FINE」 (107ページ参照)
	SD H COARSE	➡ 「SD H COARSE」 (107ページ参照)
	SD H FINE	➡ 「SD H FINE」 (107ページ参照)
	SD-HD V	➡ 「SD-HD V」 (107ページ参照)
	SCH	➡ 「SCH」 (107ページ参照)
	CABLE CONNECT	➡ 「CABLE CONNECT」 (107ページ参照)
FORMAT MODE(push)	➡ 「FORMAT MODE(push)」 (107ページ参照)	
32 CAMERA MENU CONTROL	MENU ON/OFF	➡ 「MENU ON/OFF」 (108ページ参照)
	CURSOR/PARAMETER	➡ 「CURSOR/PARAMETER」 (108ページ参照)
	EXECUTE	➡ 「EXECUTE」 (108ページ参照)
33 CCU MENU CONTROL	MENU ON/OFF	➡ 「MENU ON/OFF」 (109ページ参照)
	CURSOR/PARAMETER	➡ 「CURSOR/PARAMETER」 (109ページ参照)
	EXECUTE	➡ 「EXECUTE」 (109ページ参照)

34 ROP SETTING	CONTROL(MENU)1	➔ 「CONTROL(MENU)1」 (111ページ参照)
	CONTROL(MENU)2	➔ 「CONTROL(MENU)2」 (111ページ参照)
	CONTROL(MENU)3	➔ 「CONTROL(MENU)3」 (111ページ参照)
	CONTROL(MENU)4	➔ 「CONTROL(MENU)4」 (111ページ参照)
	CONTROL(MENU)5	➔ 「CONTROL(MENU)5」 (111ページ参照)
	B.GAMMA SW	➔ 「B.GAMMA SW」 (111ページ参照)
	MODE(ON/OFF)1	➔ 「MODE(ON/OFF)1」 (112ページ参照)
	MODE(ON/OFF)2	➔ 「MODE(ON/OFF)2」 (112ページ参照)
	MODE(ON/OFF)3	➔ 「MODE(ON/OFF)3」 (112ページ参照)
	MODE(ON/OFF)4	➔ 「MODE(ON/OFF)4」 (112ページ参照)
	MODE(ON/OFF)5	➔ 「MODE(ON/OFF)5」 (112ページ参照)
	ECC BTN CTRL	➔ 「ECC BTN CTRL」 (112ページ参照)
	ASSIGN BUTTON	➔ 「ASSIGN BUTTON」 (112ページ参照)
	USER ASSIGN	➔ 「USER ASSIGN」 (112ページ参照)
	IRIS LEV MODE	➔ 「IRIS LEV MODE」 (113ページ参照)
	CAM SEL	➔ 「CAM SEL」 (113ページ参照)
	DTL VOL	➔ 「DTL VOL」 (113ページ参照)
	SKIN DTL SW	➔ 「SKIN DTL SW」 (113ページ参照)
	LCD BRIGHT	➔ 「LCD BRIGHT」 (113ページ参照)
	PANEL LED BRIGHT	➔ 「PANEL LED BRIGHT」 (113ページ参照)
	7SEG BRIGHT GROUP1	➔ 「7SEG BRIGHT GROUP1」 (113ページ参照)
	7SEG BRIGHT GROUP2	➔ 「7SEG BRIGHT GROUP2」 (113ページ参照)
	BUZZER	➔ 「BUZZER」 (113ページ参照)
	PERIOD	➔ 「PERIOD」 (113ページ参照)
	CYCLE	➔ 「CYCLE」 (113ページ参照)
	STD POSITION M.GAIN	➔ 「STD POSITION M.GAIN」 (113ページ参照)
	STD POSITION VAR	➔ 「STD POSITION VAR」 (113ページ参照)
	IRIS/PED LOCK	➔ 「IRIS/PED LOCK」 (113ページ参照)
	STD POSITION ND	➔ 「STD POSITION ND」 (113ページ参照)
	STD POSITION CC	➔ 「STD POSITION CC」 (113ページ参照)
	IRIS PRIORITY	➔ 「IRIS PRIORITY」 (113ページ参照)
	ROP DATA SAVE	➔ 「ROP DATA SAVE」 (113ページ参照)
	ROP DATA LOAD	➔ 「ROP DATA LOAD」 (114ページ参照)
	SD CARD FORMAT	➔ 「SD CARD FORMAT」 (114ページ参照)
INITIAL with NW	➔ 「INITIAL with NW」 (114ページ参照)	
INITIAL	➔ 「INITIAL」 (114ページ参照)	
POWER BUTTON	➔ 「POWER BUTTON」 (114ページ参照)	
UPGRADE	➔ 「UPGRADE」 (114ページ参照)	
PAINT VOL CO	➔ 「PAINT VOL CO」 (114ページ参照)	
SYSTEM VERSION	➔ 「SYSTEM VERSION」 (114ページ参照)	

34 ROP SETTING	SOFT VERSION	➔ 「SOFT VERSION」 (114ページ参照)
	FPGA VERSION	➔ 「FPGA VERSION」 (114ページ参照)
35 CONNECT SETTING	CONNECT MODE CAM1	➔ 「CONNECT MODE CAM1」 (116ページ参照)
	CONNECT MODE CAM2~CAM99	➔ 「CONNECT MODE CAM2~CAM99」 (116ページ参照)
36 ROP IP SETTING	ROP IP ADDRESS	➔ 「ROP IP ADDRESS」 (118ページ参照)
	ROP PORT	➔ 「ROP PORT」 (118ページ参照)
	UPLOAD	➔ 「UPLOAD」 (118ページ参照)
	ROP SUBNET MASK	➔ 「ROP SUBNET MASK」 (118ページ参照)
	UPLOAD	➔ 「UPLOAD」 (118ページ参照)
	ROP DEFAULT GATEWAY	➔ 「ROP DEFAULT GATEWAY」 (118ページ参照)
	UPLOAD	➔ 「UPLOAD」 (118ページ参照)
	MAC ADDRESS	➔ 「MAC ADDRESS」 (118ページ参照)
37 CAMERA IP SETTING	CAM1~CAM99 IP ADDRESS	➔ 「CAM1~CAM99 IP ADDRESS」 (120ページ参照)
	CAM1~CAM99 PORT	➔ 「CAM1~CAM99 PORT」 (120ページ参照)
	CAM1~CAM99 INF UPLOAD	➔ 「CAM1~CAM99 INF UPLOAD」 (120ページ参照)
38 SD CARD STORE	MODE	➔ 「MODE」 (121ページ参照)
	FILE SELECT	➔ 「FILE SELECT」 (121ページ参照)
	FILE NUMBER	➔ 「FILE NUMBER」 (121ページ参照)
	EXECUTE	➔ 「EXECUTE」 (121ページ参照)
39 SD CARD LOAD	FILE SELECT	➔ 「FILE SELECT」 (123ページ参照)
	GET FILE	➔ 「GET FILE」 (123ページ参照)
	PUT FILE	➔ 「PUT FILE」 (123ページ参照)
	EXECUTE	➔ 「EXECUTE」 (123ページ参照)
40 REFERENCE	REF.CALL(push)	➔ 「REF.CALL(push)」 (124ページ参照)
	STORE REF	➔ 「STORE REF」 (124ページ参照)
	STORE EXECUTE	➔ 「STORE EXECUTE」 (124ページ参照)
41 AUTO IRIS SETTING	WINDOW SELECT	➔ 「WINDOW SELECT」 (125ページ参照)
	PEAK RATIO	➔ 「PEAK RATIO」 (125ページ参照)
	IRIS GAIN	➔ 「IRIS GAIN」 (125ページ参照)
	IRIS SPEED	➔ 「IRIS SPEED」 (125ページ参照)
	IRIS LEVEL	➔ 「IRIS LEVEL」 (125ページ参照)
	IRIS RANGE	➔ 「IRIS RANGE」 (125ページ参照)
	LENS EXT COMP SW	➔ 「LENS EXT COMP SW」 (125ページ参照)
	LENS EXT COMP LV	➔ 「LENS EXT COMP LV」 (125ページ参照)

42 HDR-PAINT	HLG BLACK GAMMA R	➡ 「HLG BLACK GAMMA R」 (127ページ参照)
	HLG BLACK GAMMA MASTER	➡ 「HLG BLACK GAMMA MASTER」 (127ページ参照)
	HLG BLACK GAMMA B	➡ 「HLG BLACK GAMMA B」 (127ページ参照)
	HLG KNEE POINT	➡ 「HLG KNEE POINT」 (127ページ参照)
	HLG KNEE SLOPE	➡ 「HLG KNEE SLOPE」 (127ページ参照)
	HLG B.GAMMA	➡ 「HLG B.GAMMA」 (127ページ参照)
	HLG KNEE	➡ 「HLG KNEE」 (127ページ参照)
	HLG TYPE	➡ 「HLG TYPE」 (127ページ参照)
	HLG MODE	➡ 「HLG MODE」 (127ページ参照)
	SDR CNVRT MD	➡ 「SDR CNVRT MD」 (127ページ参照)
	SHOOTING MODE	➡ 「SHOOTING MODE」 (127ページ参照)
	DNR LEVEL	➡ 「DNR LEVEL」 (127ページ参照)
	DNR SW	➡ 「DNR SW」 (127ページ参照)
	SDR CONVERT GAIN	➡ 「SDR CONVERT GAIN」 (127ページ参照)
	SDR CONVERT CLIP	➡ 「SDR CONVERT CLIP」 (127ページ参照)
	SDR CONVERT BLACK	➡ 「SDR CONVERT BLACK」 (127ページ参照)
	SDR CONVERT POINT	➡ 「SDR CONVERT POINT」 (127ページ参照)
SDR CONVERT SLOPE	➡ 「SDR CONVERT SLOPE」 (127ページ参照)	
43 LENS CONTROL	FOCUS	➡ 「FOCUS」 (128ページ参照)
	FOCUS SPEED	➡ 「FOCUS SPEED」 (128ページ参照)
	ZOOM	➡ 「ZOOM」 (128ページ参照)
	ZOOM SPEED	➡ 「ZOOM SPEED」 (128ページ参照)
	CONTROL SW	➡ 「CONTROL SW」 (128ページ参照)

01 PAINT SWITCH

設定値は接続したカメラによって異なります。

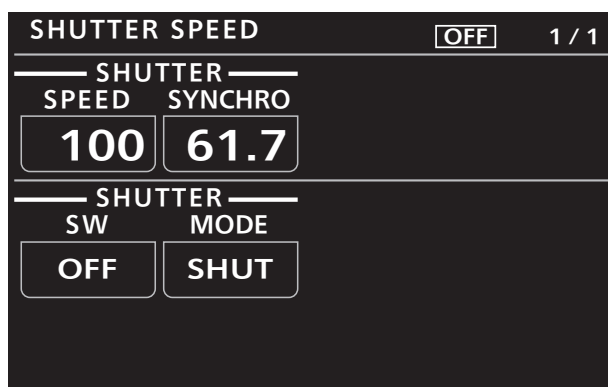
PAINT SWITCH			1 / 2
BLACK SHADING	WHITE SHADING	FLARE	
ON	ON	ON	
GAMMA	BLACK GAMMA	DRS	
OFF	OFF	OFF	
WHITE CLIP	KNEE	MATRIX	
OFF	OFF	OFF	

PAINT SWITCH			2 / 2
COLOR CORRECT	HD S.DTL	HD DTL	
ON	ON	ON	
UHD S.DTL	UHD DTL	SD DTL	
OFF	ON	ON	
PRESET MATRIX	LINEAR MATRIX		
NORM	ON		

項目	設定内容
BLACK SHADING	ブラックシェーディング（ノコギリ歯状波形またはパラボラ波形）の有効/無効を設定します。
WHITE SHADING	ホワイトシェーディング（ノコギリ歯状波形またはパラボラ波形）の有効/無効を設定します。
FLARE	フレアの有効/無効を設定します。
GAMMA	ガンマの有効/無効を設定します。
BLACK GAMMA	ブラックガンマの有効/無効を設定します。
DRS	ダイナミックレンジストレッチャー機能の有効/無効を設定します。有効にするとコントラストを自動調整します。
WHITE CLIP	ホワイトクリップの有効/無効を設定します。
KNEE	ニーの有効/無効を設定します。
MATRIX	マトリックス（リニアマトリックス/12軸色補正）の有効/無効を設定します。
COLOR CORRECT	12軸色補正の有効/無効を設定します。
HD S.DTL	HDの肌色ディテールの有効/無効を設定します。
HD DTL	HDディテールの有効/無効を設定します。
UHD S.DTL	UHDの肌色ディテールの有効/無効を設定します。
UHD DTL	UHDディテールの有効/無効を設定します。
SD DTL	SDディテールの有効/無効を設定します。
PRESET MATRIX	プリセットマトリックスを設定します。
LINEAR MATRIX	リニアマトリックスの有効/無効を設定します。

02 SHUTTER SPEED

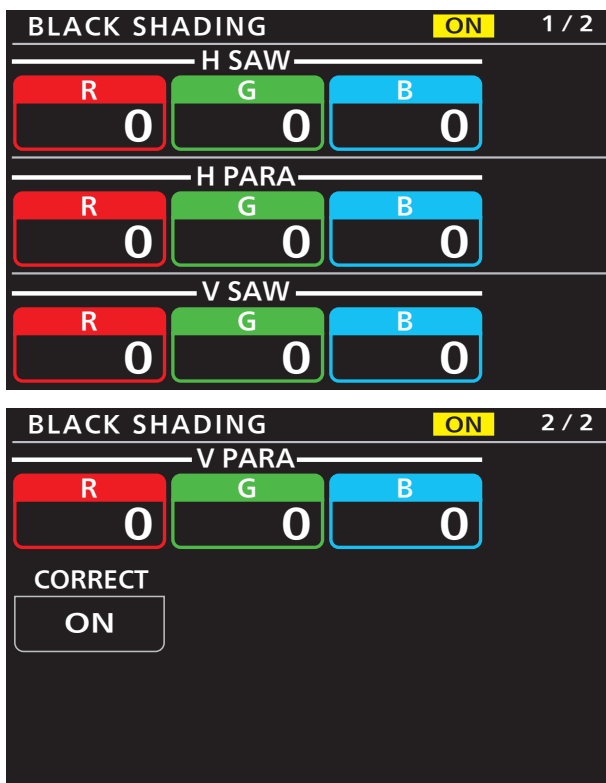
設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
SHUTTER SPEED	[SHUTTER MODE]が「SHUT」のときのシャッタースピードを設定します。
SHUTTER SYNCHRO	[SHUTTER MODE]が「SYNC」のときのシャッタースピードを設定します。
SHUTTER SW	シャッター機能の有効/無効を設定します。
SHUTTER MODE	シャッターの動作モードを選択します。 SHUT [SHUTTER SPEED]で設定されたシャッタースピードになります。 SYNC [SHUTTER SYNCHRO]で設定されたシャッタースピードになります。

03 BLACK SHADING

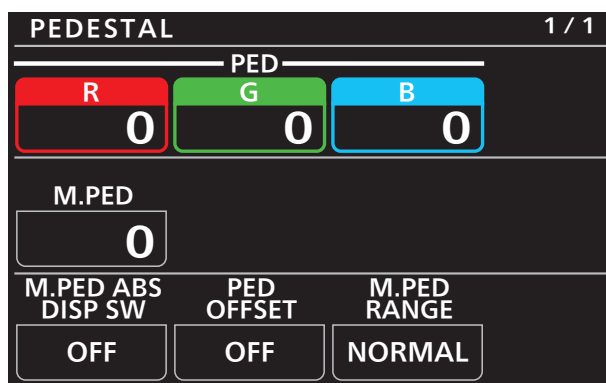
設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
H SAW R	R、G、Bchに対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。
H SAW G	
H SAW B	
H PARA R	R、G、Bchに対して、パラボラ波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。
H PARA G	
H PARA B	
V SAW R	R、G、Bchに対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。
V SAW G	
V SAW B	
V PARA R	R、G、Bchに対して、パラボラ波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。
V PARA G	
V PARA B	
CORRECT	ブラックシェーディング（のこぎり歯状波形またはパラボラ波形）の補正の有効/無効を設定します。

04 PEDESTAL

設定値は接続したカメラによって異なります。



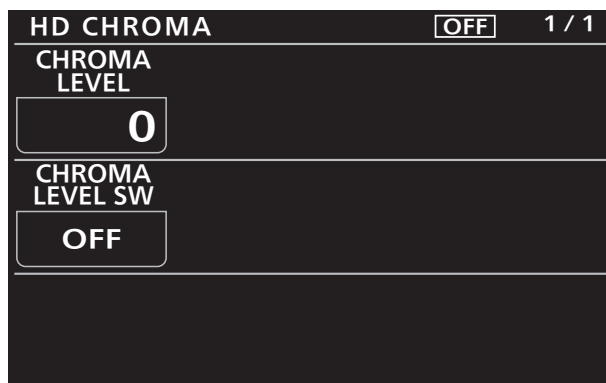
項目	設定内容
PED R	マスターペダスタルに対して赤色の補正レベルを設定します。
PED G	マスターペダスタルに対して緑色の補正レベルを設定します。
PED B	マスターペダスタルに対して青色の補正レベルを設定します。
M.PED	設定されているマスターペダスタルの値を表示します。(設定はできません)
M. PED ABS DISP SW	マスターペダスタルの表示を設定します。 ON 絶対値 OFF 相対値
PED OFFSET	オートブラックバランスを調整したときの、Rch、Gch、Bch のペダスタルレベルを保持するかどうかを設定します。 ON [PED R]、[PED G]、[PED B]で設定した値を保持したままにします。 OFF [PED R]、[PED G]、[PED B]で設定を「0」にします。
M.PED RANGE	マスターペダスタルの可変量を設定します。 NORMAL 現状の可変量 WIDE 現状の2倍の可変量

05 HD CHROMA

機器構成によって制御先が異なります。

- カメラがAK-UC4000の場合
カメラに対して制御します。
- カメラが上記以外の場合
システムフォーマットがUHDの場合は、CCUに対して制御します。それ以外の場合は、カメラに対して制御します。

設定値は接続したカメラによって異なります。



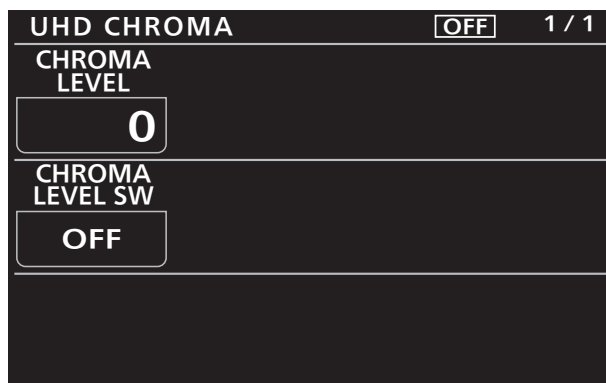
項目	設定内容
CHROMA LEVEL	クロマのゲインを調整します。
CHROMA LEVEL SW	クロマのゲイン調整の有効/無効を設定します。

06 UHD CHROMA

機器構成によって制御先が異なります。

- カメラがAK-UC4000の場合
カメラに対して制御します。
- カメラが上記以外の場合
CCUに対して制御します。

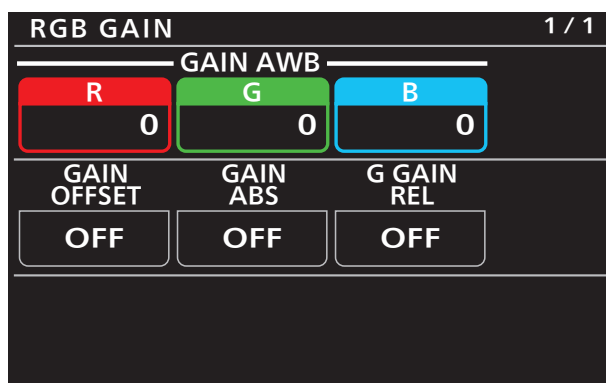
設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
CHROMA LEVEL	クロマのゲインを調整します。
CHROMA LEVEL SW	クロマのゲイン調整の有効/無効を設定します。

07 RGB GAIN

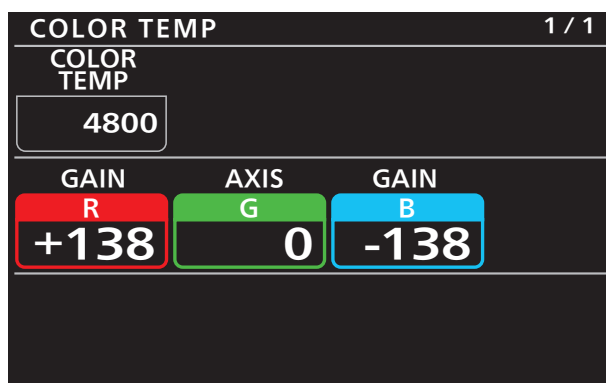
設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
GAIN AWB R	ゲインに対して赤色の補正レベルを設定します。
GAIN AWB G	ゲインに対して緑色の補正レベルを設定します。
GAIN AWB B	ゲインに対して青色の補正レベルを設定します。
GAIN OFFSET	オートホワイトバランスを調整したときのRch、Gch、Bchのゲインレベルを保持するかどうかを設定します。 ON [GAIN AWB R]、[GAIN AWB G]、[GAIN AWB B]で設定した値を保持したままにします。 OFF [GAIN AWB R]、[GAIN AWB G]、[GAIN AWB B]の設定を「0」にします。
GAIN ABS	RGBゲインの絶対値表示をするかしないかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定が「ON」の場合、[GAIN AWB R]、[GAIN AWB G]、[GAIN AWB B]の設定変更を行うと、[UNDO]ボタンは点灯しますがUNDO操作は行えませんのでご注意ください。
G GAIN REL	Gchゲインの相対値制御の有効/無効を設定します。

08 COLOR TEMP

設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
COLOR TEMP	色温度の設定を行います。
GAIN R	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。
AXIS G	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。
GAIN B	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。

09 ECC

設定値は接続したカメラによって異なります。

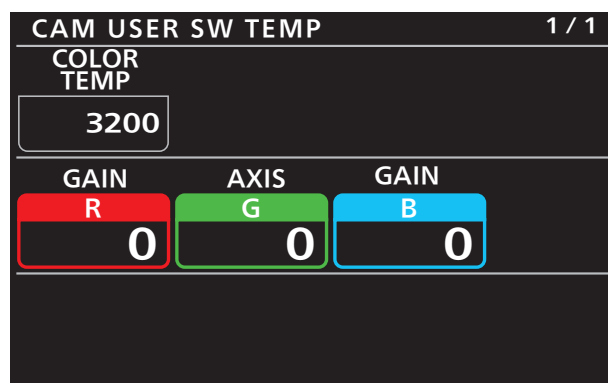
ECC			OFF	1 / 2
COLOR TEMP				
3200				
GAIN R		AXIS G		GAIN B
0		0		0
COLOR TEMP SW		PRI . MEM (push)		
OFF		A		

ECC			OFF	2 / 2
PRI . MEM				
A				
COLOR TEMP				
3200				
GAIN R		AXIS G		GAIN B
0		0		0

項目	設定内容
COLOR TEMP	[COLOR TEMP SW]が「ON」のときの色温度を設定します。高すぎたり、低すぎたりするときは、右側に矢印が表示されます。
GAIN R	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。
AXIS G	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。
GAIN B	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。
COLOR TEMP SW	色温度を手動で調整時にONにします。
PRI.MEM	[COLOR TEMP]、[GAIN R]、[AXIS G]、[GAIN B]の設定内容を、ROPの5つのメモリー（[A]～[E]）に記録できます。
PRI.MEM	ROPに記録した[A]～[E]のメモリーを選択します。選択したメモリーの内容を以降に表示します。設定変更はできません。
COLOR TEMP	[PRI.MEM]で指定したメモリーの設定内容を表示します。
GAIN R	
AXIS G	
GAIN B	

10 CAM USER SW TEMP

設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
COLOR TEMP	カメラの[USER 1]、[USER 2]、[USER 3]、[USER 4]ボタンのいずれかに「C.TEMP」を設定し、設定が有効になっているときの色温度を設定します。
GAIN R	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。
AXIS G	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。
GAIN B	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。

11 WHITE SHADING

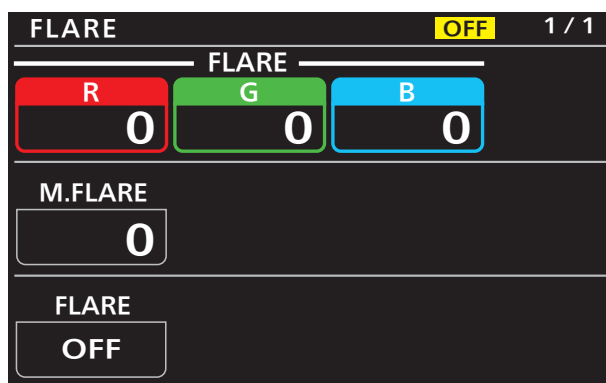
設定値は接続したカメラによって異なります。

The image shows two screens of the 'WHITE SHADING' menu. The top screen, labeled '1 / 2', displays 'H SAW' settings for Red (R), Green (G), and Blue (B) channels, each with a value of 0. The bottom screen, labeled '2 / 2', displays 'V PARA' settings for Red (R), Green (G), and Blue (B) channels, each with a value of 0, and a 'CORRECT OFF' button.

項目	設定内容
H SAW R	R、G、Bchに対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。
H SAW G	
H SAW B	
H PARA R	R、G、Bchに対して、パラボラ波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。
H PARA G	
H PARA B	
V SAW R	R、G、Bchに対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。
V SAW G	
V SAW B	
V PARA R	R、G、Bchに対して、パラボラ波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。
V PARA G	
V PARA B	
CORRECT	ホワイトシェーディング（ノコギリ歯状波形またはパラボラ波形）の補正の有効/無効を設定します。

12 FLARE

設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
FLARE R	Rchフレアを調整します。
FLARE G	Gchフレアを調整します。
FLARE B	Bchフレアを調整します。
M.FLARE	マスターフレアを調整します。
FLARE	フレア補正の有効/無効を設定します。

13 GAMMA

設定値は接続したカメラによって異なります。

GAMMA OFF 1 / 3

R **0** GAMMA MASTER **0.4500** B **0**

INITIAL GAMMA **4.5**

GAMMA MODE **HD**

GAMMA OFF 2 / 3

BLACK STRETCH **0** DYNAMIC LEVEL **500**

KNEE POINT **30** SLOPE **150**

GAMMA **OFF**

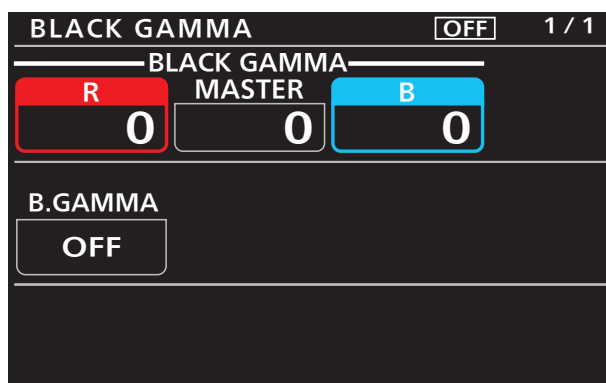
GAMMA OFF 3 / 3

EFFECT.D **5** DRS SW **OFF**

項目	設定内容
GAMMA R	マスターガンマに対して赤色のガンマ特性を調整します。
GAMMA MASTER	ガンマ特性を調整します。
GAMMA B	マスターガンマに対して青色のガンマ特性を調整します。
INITIAL GAMMA	ガンマの立ち上がり傾きを設定します。
GAMMA MODE	ガンマ特性の種類を設定します。
BLACK STRETCH	[GAMMA MODE] で「FILM REC」設定時、ガンマストレッチの位置を設定します。
DYNAMIC LEVEL	[GAMMA MODE] で「FILM REC」設定時、ダイナミックレンジを設定します。
KNEE POINT	[GAMMA MODE] で「VIDEO REC」設定時、ニーポイントを設定します。
KNEE SLOPE	[GAMMA MODE] で「VIDEO REC」設定時、ニースロープを設定します。
GAMMA	ガンマ補正の有効/無効を設定します。
DRS EFFECT.D	ダイナミックレンジストレッチャー機能の高輝度部の圧縮レベルを設定します。数値が大きいほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなります。
DRS SW	ダイナミックレンジストレッチャー機能の有効/無効を設定します。有効にするとコントラストを自動調整します。

14 BLACK GAMMA

設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
BLACK GAMMA R	マスターガンマに対して黒付近の赤色のガンマ特性を調整します。
BLACK GAMMA MASTER	黒付近のガンマ特性を調整します。
BLACK GAMMA B	マスターガンマに対して黒付近の青色のガンマ特性を調整します。
B.GAMMA	ブラックガンマの有効/無効を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [PAINT SWITCH]の[DRS]が「ON」のときは設定できません。

15 KNEE

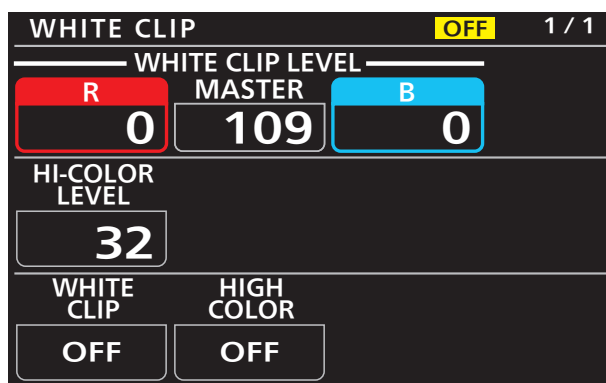
設定値は接続したカメラによって異なります。

The screenshot shows a control interface for the KNEE function. At the top, 'KNEE' is displayed with a yellow 'OFF' indicator and '1 / 1' in the corner. Below this, there are two sections: 'POINT MASTER' and 'SLOPE MASTER'. Each section has three input fields: 'R' (red), 'MASTER' (white), and 'B' (blue). The values are: POINT R: 0.00, POINT MASTER: 95.00, POINT B: 0.00; SLOPE R: 0, SLOPE MASTER: 130, SLOPE B: 0. At the bottom, there is a 'KNEE OFF' button.

項目	設定内容
POINT R	[POINT MASTER]に対して赤色のニーポイントを調整します。
POINT MASTER	ニーポイントの位置を設定します。
POINT B	[POINT MASTER]に対して青色のニーポイントを調整します。
SLOPE R	[SLOPE MASTER]に対して赤色のニーの傾きを調整します。
SLOPE MASTER	ニーの傾きを設定します。
SLOPE B	[SLOPE MASTER]に対して青色のニーの傾きを調整します。
KNEE	ニー機能の有効/無効を設定します。

16 WHITE CLIP

設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
WHITE CLIP LEVEL R	[WHITE CLIP LEVEL MASTER]に対して赤色を調整します。
WHITE CLIP LEVEL MASTER	ホワイトクリップレベルを設定します。
WHITE CLIP LEVEL B	[WHITE CLIP LEVEL MASTER]に対して青色を調整します。
HI-COLOR LEVEL	色のダイナミックレンジを拡大するモードのレベルを設定します。
WHITE CLIP	ホワイトクリップの有効/無効を設定します。
HIGH COLOR	高輝度部分の色再現性を改善させるかどうかを設定します。

17 DRS

設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
EFFECT DEPTH	ダイナミックレンジストレッチャー機能の高輝度部の圧縮レベルを設定します。数値が大きいほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなります。
DRS	ダイナミックレンジストレッチャー機能の有効/無効を設定します。有効にするとコントラストを自動調整します。

18 HD DETAIL

機器構成によって制御先が異なります。

- カメラがAK-UC4000の場合
カメラに対して制御します。
- カメラが上記以外の場合
システムフォーマットがUHDの場合は、CCUに対して制御します。それ以外の場合は、カメラに対して制御します。

設定値は接続したカメラによって異なります。

HD DETAIL			OFF	1 / 3
MASTER DETAIL	DETAIL LV		H	V
0	15	15		
PEAK FRQ	V DETAIL FRQ	CRISP		
15.0	10	10		
LEVEL DEPENDENT	DARK DETAIL			
8	2			

HD DETAIL			OFF	2 / 3
DETAIL SOURCE				
(G+R)/2				
DETAIL				
GAIN(+)		GAIN(-)		
0	0			
DETAIL				
CLIP +		CLIP -		
0	0			

HD DETAIL			OFF	3 / 3
KNEE APERTURE	DETAIL KNEE			
5	0			
DETAIL	LV DPN SW	D.DTL SW		
OFF	OFF	OFF		

項目	設定内容
MASTER DETAIL	マスターディテールレベルを調整します。
DETAIL LV H	水平ディテールレベルを調整します。
DETAIL LV V	垂直ディテールレベルを調整します。
PEAK FRQ	水平ディテールのピーク周波数を設定します。
V DETAIL FRQ	V DETAILの周波数を設定します。
CRISP	ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。
LEVEL DEPENDENT	暗部のディテールを除去するレベルを設定します。
DARK DETAIL	暗部のディテールを強調するレベルを設定します。
DETAIL SOURCE	ディテール成分を作る源信号を選択します。
DETAIL GAIN (+)	ディテールの+（上）方向のレベルを変更します。
DETAIL GAIN (-)	ディテールの-（下）方向のレベルを変更します。

項目	設定内容
DETAIL CLIP+	ディテールの付きすぎによるざらつきを抑えるため、ディテールクリップを調整します。
DETAIL CLIP-	ディテールエッジ成分のアンダーシュート部分の長さを制限します。
KNEE APERTURE	ニーの開口部のレベルを調整します。
DETAIL KNEE	ニーのディテール成分を調整します。
DETAIL	HDディテールの効果の有効/無効を設定します。
LV DPN SW	暗部のディテールを除去します。
D. DTL SW	暗部のディテールを強調します。

19 UHD DETAIL

機器構成によって制御先が異なります。

- カメラがAK-UC4000の場合
カメラに対して制御します。
- カメラが上記以外の場合
CCUに対して制御します。

設定値は接続したカメラによって異なります。

UHD DETAIL			OFF	1 / 2
MASTER DETAIL	DETAIL LV		H	V
0	20	32		
PEAK FRQ	CRISP			
4	5			
DETAIL		CLIP+	CLIP-	
0		0		

UHD DETAIL			OFF	2 / 2
KNEE APETURE	DETAIL KNEE			
5	0			
LEVEL DEPENDENT	DARK DETAIL			
8	0			
DETAIL	LV DPN SW	D.DTL SW		
OFF	OFF	OFF		

項目	設定内容
MASTER DETAIL	マスターディテールレベルを調整します。
DETAIL LV H	水平ディテールレベルを調整します。
DETAIL LV V	垂直ディテールレベルを調整します。
PEAK FRQ	輪郭補正帯域（ブースト周波数あるいはピーク周波数）を選択します。輪郭の太さが変更されます。
CRISP	ディテール信号のノイズ除去レベルの設定を行います。
DETAIL CLIP+	ディテールの付きすぎによるぎらつきを抑えるため、ディテールクリップを調整します。
DETAIL CLIP-	ディテールエッジ成分のアンダーシュート部分の長さを制限します。
KNEE APETURE	二ーの開口部のレベルを調整します。
DETAIL KNEE	二ーのディテール成分を調整します。
LEVEL DEPENDENT	暗部のディテールを除去します。 • [DARK DETAIL]と同時にできません。
DARK DETAIL	暗部のディテール強調のレベルを設定します。 • [LEVEL DEPENDENT]と同時に設定できません。
DETAIL	UHDディテールの効果の有効/無効を設定します。
LV DPN SW	暗部のディテールを除去します。
D. DTL SW	暗部のディテールを強調します。

20 SD DETAIL

機器構成によって制御先が異なります。

- カメラがAK-UC4000の場合
固定値が表示されます。設定変更はできません。
- カメラが上記以外の場合
CCUに対して制御します。それ以外の場合は、カメラに対して制御します。

設定値は接続したカメラによって異なります。

SD DETAIL
OFF
1 / 2

_____DETAIL LV_____

H
V

15
25

PEAK1
FRQ
4.0

PEAK 2
FRQ
OFF

CRISP
0

LEVEL
DEPENDENT
0

DARK
DETAIL
0

SD DETAIL
OFF
2 / 2

_____DETAIL_____

OFF

項目	設定内容
DETAIL LV H	水平ディテールレベルを調整します。
DETAIL LV V	垂直ディテールレベルを調整します。
PEAK1 FRQ	輪郭補正帯域（ブースト周波数あるいはピーク周波数）を選択します。輪郭の太さが変更されます。
PEAK2 FRQ	輪郭補正帯域（ブースト周波数あるいはピーク周波数）を選択します。輪郭の太さが変更されます。
CRISP	ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。
LEVEL DEPENDENT	暗部のディテールを除去するレベルを設定します。
DARK DETAIL	暗部のディテールを強調するレベルを設定します。
DETAIL	SDディテールの効果の有効/無効を設定します。

21 HD SKIN TONE DTL

機器構成によって制御先が異なります。

- カメラがAK-UC4000の場合
カメラに対して制御します。
- カメラが上記以外の場合
システムフォーマットがUHDの場合は、CCUに対して制御します。それ以外の場合は、カメラに対して制御します。

設定値は接続したカメラによって異なります。

HD SKIN TONE DTL			OFF	1 / 3
MEMORY SELECT		CURSOR		
A		OFF		
POS H		POS V	SKIN GET	
50.00		50.00	(push)	
ZEBRA SWITCH	ZEBRA EFFECT	EFFECT MEMORY		
OFF	A	A		

HD SKIN TONE DTL			OFF	2 / 3
SKIN TONE CRISP				
+63				
I CENTER		I WIDTH		
87		20		
Q WIDTH		Q PHASE		
43		90		

HD SKIN TONE DTL			OFF	3 / 3
SKIN TONE DETAIL				
OFF				

項目	設定内容
MEMORY SELECT	肌色ディテールの設定値（CRISP、PHASE、WIDTH、SATURATION）を保存するメモリーを切り替えます。
CURSOR	肌色ディテールの効果対象とする彩度と色相情報を取得する位置カーソルの有効/無効を設定します。
POS H	水平方向のカーソルポジションを設定します。
POS V	垂直方向のカーソルポジションを設定します。
SKIN GET	カーソル位置から自動で彩度と色相情報を取得します。
ZEBRA SWITCH	PM出力のY信号に肌色ディテール効果をつける領域を認識できるよう、ゼブラをつけるか付けないかを設定します。
ZEBRA EFFECT	肌色ディテール効果をつけるメモリーを切り替えます。
EFFECT MEMORY	肌色ディテール効果をつけるメモリーを切り替えます。
SKIN TONE CRISP	肌色領域のディテール成分から微少のノイズ成分を除きます。
I CENTER	I軸上の中心位置（スキントーンを効かせるエリア）を設定します。

項目	設定内容
I WIDTH	[I CENTER]を中心としたI 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。
Q WIDTH	肌色領域の幅を0～255の範囲で広げます。
Q PHASE	肌色領域の色相をベクトル表示0～359の範囲で変更します。
SKIN TONE DETAIL	肌色ディテール機能の有効/無効を設定します。

22 UHD SKIN TONE DTL

機器構成によって制御先が異なります。

- カメラがAK-UC4000の場合
カメラに対して制御します。
- カメラが上記以外の場合
CCUに対して制御します。

設定値は接続したカメラによって異なります。

UHD SKIN TONE DTL			[OFF]	1 / 3
MEMORY SELECT		CURSOR		
A		OFF		
POS H		POS V	SKIN GET	
50.00		50.00	(push)	
ZEBRA SWITCH	ZEBRA EFFECT	EFFECT MEMORY		
OFF	A	A		

UHD SKIN TONE DTL			[OFF]	2 / 3
SKIN TONE CRISP				
+63				
I CENTER		I WIDTH		
87		20		
Q WIDTH		Q PHASE		
43		90		

UHD SKIN TONE DTL			[OFF]	3 / 3
SKIN TONE DETAIL				
OFF				

項目	設定内容
MEMORY SELECT	肌色ディテールの設定値 (CRISP、PHASE、WIDTH、SATURATION) を保存するメモリーを切り替えます。
CURSOR	肌色ディテールの効果対象とする彩度と色相情報を取得する位置カーソルの有効/無効を設定します。
POS H	水平方向のカーソルポジションを設定します。
POS V	垂直方向のカーソルポジションを設定します。
SKIN GET	カーソル位置から自動で彩度と色相情報を取得します。
ZEBRA SWITCH	PM出力のY信号に肌色ディテール効果をつける領域を認識できるように、ゼブラをつけるか付けないかを設定します。
ZEBRA EFFECT	肌色ディテール効果をつけるメモリーを切り替えます
EFFECT MEMORY	肌色ディテール効果をつけるメモリーを切り替えます。
SKIN TONE CRISP	肌色領域のディテール成分から微少のノイズ成分を除きます。

項目	設定内容
I CENTER	I 軸上の中心位置（スキントーンを効かせるエリア）を設定します。
I WIDTH	[I CENTER]を中心としたI 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。
Q WIDTH	肌色領域の幅を0～255の範囲で広げます。
Q PHASE	肌色領域の色相をベクトル表示0～359の範囲で変更します。
SKIN TONE DETAIL	肌色ディテール機能の有効/無効を設定します。

23 LINEAR MATRIX

設定値は接続したカメラによって異なります。

LINEAR MATRIX			[OFF]	1 / 3
PRESET MATRIX	LINEAR TABLE	COLOR CORRECT		
NORM	A	A		
— MATRIX(R - G) —				
P		N		
0	0			
— MATRIX(R - B) —				
P		N		
0	0			

LINEAR MATRIX			[OFF]	2 / 3
— MATRIX(G - R) —				
P		N		
0	0			
— MATRIX(G - B) —				
P		N		
0	0			
— MATRIX(B - R) —				
P		N		
0	0			

LINEAR MATRIX			[OFF]	3 / 3
— MATRIX(B - G) —				
P		N		
0	0			
MATRIX	COLOR CORRECT	LINEAR MATRIX		
OFF	OFF	OFF		

項目	設定内容
PRESET MATRIX	プリセットマトリックスを設定します。
LINEAR TABLE	リニアマトリックスのテーブルを選択します。
COLOR CORRECT	色補正用テーブルを選択します。
MATRIX (R-G) P	赤と緑の間のリニアマトリックスを調整します。
MATRIX (R-G) N	[MATRIX]が「OFF」のときは使用できません。
MATRIX (R-B) P	赤と青の間のリニアマトリックスを調整します。
MATRIX (R-B) N	[MATRIX]が「OFF」のときは使用できません。
MATRIX (G-R) P	緑と赤の間のリニアマトリックスを調整します。
MATRIX (G-R) N	[MATRIX]が「OFF」のときは使用できません。
MATRIX (G-B) P	緑と青の間のリニアマトリックスを調整します。
MATRIX (G-B) N	[MATRIX]が「OFF」のときは使用できません。
MATRIX (B-R) P	青と赤の間のリニアマトリックスを調整します。
MATRIX (B-R) N	[MATRIX]が「OFF」のときは使用できません。
MATRIX (B-G) P	青と緑の間のリニアマトリックスを調整します。
MATRIX (B-G) N	[MATRIX]が「OFF」のときは使用できません。
MATRIX	マトリックス機能の有効/無効を設定します。

項目	設定内容
COLOR CORRECT	12 軸色補正機能の有効/ 無効を設定します。
LINEAR MATRIX	リニアマトリックス機能の有効/ 無効を設定します。

24 COLOR CORRECTION

設定値は接続したカメラによって異なります。

COLOR CORRECTION			OFF	1 / 6
PRESET MATRIX	LINEAR TABLE	CORRECT TABLE		
NORM	A	A		
COLOR CORRECT	SAT	PHASE		
G	0	0		
SAT G	PHASE G			
0	0			

COLOR CORRECTION		OFF	2 / 6
SAT G_CY	PHASE G_CY		
0	0		
SAT CY	PHASE CY		
0	0		
SAT CY_B	PHASE CY_B		
0	0		

COLOR CORRECTION		OFF	3 / 6
SAT B	PHASE B		
0	0		
SAT B_MG	PHASE B_MG		
0	0		
SAT MG	PHASE MG		
0	0		

COLOR CORRECTION		OFF	4 / 6
SAT MG_R	PHASE MG_R		
0	0		
SAT R	PHASE R		
0	0		
SAT R_YE	PHASE R_YE		
0	0		

COLOR CORRECTION [OFF] 5 / 6

SAT YE	PHASE YE
0	0

SAT YE_G	PHASE YE_G
0	0

CURSOR

[OFF]

COLOR CORRECTION [OFF] 6 / 6

POS		
H	V	GET
50.00	50.00	(push)

MATRIX	COLOR CORRECT	LINEAR MATRIX
OFF	OFF	OFF

項目	設定内容
PRESET MATRIX	リニアマトリックス機能の有効/無効を設定します。
LINEAR TABLE	リニアマトリックスのテーブルを選択します。
CORRECT TABLE	色補正テーブルを選択します。
COLOR CORRECT	12軸マトリックスメモリーの調整する色成分を選択します。
SAT	[COLOR CORRECT] で選択した色成分の飽和度を調整します。
PHASE	[COLOR CORRECT] で選択した色成分の色相を調整します。
SAT G	12軸マトリックスメモリーの各色成分の色飽和度を調整します。
SAT G_CY	<ul style="list-style-type: none"> • [COLOR CORRECT]が「OFF」のときは調整の効果が適用されません。
SAT CY	
SAT CY_B	
SAT B	
SAT B_MG	
SAT MG	
SAT MG_R	
SAT R	
SAT R_YE	
SAT YE	
SAT YE_G	

項目	設定内容
PHASE G	12軸マトリックスメモリの各色成分の色相を調整します。 <ul style="list-style-type: none"> • [COLOR CORRECT]が「OFF」のときは調整の効果が適用されません。
PHASE G_CY	
PHASE CY	
PHASE CY_B	
PHASE B	
PHASE B_MG	
PHASE MG	
PHASE MG_R	
PHASE R	
PHASE R_YE	
PHASE YE	
PHASE YE_G	
CURSOR	
POS H	カーソルの水平位置を調整します。
POS V	カーソルの垂直位置を調整します。
GET	カーソル位置から自動で色情報を取得し、色合せしたい軸の情報を[COLOR CORRECT]に反映します。
MATRIX	マトリックス機能の有効/無効を設定します。
COLOR CORRECT	12 軸色補正機能の有効/無効を設定します。
LINEAR MATRIX	リニアマトリックス機能の有効/無効を設定します。

25 SKIN CORRECTION


設定値は接続したカメラによって異なります。

SKIN CORRECTION		1 / 1
SKIN AREA		
HUE	TONE	
0	0	
SKIN AREA		
SW	TABLE	
OFF	A	

項目	設定内容
SKIN AREA HUE	スキンエリアの色相を微調整します。
SKIN AREA TONE	スキンエリアのトーンを微調整します。
SKIN AREA SW	肌色付近の色を微調整する機能の有効/無効を設定します。
SKIN AREA TABLE	スキンエリアのテーブルを選択します。

26 DNR

設定値は接続したカメラによって異なります。

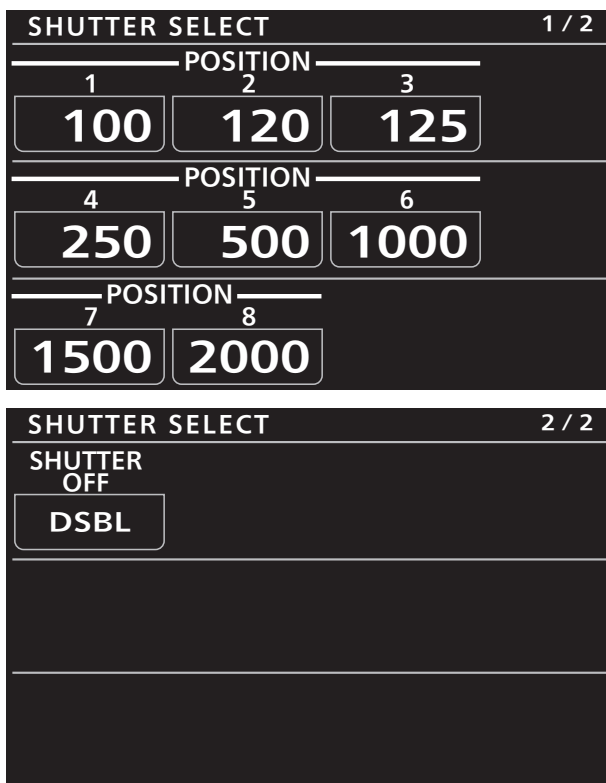


The screenshot shows a menu titled "DNR" with a status of "OFF" and "1 / 1". Below the title, there are two settings: "DNR LEVEL" set to "3" and "DNR SW" set to "OFF".

項目	設定内容
DNR LEVEL	ノイズリダクションのレベルを設定します。
DNR SW	ノイズリダクション機能の有効/無効を設定します。

27 SHUTTER SELECT

設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
POSITION1	[POSITION1]～[POSITION8]のシャッタースピードを設定します。
POSITION2	
POSITION3	
POSITION4	
POSITION5	
POSITION6	
POSITION7	
POSITION8	
SHUTTER OFF	シャッターポジションを切り替えるときに、シャッターOFFを含めるか選択します。

28 LENS FILE/EDIT

設定値は接続したカメラによって異なります。

LENS FILE/EDIT 1 / 4

MODE	FILE No.	LENS FILE SW
LOAD	OFF	OFF

FILE NAME -

EXECUTE

NO?

LENS FILE/EDIT 2 / 4

EXTENDER	FILE No.
X1	OFF

FILE NAME -

FLARE

R	G	B
0	0	0

LENS FILE/EDIT 3 / 4

GAIN

R	B
0	0

W H SAW

R	G	B
0	0	0

W H PARA

R	G	B
0	0	0

LENS FILE/EDIT 4 / 4

W V SAW

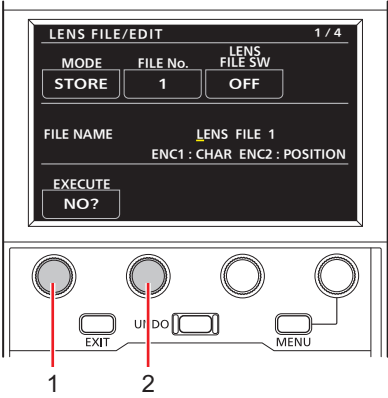
R	G	B
0	0	0

W V PARA

R	G	B
0	0	0

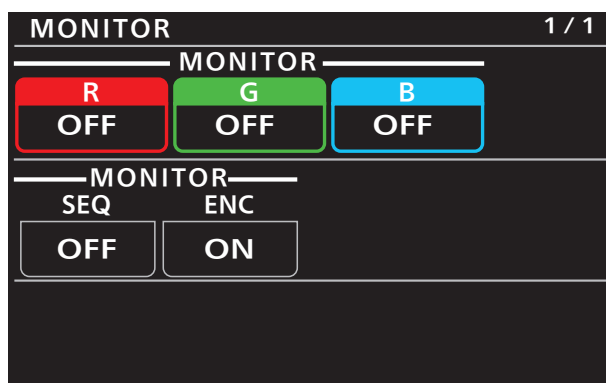
STORE NUM	STORE	CANCEL
1	NO?	NO?

項目	設定内容
MODE	現時点のレンズファイルをカメラ内に保存 (STORE) するか、またはカメラ内に保存されているレンズファイルを読み出すか (LOAD) を選択します。
FILE No.	ファイルを選択します。
LENS FILE SW	LENSファイルの有効/無効を設定します。

項目	設定内容
FILE NAME	<p>[FILE No.]で指定した番号のファイル名が表示されます。 [MODE]の設定が「STORE」のときは、ファイル名を変更できます。 [MENU]ダイヤル1、2でファイル名変更の操作を行います。</p>  <p>[MENU]ダイヤル1（左端）：文字の変更を行います。 [MENU]ダイヤル2（左から2番目）：修正する文字を選択します。</p>
EXECUTE	<p>[MODE]が「LOAD」のとき ファイルを読み出します。 [MODE]が「STORE」のとき ファイルを保存します。</p>
EXTENDER	レンズエクステンダーの現在の倍率を設定します。
FILE No.	現在読み込み中のレンズファイルの番号を表示します。
FILE NAME	現在読み込み中のレンズファイルの名称を表示します。
FLARE R	表示データのRフレアを調整します。
FLARE G	表示データのGフレアを調整します。
FLARE B	表示データのBフレアを調整します。
GAIN R	表示データのRゲインを調整します。
GAIN B	表示データのBゲインを調整します。
W H SAW R	表示データのR、G、Bch ホワイトシェーディングを、ノコギリ歯状波形を使って水平方向に調整します。
W H SAW G	
W H SAW B	
W H PARA R	表示データのR、G、Bch ホワイトシェーディングを、パラボラ波形を使って水平方向に調整します。
W H PARA G	
W H PARA B	
W V SAW R	表示データのR、G、Bch ホワイトシェーディングを、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向に調整します。
W V SAW G	
W V SAW B	
W V PARA R	表示データのR、G、Bch ホワイトシェーディングを、パラボラ波形を使って垂直方向に調整します。
W V PARA G	
W V PARA B	
STORE NUM	登録するLENSファイルの番号を指定します。
STORE	[FLARE R/G/B]、[GAIN R/B]、[W H SAW R/G/B]、[W H PARA R/G/B]、[W V SAW R/G/B]、[W V PARA R/G/B]の設定を[FILE No.]で指定したレンズファイルに保存します。
CANCEL	[FLARE R/G/B]、[GAIN R/B]、[W H SAW R/G/B]、[W H PARA R/G/B]、[W V SAW R/G/B]、[W V PARA R/G/B]の設定を破棄し、変更前の状態に戻します。

29 MONITOR

設定値は接続したCCUによって異なります。



項目	設定内容
MONITOR R	RモニターをON/OFFします。
MONITOR G	GモニターをON/OFFします。
MONITOR B	BモニターをON/OFFします。
MONITOR SEQ	SEQモニターをON/OFFします。
MONITOR ENC	ENCモニターをON/OFFします。

30 SYSTEM CAM

設定値は接続したカメラによって異なります。

SYSTEM CAM			1 / 4
FORMAT			
1080/59.94p			
TALK OFF			
INCOM1		INCOM2	
(push)		(push)	
MIC1			
GAIN		LINE LV	AMP
60		0	0

SYSTEM CAM			2 / 4
GAIN		MIC2 LINE LV	AMP
60		0	0
SHOOTING MODE		CAM FAN	
NORMAL		NORMAL	
TALLY GUARD			
OFF			

SYSTEM CAM			3 / 4
ASU FILTER	ASU MODE	ASU M.PED TARGET	
REF	FULL	3.0	
ASU REF.FILE	REF. RECALL		
FCTRY	FCTRY		
CABLE CONNECT	CTRL ROTATION		
HYBRID	Mode1		

SYSTEM CAM		4 / 4
TALLY		
CONTROL	INPUT	
OFF	CAM1	

項目	設定内容
FORMAT	カメラのフォーマットを設定します。本機をCCUと接続している場合には、表示のみとなります。
TALK OFF INCOM1	INCOM1のTALKをOFFにします。
TALK OFF INCOM2	INCOM2のTALKをOFFにします。
MIC1 GAIN	MIC1のゲインを粗調整します。
MIC1 LINE LV	カメラの〈MIC 1〉端子への入力レベルを調整します。

項目	設定内容
MIC1 AMP	MIC1のゲインを微調整します。 (1 dB刻み)
MIC2 GAIN	MIC2のゲインを粗調整します。
MIC2 LINE LV	カメラの〈MIC 2〉端子への入力レベルを調整します。
MIC2 AMP	MIC2のゲインを微調整します。 (1 dB刻み)
SHOOTING MODE	撮影モードを設定します。
CAM FAN	カメラの空冷ファンの動作を設定します。
TALLY GUARD	ON設定ではASU、AWB、ABBの自動系動作が、タリーON中にはガードされ無効になります。
ASU FILTER	オートセットアップ起動時のND/CCフィルターの動作を設定します。 REF リファレンスファイルに設定してあるフィルターで起動します。 CURRENT 起動前のフィルター位置でオートセットアップが起動します。
ASU MODE	オートセットアップモード設定を選択します。
ASU M. PED TARGET	オートセットアップを起動したときにマスターペダスタルを収束させる位置を設定します。
ASU REF.FILE	オートセットアップのときのリファレンスファイルを設定します。
REF.RECALL	[REF. RECALL]ボタンを押したときに呼び出すリファレンスファイルを設定します。
CABLE CONNECT	CCUと接続するケーブルの設定を表示します。設定変更はカメラ本体のメニューから行ってください。 HYBRID 光ファイバーマルチケーブルでのCCUとの接続を意味します。 FIBER 光ファイバークーブルのみでのCCUとの接続を意味します。
CTRL ROTATION	数値を基準として操作するモードと、効果を基準として操作するモードがあります。詳しくはカメラの説明書をご覧ください。
TALLY CONTROL	〈PREVIEW〉端子からタリーの入力があるときに、カメラに通知するかどうかを設定します。 「ON」に設定すると、[TALLY INPUT]で設定したカメラを選択時、タリーの入力があると通知します。 <ul style="list-style-type: none"> • [CONNECT SETTING]で「Serial」、「LAN」、「Serial(AK)」、「LAN(AK)」以外が設定されているときに有効となります。
TALLY INPUT	[TALLY CONTROL]を「ON」に設定時、タリーの入力を通知するカメラを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [CONNECT SETTING]で「Serial」、「LAN」、「Serial(AK)」、「LAN(AK)」以外が設定されているときに有効となります。

31 SYSTEM CCU

設定値は接続したCCUによって異なります。

SYSTEM CCU			1 / 4
FORMAT			
1080 / 50p			
RETURN1 SELECT	RETURN2 SELECT	RETURN3 SELECT	
RET1	RET2	RET3	
RETURN4 SELECT	RETURN FS	CAMERA NUMBER	
RET4	OFF	1	

SYSTEM CCU		2 / 4
D/C MODE	U/C MODE	
SC	SC	
BARS		
HD	SD	
ARIB	SMPTE	
C/B SETUP	SDI8 OUT	
COMPST	PM	

SYSTEM CCU			3 / 4
HD H			
COARSE	FINE		
0	0		
SD H			
COARSE	FINE		
0	0		
SD-HD V	SCH	CABLE CONNECT	
OH	0	HYBRID	

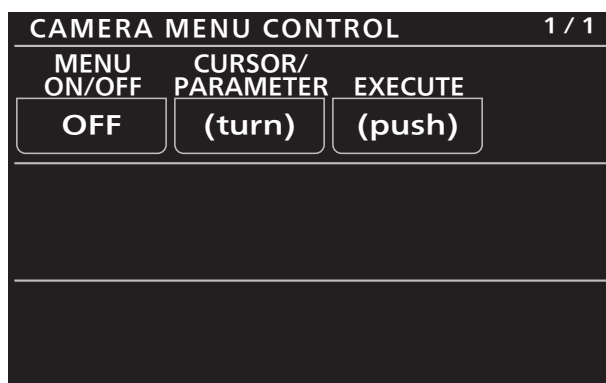
SYSTEM CCU		4 / 4
FORMAT MODE(push)		
UHD(59.94)		

項目	設定内容
FORMAT	CCUから出力するフォーマットを選択します。 ここで選択したフォーマットを元に、CCUがカメラにフォーマットを指定します。
RETURN1 SELECT	リターン信号1の入力割付を設定します。
RETURN2 SELECT	リターン信号2の入力割付を設定します。
RETURN3 SELECT	リターン信号3の入力割付を設定します。
RETURN4 SELECT	リターン信号4の入力割付を設定します。

項目	設定内容
RETURN FS	HDリターン信号の遅延モードを設定します。
CAMERA NUMBER	CCUで管理しているカメラ番号を変更します。
D/C MODE	SD SDI、VBSから出力される映像のダウンコンバート方式を選択します。
U/C MODE	SD SDIおよびVBSリターン映像に適用される映像のアップコンバート方式を選択します。
BARS HD	CCUで出力するHDのカラーバーを指定します。
BARS SD	CCUで出力するSDのカラーバーを指定します。
C/B SETUP	カラーバー出力時のSD信号の出力を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 「SD_SDI」選択時は、「SETUP7.5%」が無効になります。
SDI8 OUT	SDI8 OUTのPM/NORMALを切り替えます。
HD H COARSE	GL HD REF時のH_FINE位相を大まかに設定します。
HD H FINE	GL HD REF時のH_FINE位相を細かく設定します。
SD H COARSE	GL SD REF時のH_FINE位相を大まかに設定します。
SD H FINE	GL SD REF時のH_FINE位相を細かく設定します。
SD-HD V	ダウンコンバートSD REF時の垂直位相を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> CCUの[24PsF GL MODE]の設定が「NORMAL」の場合は、「OH」固定となります。 CCUの[24PsF GL MODE]の設定が「ADVANCE」の場合は、「OH_SD_DLAY」固定となります。 1080/59.94i(24P)の場合は、「OH」固定となります。
SCH	VBS出力のSCH位相を調整します。
CABLE CONNECT	カメラと接続するケーブルの設定を表示します。設定変更はCCU本体のメニューから行ってください。 HYBRID 光ファイバermalチケーブルでのカメラとの接続を意味します。 FIBER 光ファイバケーブルのみでのカメラとの接続を意味します。
FORMAT MODE (push)	CCUのフォーマットモードを選択します。

32 CAMERA MENU CONTROL

本メニューは、CCUのピクチャーモニター（PM）の設定値が720pのときには操作が行えません。



____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
MENU ON/OFF	OFF ON	メニューのON / OFFを行います。
CURSOR/PARAMETER	-	メニューのカーソル移動もしくは設定値変更の操作を行います。
EXECUTE	-	選択された処理を決定します。

33 CCU MENU CONTROL

CCU MENU CONTROL			1 / 1
MENU ON/OFF	CURSOR/ PARAMETER	EXECUTE	
OFF	(turn)	(push)	

___ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
MENU ON/OFF	OFF ON	メニューのON / OFFを行います。
CURSOR/PARAMETER	-	メニューのカーソル移動もしくは設定値変更の操作を行います。
EXECUTE	-	選択された処理を決定します。

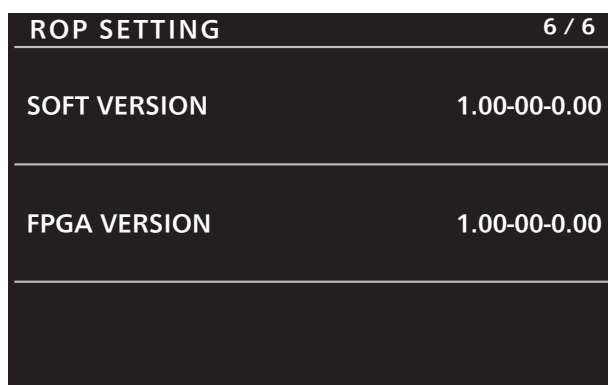
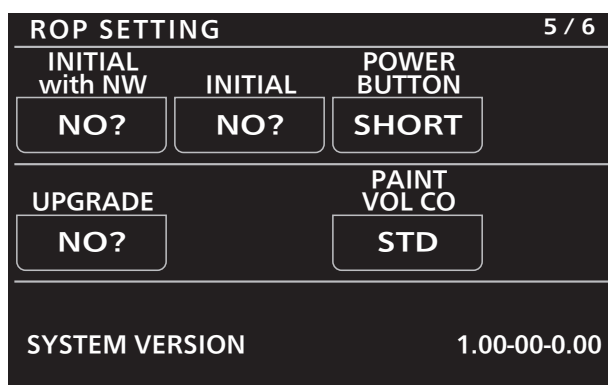
34 ROP SETTING

ROP SETTING			1 / 6
CONTROL(MENU)			
1	2	3	
GAIN	GAMMA	KNEE	
CONTROL(MENU)			B.GAMMA SW
4	5		
HD.D	MATRIX	SDR	
MODE(ON/OFF)			
1	2	3	
FLARE	GAMMA	KNEE	

ROP SETTING			2 / 6
MODE(ON/OFF)			ECC BTN CTRL
4	5		
W.CLIP	HD.D	VAR	
ASSIGN BUTTON	USER ASSIGN	IRIS LEV MODE	
H.CHRM	GAIN	ABS	
CAM SEL	DTL VOL	SKIN DTL SW	
CAM1	UHD	UHD	

ROP SETTING			3 / 6
LCD BRIGHT	PANEL LED BRIGHT		
10	3		
7SEG BRIGHT			
GROUP 1	GROUP 2		
7	7		
BUZZER	PERIOD	CYCLE	
ON	0	0.3	

ROP SETTING			4 / 6
STD POSITION		IRIS/PED LOCK	
M.GAIN	VAR		
0	0.0	BOTH	
STD POSITION		IRIS PRIORITY	
ND	CC		
2	A	NON	
ROP DATA		SD CARD FORMAT	
SAVE	LOAD		
NO?	NO?	NO?	



_____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
CONTROL(MENU)1	PAINT SHUT B.SHD PED H.CHRM U.CHRM GAIN TEMP	[1]~[5](CONTROL/MODE)ボタンに割り当てる機能を設定します。 設定値は以下のメニュー名称を表しています。 PAINT : PAINT SWITCH SHUT : SHUTTER SPEED B.SHD : BLACK SHADING PED : PEDESTAL H.CHRM : HD CHROMA U.CHRM : UHD CHROMA
CONTROL(MENU)2	ECC TEMP U W.SHD FLARE GAMMA B.GAM KNEE W.CLIP	GAIN : RB GAIN TEMP : COLOR TEMP ECC : ECC TEMP U : CAM USER SW TEMP W.SHD : WHITE SHADING FLARE : FLARE GAMMA : GAMMA B.GAM : BLACK GAMMA
CONTROL(MENU)3	DRS HD.D UHD.D SD.D HD S.DTL UHD S.DTL MATRIX C.CORR S.CORR	KNEE : KNEE W.CLIP : WHITE CLIP DRS : DRS HD.D : HD DETAIL UHD.D : UHD DETAIL SD.D : SD DETAIL HD S.DTL : HD SKIN TONE DTL UHD S.DTL : UHD SKIN TONE DTL MATRIX : LINEAR MATRIX C.CORR : COLOR CORRECTION S.CORR : SKIN CORRECTION
CONTROL(MENU)4	DNR S.SEL REF A.IRIS SD S.DTL HDR PAINT	DNR : DNR S.SEL : SHUTTER SELECT REF : REFERENCE A.IRIS : AUTO IRIS SETTING SD S.DTL : SD SKIN TONE DTL ([CONNECT SETTING]で「Serial (AK)」、「LAN(AK)」が設定されているときに有効となります。) HDR PAINT : HDR-PAINT
CONTROL(MENU)5		<ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時の設定 CONTROL(MENU)1 : GAIN CONTROL(MENU)2 : GAMMA CONTROL(MENU)3 : KNEE CONTROL(MENU)4 : HD.D CONTROL(MENU)5 : MATRIX
B.GAMMA SW	HDR SDR	[B.GAMMA SW]のON/OFF対象を「HDR」(HLG B.GAMMA)と「SDR」(B.GAMMA)から選択できます。

項目	設定値	設定内容
MODE(ON/OFF)1	GAMMA FLARE KNEE W.CLIP H.CHRM	[1]~[5](CONTROL/MODE)ボタンに割り当てる機能を設定します。 設定値は以下の機能を表しています。 GAMMA : GAMMA FLARE : FLARE KNEE : KNEE
MODE(ON/OFF)2	U.CHRM H.COL UHD.D HD.D D.EXT S.CORR	W.CLIP : WHITE CLIP H.CHRM : HD CHROMA U.CHRM : UHD CHROMA H.COL : HIGH COLOR UHD.D : UHD DETAIL HD.D : HD DETAIL D.EXT : D.EXT S.CORR : SKIN CORRECTION
MODE(ON/OFF)3	SHOOT 5600K ECC A~E UP	SHOOT : SHOOTING 5600K : ECCをONにし、色温度を5600Kの設定にします。 ECC A~E : ECCメニューでメモリーした色温度を設定します。
MODE(ON/OFF)4	DOWN SD.D HDR.K	UP、DOWN : TOP MENUをページ単位で切り替えます。 SD.D : SD DTL HDR.K : HLG KNEE
MODE(ON/OFF)5		<ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時の設定 MODE(ON/OFF)1 : FLARE MODE(ON/OFF)2 : GAMMA MODE(ON/OFF)3 : KNEE MODE(ON/OFF)4 : W.CLIP MODE(ON/OFF)5 : HD.D
ECC BTN CTRL	VAR MEM	前面パネルの[ECC]ボタンが点灯 (ON) 時に、[CC]セットボタンの制御方法を選択します。 VAR [COLOR TEMP]の値に対して、INC/DECの操作を行います。 MEM [ECC]メニューで登録したA~Eの設定値を呼び出します。 呼び出したメモリー番号は[CC]ディスプレイに表示されます。 [ECC]ボタンをON (点灯) にしたときは、前回呼び出されたメモリー番号が表示されます。(工場出荷時は「A」が表示されます。)
ASSIGN BUTTON	GAMMA FLARE KNEE W.CLIP H.CHRM U.CHRM H.COL UHD.D HD.D D.EXT S.CORR SHOOT 5600K ECC A~E SD.D HDR.K	[ASSIGN]ボタンに割り当てる機能を設定します。 設定値は以下の機能を表しています。 GAMMA : GAMMA FLARE : FLARE KNEE : KNEE W.CLIP : WHITE CLIP H.CHRM : HD CHROMA U.CHRM : UHD CHROMA H.COL : HIGH COLOR UHD.D : UHD DETAIL HD.D : HD DETAIL D.EXT : D.EXT S.CORR : SKIN CORRECTION SHOOT : SHOOTING 5600K : ECCをONにし、色温度を5600Kの設定にします。 ECC A~E : ECCメニューでメモリーした色温度を設定します。 SD.D : SD DTL ([CONNECT SETTING]で「Serial(AK)」、 「LAN(AK)」が設定されているときに有効となります。) HDR.K : HLG KNEE
USER ASSIGN	GAIN M.GAMM H.CHRM U.CHRM DRS KNEE.S UHD S.DTL HD S.DTL S.HUE S.TONE	[SELECT]ダイヤルの[USER]に割り当てる機能を設定します。 設定値は以下の機能を表しています。 GAIN : GAIN (R, G, B GAINの値を同時に操作します。AUTO WHITE (オートホワイトバランス調整) を実行したときには、0になります。またUSER ASSIGNへの割り当てを「GAIN」以外に変更したときや、他のカメラに切り替えた場合にも0になります。) M.GAMM : MASTER GAMMA H.CHRM : HD CHROMA GAIN U.CHRM : UHD CHROMA GAIN DRS : DRS KNEE.S : KNEE SLOPE UHD S.DTL : UHD SKIN DTL HD S.DTL : HD SKIN DTL S.HUE : SKIN CORRECTION (HUE) S.TONE : SKIN CORRECTION (TONE)

項目	設定値	設定内容
IRIS LEV MODE	ABS RLTV	アイリス操作の制御に対して、絶対値か相対値かを選択します。 ABS：絶対値制御。 RLTV：相対値制御。
CAM SEL	CAM1～CAM99	接続するカメラの切り替えができます。
DTL VOL	UHD HD SD	パネルにあるディテール操作の制御対象を選択します。 UHD：UHDのディテールを制御します。 HD：HDのディテールを制御します。 SD：SDのディテールを制御します。
SKIN DTL SW	UHD HD SD	パネルにある肌色ディテール操作の制御対象を選択します。 UHD：UHDの肌色ディテールを制御します。 HD：HDの肌色ディテールを制御します。 SD：SDの肌色ディテールを制御します。（[CONNECT SETTING]で「Serial(AK)」、「LAN(AK)」が設定されているときに有効となります。）
LCD BRIGHT	1～20	液晶パネルの輝度を設定します。
PANEL LED BRIGHT	1～5	パネルのボタンの輝度を設定します。
7SEG BRIGHT GROUP1	0～15	パネル面の7セグ表示器（グループ1）の輝度を設定します。 「NDフィルターディスプレイ」「CCフィルターディスプレイ」「マスターゲインディスプレイ」および「シャッターディスプレイ」が対象です。
7SEG BRIGHT GROUP2	0～15	パネル面の7セグ表示器（グループ2）の輝度を設定します。 「アイリスディスプレイ」と「カメラ選択ナンバー/マスターペダスタルディスプレイ」が対象です。
BUZZER	OFF ON	ブザー音（操作音/コール音）の有効、無効を設定します。
PERIOD	0～5	[PERIOD] [CYCLE]は、[CAMERA CCU]での[CALL]が放されたときからの時間になります。
CYCLE	0.3 0.5 1.0	PERIOD：点滅時間(秒単位) CYCLE：点滅周期（1.0の場合は500 msec消灯 → 500 msec点灯の繰り返し）になります。
STD POSITION M.GAIN	-6～0～+36	マスターゲイン（M.GAIN）のスタンダードポジションを設定します。
STD POSITION VAR	-2.9～0.0～+2.9	マスターゲイン（M.GAIN）のステップ値のスタンダードポジションを設定します。
IRIS/PED LOCK	BOTH IRIS M.PED	[IRIS/M.PED LOCK]ボタンのロック対象を設定します。 BOTH：IRIS/M.PED IRIS：IRISのみ M.PED：M.PEDのみ
STD POSITION ND	1～2～5	NDフィルターのスタンダードポジションを設定します。
STD POSITION CC	A～E	CCフィルターのスタンダードポジションを設定します。
IRIS PRIORITY	NON Serial LAN	アイリス制御を優先するかどうかを設定します。 NON アイリス制御を優先しません。 カメラのアイリスの位置と、ROPの[IRIS]ダイヤルの位置が不一致の場合、ROPの[IRIS]ダイヤルの位置をカメラのアイリスの位置に合わせてください。 Serial カメラのアイリスの位置と、ROPの[IRIS]ダイヤルの位置が不一致の場合、シリアル接続でのROPの[IRIS]ダイヤル位置を基準に操作します。 LAN カメラのアイリスの位置と、ROPの[IRIS]ダイヤルの位置が不一致の場合、IP接続でのROPの[IRIS]ダイヤル位置を基準に操作します。 • 1台のカメラに対して複数のROPがIPで接続され、各ROPの[IRIS PRIORITY]の設定が「LAN」の場合、それぞれのROPからのアイリス操作がダイレクトに行なえてしまいますのでご注意ください。
ROP DATA SAVE	NO? YES?	本機の設定情報を保存します 対象は以下のメニューです [ROP SETTING][CONNECT SETTING][CAMERA IP SETTING][ROP IP SETTING] • 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、SDカードを抜いたりしないでください。

項目	設定値	設定内容
ROP DATA LOAD	NO? YES?	本機の設定情報を読み込みます。 対象は以下のメニューです [ROP SETTING][CONNECT SETTING][CAMERA IP SETTING][ROP IP SETTING] ● 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、SDカードを抜いたりしないでください。
SD CARD FORMAT	NO? YES?	SDカードの初期化を行います。
INITIAL with NW	NO? YES?	本機の設定を工場出荷時の設定に戻します。 対象は以下のメニューです。 [ROP SETTING][CONNECT SETTING][CAMERA IP SETTING][ROP IP SETTING]
INITIAL	NO? YES?	本機の設定を初期値に戻します。 対象は以下のメニューです。 [ROP SETTING]
POWER BUTTON	SHORT LONG	[POWER HED]ボタンおよび[POWER VF]ボタンの操作方法を変更することができます。 SHORT： [POWER HED]ボタンまたは[POWER VF]ボタンを押したときに、電源のON/OFFを操作します。 LONG： [POWER HED]ボタンまたは[POWER VF]ボタンを長押ししたときに、電源のON/OFFを操作します。
UPGRADE	NO? YES?	本機のソフトウェアをアップデートします。 ● 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、SDカードを抜いたりしないでください。
PAINT VOL CO	STD MODE1 MODE2	ホワイトバランス、ペダスタル、フレアの制御できる範囲を変更することができます。 STD： 制御範囲が現状の設定範囲になります。 MODE1： 制御範囲がSTDの約1/2の範囲になります。 MODE2： 制御範囲がSTDの約1/3の範囲になります。
SYSTEM VERSION	(バージョン表示)	システムのバージョンを表示します。
SOFT VERSION	(バージョン表示)	ソフトのバージョンを表示します。
FPGA VERSION	(バージョン表示)	FPGAのバージョンを表示します。

35 CONNECT SETTING

CONNECT SETTING			1 / 11
CONNECT MODE(push)			
CAM1	CAM2	CAM3	
Serial	NON	NON	
CONNECT MODE(push)			
CAM4	CAM5	CAM6	
NON	NON	NON	
CONNECT MODE(push)			
CAM7	CAM8	CAM9	
NON	NON	NON	

CONNECT SETTING			2 / 11
CONNECT MODE(push)			
CAM10	CAM11	CAM12	
NON	NON	NON	
CONNECT MODE(push)			
CAM13	CAM14	CAM15	
NON	NON	NON	
CONNECT MODE(push)			
CAM16	CAM17	CAM18	
NON	NON	NON	



CONNECT SETTING			11 / 11
CONNECT MODE(push)			
CAM91	CAM92	CAM93	
NON	NON	NON	
CONNECT MODE(push)			
CAM94	CAM95	CAM96	
NON	NON	NON	
CONNECT MODE(push)			
CAM97	CAM98	CAM99	
NON	NON	NON	

___ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
CONNECT MODE CAM1	NON Serial LAN Serial(AK) LAN(AK) Serial(AW) LAN(AW)	カメラ1の接続方式を設定します。 設定変更後に、[MENU]ダイヤルを押すことで変更内容を反映します。 Serial、LAN：AK-HC5000シリーズ、AK-UC3000シリーズ、AK-UC4000シリーズと接続するときに選択します。 Serial(AK)、LAN(AK)：AK-HC3500Aシリーズ、AK-HC3800シリーズと接続するときに選択します。 Serial(AW)、LAN(AW)：AK-UB300シリーズと接続するときに選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 「Serial」、「Serial(AK)」、「Serial(AW)」は複数のカメラに設定を行えません。
CONNECT MODE CAM2~CAM99	NON Serial LAN Serial(AK) LAN(AK) Serial(AW) LAN(AW)	カメラ2~99の接続方式を設定します。 設定変更後に、[MENU]ダイヤルを押すことで変更内容を反映します。 Serial、LAN：AK-HC5000シリーズ、AK-UC3000シリーズ、AK-UC4000シリーズと接続するときに選択します。 Serial(AK)、LAN(AK)：AK-HC3500Aシリーズ、AK-HC3800シリーズと接続するときに選択します。 Serial(AW)、LAN(AW)：AK-UB300シリーズと接続するときに選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 「Serial」、「Serial(AK)」、「Serial(AW)」は複数のカメラに設定を行えません。

 **NOTE**

- AK-UB300は、システムのバージョンが07.0A-000-00.00以降で、接続可能です。

36 ROP IP SETTING

ROP IP SETTING 1 / 4

ROP IP ADDRESS

ROP IP ADDRESS

ROP PORT UPLOAD

ROP IP SETTING 2 / 4

ROP SUBNET MASK

ROP SUBNET MASK

UPLOAD

ROP IP SETTING 3 / 4

ROP DEFAULT GATEWAY

ROP DEFAULT GATEWAY

UPLOAD

ROP IP SETTING 4 / 4

MAC ADDRESS **_**_**_**_**_**

項目	設定内容
ROP IP ADDRESS	<p>本機のIPアドレスを設定します。 以下の範囲で設定できます。 (工場出荷時：192.168.0.130)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第1オクテット：1～223 ● 第2オクテット：0～255 ● 第3オクテット：0～255 ● 第4オクテット：1～254 <p>ただし、以下のアドレスは設定不可です。 設定時に設定値をチェックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 0.***、***.0、***.255、127.0.0.1 ● クラスDアドレス(224.0.0.0～239.255.255.255) ● クラスEアドレス(240.0.0.0～255.255.255.255)
ROP PORT	<p>本機のポートを設定します。 35200～35599の数値が設定可能です。 (工場出荷時：35200)</p>
UPLOAD	[MENU]ダイヤルを押すと、本機のIPアドレス、ポートが設定されます。
ROP SUBNET MASK	<p>本機のサブネットマスクを設定します。 以下の数値が設定できます。 (工場出荷時：255.255.255.0)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第1オクテット：128、192、224、240、248、252、254、255 ● 第2オクテット：0、128、192、224、240、248、252、254、255 ● 第3オクテット：0、128、192、224、240、248、252、254、255 ● 第4オクテット：0、128、192、224、240、248、252、254、255
UPLOAD	[MENU]ダイヤルを押すと、本機のサブネットマスクが設定されます。
ROP DEFAULT GATEWAY	<p>本機のデフォルトゲートウェイを設定します。 以下の範囲で設定できます。 (工場出荷時：192.168.0.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第1オクテット：1～223 ● 第2オクテット：0～255 ● 第3オクテット：0～255 ● 第4オクテット：1～254 <p>ただし、以下のアドレスは設定不可です。 設定時に設定値をチェックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 0.***、***.0、***.255、127.0.0.1 ● クラスDアドレス(224.0.0.0～239.255.255.255) ● クラスEアドレス(240.0.0.0～255.255.255.255)
UPLOAD	[MENU]ダイヤルを押すと、本機のデフォルトゲートウェイが設定されます。
MAC ADDRESS	本機のMACアドレスが表示されます。(表示のみ)

 **NOTE**

- 設定変更後に[UPLOAD]を行うことで設定値を内部に記憶します。各画面で[UPLOAD]を行ってください。記憶した設定値は、本機を再起動することで有効となります。

37 CAMERA IP SETTING

CAMERA IP SETTING		1 / 99
— CAM1 IP ADDRESS —		
192	168	
— CAM1 IP ADDRESS —		
0	20	
CAM1 PORT	CAM1 INF UPLOAD	
49152	(push)	

CAMERA IP SETTING		2 / 99
— CAM2 IP ADDRESS —		
192	168	
— CAM2 IP ADDRESS —		
0	21	
CAM2 PORT	CAM2 INF UPLOAD	
49152	(push)	



CAMERA IP SETTING		99 / 99
— CAM99 IP ADDRESS —		
192	168	
— CAM99 IP ADDRESS —		
0	118	
CAM99 PORT	CAM99 INF UPLOAD	
49152	(push)	

項目	設定内容
CAM1～CAM99 IP ADDRESS	<p>カメラのIPアドレスを設定します。 以下の範囲で設定できます。 (工場出荷時：CAM1を192.168.0.20とし、順に割り振っています。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第1オクテット：1～223 ● 第2オクテット：0～255 ● 第3オクテット：0～255 ● 第4オクテット：1～254 <p>ただし、以下のアドレスは設定不可です。 設定時に設定値をチェックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 0.***、***.0、***.255、127.0.0.1 ● クラスDアドレス(224.0.0.0～239.255.255.255) ● クラスEアドレス(240.0.0.0～255.255.255.255)
CAM1～CAM99 PORT	<p>カメラのポートを設定します。 1～65535の数値が設定可能です。 (工場出荷時：49152)</p>
CAM1～CAM99 INF UPLOAD	[MENU]ダイヤルを押すと、カメラのIPアドレス、ポートが設定されます。

 **NOTE**

- 設定変更後に[UPLOAD]を行うことで設定値が反映されます。各画面で[UPLOAD]を行ってください。[UPLOAD]を行わない場合には本機に反映されません。

38 SD CARD STORE

SD CARD STORE		1 / 1
MODE		
STORE		
SELECT	FILE	NUMBER
ALL		-
EXECUTE		
NO?		

項目	設定値	設定内容
MODE	FORMAT STORE	SDカードの初期化、読み込みまたは保存を選択します。
FILE SELECT	ALL SCENE USER LENS REF	保存するファイルの種別を選択します。 ALL シーンファイル (SCENE1～SCENE8)、ユーザーファイル (USER1～USER3)、リファレンス ユーザーファイル (REF1～REF3)、レンズファイル (LENS1～LENS32) のすべてのファイルを対 象とします。 SCENE シーンファイル (SCENE1～SCENE8) を対象とします。 USER ユーザーファイル (USER1～USER3) を対象とします。 LENS レンズファイル (LENS1～LENS32) を対象とします。 REF リファレンスユーザーファイル (REF1～REF3) を対象とします。
FILE NUMBER	SCENE : 1～8 USER : 1～3 LENS : 1～32 REF : 1～3	[FILE SELECT]で指定したファイル種別を元にデータを選択します。 [FILE SELECT]で「ALL」を選択した場合は選択できません。
EXECUTE	NO? YES?	「YES?」を選択すると、実行します。 ● 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、SDカードを抜いたりしないでください。

NOTE

- 本機は時計機能がないため、保存したファイルの作成日時はカメラ側でファイル保存した日時で設定されます。

39 SD CARD LOAD

SD CARD LOAD		1 / 4
FILE SELECT	GET FILE (push)	
ALL		
PUT FILE		
-		
EXECUTE		
NO?		

SD CARD LOAD		2 / 4
FILE NAME 1	2016/10/01 01:01:01	
FILE NAME 2	2016/10/02 02:02:02	
FILE NAME 3	2016/10/03 03:03:03	



SD CARD LOAD		4 / 4
FILE NAME 7	2016/10/07 07:07:07	
FILE NAME 8	2016/10/08 08:08:08	
FILE NAME 9	2016/10/09 09:09:09	

項目	設定値	設定内容
FILE SELECT	ALL ALL SCENE SCENE ALL USER USER ALL LENS LENS ALL REF REF	読み込むファイルの種別を選択します。 ALL 保存時に、「ALL」で保存したデータを読み込みます。 ALL SCENE 「ALL」で保存したすべてのシーンファイル（SCENE1～SCENE8）のデータを対象とします。 SCENE 1つのシーンファイルを読み込みます。 ALL USER 「ALL」で保存したすべてのユーザーファイル（USER1～USER3）のデータを対象とします。 USER 1つのユーザーファイルのデータを読み込みます。 ALL LENS 「ALL」で保存したすべてのレンズファイル（LENS1～LENS32）のデータを対象とします。 LENS 1つのレンズファイルを読み込みます。 ALL REF 「ALL」で保存したすべてのリファレンスユーザーファイル（REF1～REF3）のデータを対象とします。 REF 1つのリファレンスユーザーファイルのデータを読み込みます。
GET FILE	-	[MENU]ダイヤルを押すと、[FILE SELECT]で選択されている種別のデータをメモリーカードから読み込み、ファイル名の一覧が表示されます。 ファイルの一覧からファイルを選択して[MENU]ダイヤルを押すと、元の画面に戻り[GET FILE]に選択したデータのファイル名が表示されます。
PUT FILE	SCENE1～SCENE8 EXT1 EXT2 USER1～USER3 LENS1～LENS32 REF1～REF3	LOAD先の種別を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [FILE SELECT]が「ALL」、「ALL SCENE」、「ALL USER」、「ALL REF」、「ALL LENS」の場合は選択できません。 • [FILE SELECT]が「SCENE」の場合、「SCENE1」～「SCENE8」と「EXT1」、「EXT2」が選択できます。「EXT1」、「EXT2」を選択した場合のみ、読み込んだデータは本機に保存され、SCENE FILEの[EXT1]ボタンおよび[EXT2]ボタンを押したときにカメラ、CCUに反映されます。 ➡ 「前面パネル4」（24ページ参照） • [FILE SELECT]が「USER」の場合、「USER1」～「USER3」が選択できます。 • [FILE SELECT]が「LENS」の場合、「LENS1」～「LENS32」が選択できます。 • [FILE SELECT]が「REF」の場合、「REF1」～「REF3」が選択できます。
EXECUTE	NO? YES?	「YES?」を選択すると、選択したデータを読み込みます。 <ul style="list-style-type: none"> • 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、SDカードを抜いたりしないでください。

 **NOTE**

- 本機は時計機能がないため、保存したファイルの作成日時はカメラ側でファイル保存した日時で設定されます。

40 REFERENCE



項目	設定値	設定内容
REF.CALL(push)	FCTRY USER1~USER3 REF1~REF3	基準設定情報（リファレンスファイル）を呼び出します。
STORE REF	USER1~USER3 REF1~REF3	現在の設定値を、選択したファイルに上書き保存します。
STORE EXECUTE	-	リファレンスファイルの保存を実行します。

41 AUTO IRIS SETTING

設定値は接続したカメラによって異なります。

AUTO IRIS SETTING			1 / 1
WINDOW SELECT	PEAK RATIO		
FULL	50		
GAIN	IRIS SPEED	LEVEL	
LENS	15	+50	
IRIS RANGE	LENS EXT COMP SW	LENS EXT COMP LV	
NORMAL	OFF	0	

項目	設定内容
WINDOW SELECT	測光範囲を設定します
PEAK RATIO	オートアイリス測光のピーク値と平均値の割合を設定します。
IRIS GAIN	オートアイリスの測光速度の調整を、レンズのアイリスゲインボリュームから行うか、メニューから行うかを切り替えます。通常は[LENS]に設定して、レンズのアイリスボリュームで調整します。
IRIS SPEED	オートアイリススピードを設定します。
IRIS LEVEL	オートアイリスの目標値（明るさ）を調整します。
IRIS RANGE	[IRIS]ダイヤルによるオートアイリスレベルの微調整範囲を設定します。
LENS EXT COMP SW	レンズエクステンダーが有効のときALC補正を設定します
LENS EXT COMP LV	レンズエクステンダーが有効のときALC補正量を設定します。

42 HDR-PAINT

設定値は接続したカメラによって異なります。

HDR-PAINT			1 / 3
HLG BLACK GAMMA			
R	MASTER	B	
0	0	0	
HLG KNEE			
POINT	SLOPE		
80.00	130		
HLG KNEE			
B.GAMMA	KNEE	TYPE	
OFF	OFF	NORMAL	

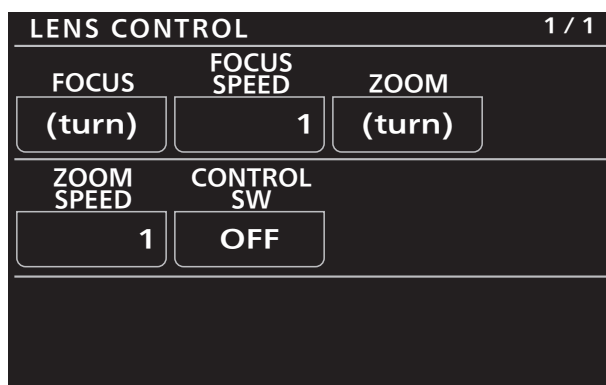
HDR-PAINT			2 / 3
HLG MODE	SDR CNVRT MD		
FIX	FIX		
SHOOTING MODE		DNR LEVEL	DNR SW
NORMAL		3	ON
SDR CONVERT			
GAIN	CLIP	BLACK	
0	-	0	

HDR-PAINT		3 / 3
SDR CONVERT		
POINT	SLOPE	
0	0	

項目	設定内容
HLG BLACK GAMMA R	マスターガンマに対して黒付近の赤色のガンマ特性を調整します。
HLG BLACK GAMMA MASTER	黒付近のガンマ特性を調整します。
HLG BLACK GAMMA B	マスターガンマに対して黒付近の青色のガンマ特性を調整します。
HLG KNEE POINT	[GAMMA MODE]で「VIDEO REC」設定時、ニーポイントを設定します。
HLG KNEE SLOPE	[GAMMA MODE]で「VIDEO REC」設定時、ニースロープを設定します。
HLG B.GAMMA	ブラックガンマの有効/無効を設定します。
HLG KNEE	ニー機能の有効/無効を設定します。
HLG TYPE	HLGタイプを設定します。
HLG MODE	HLGモードを設定します。
SDR CNVRT MD	SDRモードを設定します。
SHOOTING MODE	撮影モードを設定します。
DNR LEVEL	ノイズリダクションのレベルを設定します。
DNR SW	ノイズリダクション機能の有効/無効を設定します。
SDR CONVERT GAIN	SDRのゲインを設定します。
SDR CONVERT CLIP	SDRのクリップを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> AK-UC4000以外のカメラと接続しているときに有効です。（AK-UC4000と接続している場合は「-」と表示されます。）
SDR CONVERT BLACK	SDR映像の黒レベルのオフセットを調整します。 <ul style="list-style-type: none"> AK-UC4000と接続しているときに有効です。（別のカメラと接続している場合は「-」と表示されます。）
SDR CONVERT POINT	SDRのポイントを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> AK-UC4000と接続しているときに有効です。（別のカメラと接続している場合は「-」と表示されます。）
SDR CONVERT SLOPE	SDRのスロープを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> AK-UC4000と接続しているときに有効です。（別のカメラと接続している場合は「-」と表示されます。）

43 LENS CONTROL

AK-UC4000のときに有効です。



項目	設定内容
FOCUS	手動でレンズのフォーカスを調整します。
FOCUS SPEED	フォーカスの動作速度を調整します。
ZOOM	手動でレンズのズームを調整します。
ZOOM SPEED	ズームの動作速度を調整します。
CONTROL SW	本機からのレンズの制御を有効/無効にします。 <ul style="list-style-type: none"> 「OFF」設定時はカメラ側でレンズを制御します。

ソフトウェア

IP接続

IP接続の手順について

本機とCCUをソフトウェアを使って設定する方法について説明します。

IP接続時のシステム構成については下記のページを参照してください。

➡ 「システム接続構成」 (17ページ参照)

接続の流れ

1. ソフトウェアのインストール

パーソナルコンピューターに、本機に付属の「IP簡単設定ソフトウェア」と「ROPセットアップソフトウェア」をインストールする

- 「IP簡単設定ソフトウェア」は、ROPやCCUのIPアドレスを設定するツールです。「ROPセットアップソフトウェア」は、ROPの各種設定(システム設定)を設定するツールです。
- パーソナルコンピューターによる設定を行う場合は、本機に付属の「IP簡単設定ソフトウェア」を使います。

➡ 「IP簡単設定ソフトウェア」 (131ページ参照)

➡ 「ROPセットアップソフトウェア」 (133ページ参照)

2. 機器の接続

本機とCCUをPoE対応スイッチングハブ(100base-TX)経由で、LANケーブルで接続する

- IP設定用のパーソナルコンピューターを接続する必要があるため、必ずスイッチングハブ経由で接続してください。また、本機はPoE給電で動作いたしますので、PoE対応のスイッチングハブをご使用ください。

➡ 「IP接続」 (18ページ参照)

3. パーソナルコンピューターの接続、設定

スイッチングハブ(100base-TX)にLANケーブルでパーソナルコンピューターを接続する
パーソナルコンピューターのネットワーク設定を行う

- パーソナルコンピューターのネットワーク設定は、本機、CCUと同セグメントにしてください。

➡ 「パーソナルコンピューターの接続、設定」 (129ページ参照)

4. 機器のIPアドレスを設定

接続する機器のIPアドレスを「メニューによる設定」、「IP簡単設定ソフトウェアによる設定」のいずれかの方法で設定する。

- メニューによる設定は、各機器のメニュー操作で設定してください。メニュー操作のしかたは各機器の取扱説明書を参照してください。

➡ 「機器のIPアドレスの設定」 (130ページ参照)

5. ROPの各種設定

ROPセットアップソフトウェアを使って各種設定を行う

本機に付属の「ROPセットアップソフトウェア」をパソコンにインストールしてください。

IP接続されているROPの各種設定が可能です。

- 同一システム内のROPのリスト作成
- ROPのシステム設定
- 接続認証の設定

6. 運用を開始する

IP接続の設定について

運用中にIP簡単設定ソフトウェア、ROPセットアップソフトウェアを起動させないでください。ROPの接続が切れ、運用に支障をきたすおそれがあります。

パーソナルコンピューターの接続、設定

「IP簡単設定ソフトウェア」と「ROPセットアップソフトウェア」をインストールしたパーソナルコンピューターをIP接続します。

パーソナルコンピューターのネットワーク設定を行います。

パーソナルコンピューターのネットワーク設定は、接続する機器と同一セグメントに設定してください。

推奨設定は以下のとおりです。

IPアドレス	192.168.0.200 <ul style="list-style-type: none"> 他の機器と重複している場合は変更してください。
--------	--

サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1

機器のIPアドレスの設定

メニュー操作による設定

本機（ROP）のIPアドレスは、ROPメニューの[ROP IP SETTING]で設定します。

➡ 「36 ROP IP SETTING」（117ページ参照）

CCUのIPアドレスは、CCUの取扱説明書を参照してください。

IP簡単設定ソフトウェアによる設定

IP簡単設定ソフトウェアを使用して各機器のIPアドレスを設定します。

➡ 「IP簡単設定ソフトウェア」（131ページ参照）

ROPの各種設定

ROPセットアップソフトウェアを使用して、各種設定を行います。

➡ 「ROPセットアップソフトウェア」（133ページ参照）

IP簡単設定ソフトウェア

ソフトウェアのインストールと起動

IP簡単設定ソフトウェア (EasyIPSetup.exe) は、付属のCD-ROMに収録されています。

付属のCD-ROM内の「Readme.txt」を必ずお読みのうえ、ソフトウェアをインストールしてください。

1. 本機に付属しているCD-ROMを、インストールするパーソナルコンピュータのCD-ROMドライブに入れる
2. CD-ROMに収録されている[EasyIPSetup]フォルダーを、フォルダーごとパーソナルコンピュータのハードディスクにコピーする
3. コピーした[EasyIPSetup]フォルダー内の[EasyIPSetup.exe]をダブルクリックする
IP簡単設定ソフトウェアが起動します。

機器のIPアドレスを設定する

IP簡単設定ソフトウェアを使用して各機器のIPアドレスを設定します。

- 本ソフトウェアでは、ROPおよびCCUもカメラとして表示されます。
- Microsoft® Windows® Vistaをご使用の場合、IP簡単設定ソフトウェアを起動すると、管理者アカウントのパスワードを要求されることがあります。この場合は、コントロールパネルから[ユーザーアカウント制御]を無効にしてください。
- IP簡単設定ソフトウェアは、ルーターを経由した異なるサブネットからは使用できません。
- IPv6には対応していません。

設定手順

1. IP簡単設定ソフトウェアを起動する
IP接続されている機器の一覧が表示されます。
2. 設定するROP、CCUのMACアドレスをクリックし、[ネットワーク設定]ボタンをクリックする



- IPアドレスが競合している場合、該当するカメラのMACアドレスが影付きで表示されます。
3. ネットワークの各項目を入力し、[保存]ボタンをクリックする
 - [接続モード]を「固定IP」に設定します。
 - [IPv4アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]を入力します。
 - その他の設定項目については変更しないでください。

- [保存]ボタンをクリック後、CCU、ROPへの設定が完了するまで約2分かかります。設定が完了する前にACアダプターやLANケーブルを抜くと、設定内容が無効になります。再度、設定をやり直してください。
- ネットワークの設定後、同じネットワーク内に存在する他の機器とIPアドレスが重複すると、正しく動作しません。IPアドレスが重複しないように設定してください。
- 複数のIP簡単設定ソフトウェアから同時にネットワークの設定を行わないでください。

NOTE

- CCUのネットワーク設定は、CCUのメニューより設定してください。（詳細はCCUの取扱説明書を参照してください。）CCUは設定変更が完了してから再起動してください。

ファイアウォールについて

- ファイアウォール（ソフトウェア含む）を導入している場合、全ポートに対してUDPのアクセスを許可してください。
- ファイアウォールが有効に設定されている場合は、ファイアウォールによるプログラムの許可を設定してください。

1. コントロールパネルを起動し[システムとセキュリティ]をクリックする
2. [Windowsファイアウォール]の[Windowsファイアウォールによるプログラムの許可]をクリックする
3. [Internet Explorer]または[EasyIpSetup]の行を選択してから[設定の変更(N)]をクリックのうえ、[Internet Explorer]または[EasyIpSetup]にチェックを入れる
4. [OK]をクリックする

ROPセットアップソフトウェア

ROPセットアップソフトウェア (HRP1000Tool.exe) は、付属のCD-ROMに収録されています。

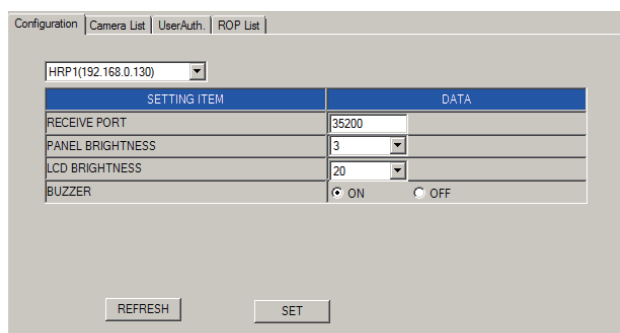
付属のCD-ROM内の「Readme.txt」を必ずお読みのうえ、ソフトウェアをインストールしてください。

1. 本機に付属しているCD-ROMを、インストールするパーソナルコンピューターのCD-ROMドライブに入れる
2. CD-ROMに収録されている[ROPSetup]フォルダーを、フォルダーごとパーソナルコンピューターのハードディスクにコピーする
3. コピーした[ROPSetup]フォルダー内の[HRP1000Tool.exe]をダブルクリックする
ROPセットアップソフトウェアが起動します。

ROPセットアップソフトウェアを使用して、本機の各種設定を行います。

はじめに、[ROP List]タブの画面でROPセットアップソフトウェアへ本機の登録を行います。

登録が完了すると、[Configuration]タブ、[Camera List]タブ、[UserAuth.]タブの画面で各種設定ができます。



ROPセットアップソフトウェアを起動したときは、[Configuration]タブが最初に表示されます。必要なタブをクリックして切り替え、登録や設定を行ってください。

ROPセットアップソフトウェアのご使用に関するお知らせ

ROPセットアップソフトウェアを使ってパーソナルコンピューターで設定を行っているときは、以下の内容にご注意ください。

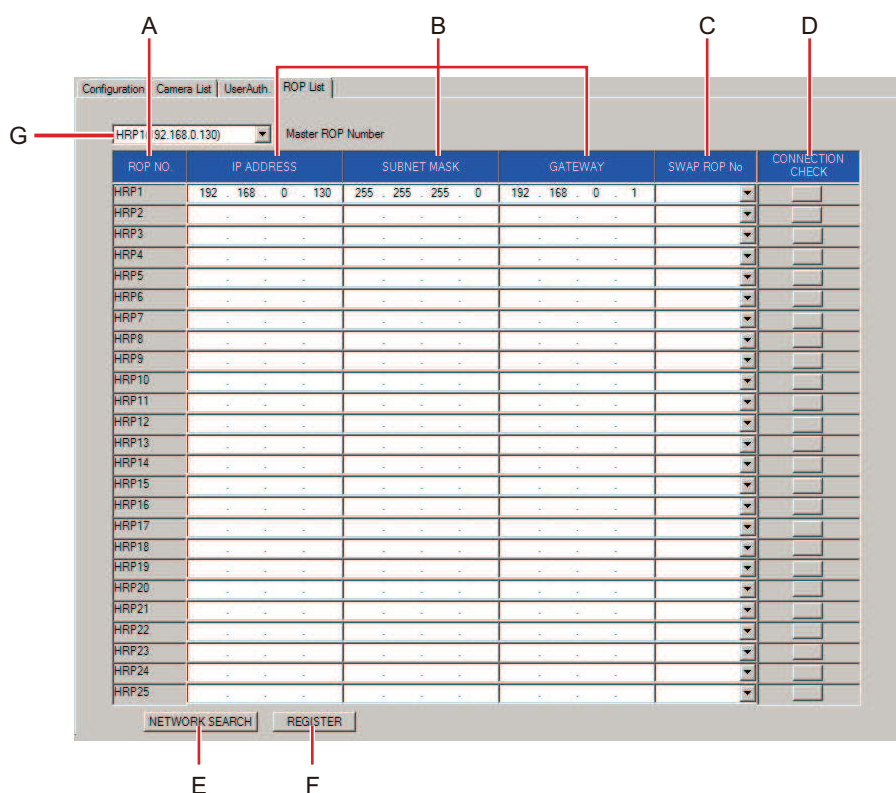
- 本機がセットアップモード中はROPセットアップソフトウェアを起動できません。
- 同一ネットワーク上の他のパーソナルコンピューターで、ROPセットアップソフトウェアを起動させないでください。
- セットアップソフトウェアで接続設定を行った場合、設定データをバックアップすることをお勧めします。
➡ 「ROP DATA SAVE」 (113ページ参照)

ROPセットアップソフトウェアへ本機を登録する[ROP List]

[ROP List]タブで、ROPセットアップソフトウェアから設定を行う本機のIPアドレスを、[HRP1]に登録します。

本機をネットワークに複数台接続する場合は、1台を[HRP1]に登録後、ネットワークに接続されている他のROP (AK-HRP1000) を登録します。

ここで登録したROPは、[Camera List]タブのリストボックスから選択することができます。最大25台まで登録することができます。



- A. ROP NO.欄[ROP NO.]
- B. IPアドレス欄[IP ADDRESS] [SUBNET MASK] [GATEWAY]
- C. SWAP ROP No.欄[SWAP ROP No]
- D. CONNECTION CHECKボタン[CONNECTION CHECK]
- E. NETWORK SEARCHボタン[NETWORK SEARCH]
- F. REGISTERボタン[REGISTER]
- G. 設定対象選択リストボックス[Master ROP Number]

設定手順

1. [HRP1]のIPアドレスを設定する

1. [ROP NO.]欄 (A) の[HRP1]の行に、登録する本機のIPアドレスを入力する
2. [REGISTER]ボタン (F) をクリックして、[HRP1]の設定を確定する

2. 複数台の接続を設定する

次の2通りの設定方法があります。

- [HRP1]の設定と同じ手順で、設定されているIPアドレスをIPアドレス欄[IP ADDRESS] [SUBNET MASK] [GATEWAY] (B) に入力する。
- [NETWORK SEARCH]ボタン (E) をクリックして同一セグメント上にあるROPの情報を取得する。
[HRP2]～[HRP25]に一覧が表示されます。

それぞれ、接続の情報が正しければ、[REGISTER]ボタン (F) をクリックして、情報を確定します。[Master ROP Number] (G) のリストボックスに、設定されたROPが表示されます。

- 一覧のROP NO.を変更したい場合は、下記のページをご覧ください。
➡ 「一覧のROP NOを変更する」 (134ページ参照)

3. ネットワークでROPの接続確認をする

確認するROP NO.の行にある[CONNECTION CHECK]ボタン (D) をクリックします。

- 正常に通信ができているときは、該当するROPのタリーディスプレイのレッドタリーが、約3秒間点滅します。点滅しない場合は、設定や接続を確認してください。

一覧のROP NOを変更する

上記の手順2で、一覧のROP NO.を変更したい場合は、2つのROP NO.の間で接続先として設定されているROPを入れ替えます。

1. [SWAP ROP No]欄 (C) の▼をクリックする

ROP NO.[HRP2]～[HRP25]が表示されます。

2. 入れ替えを行いたいROP NO.を選択する

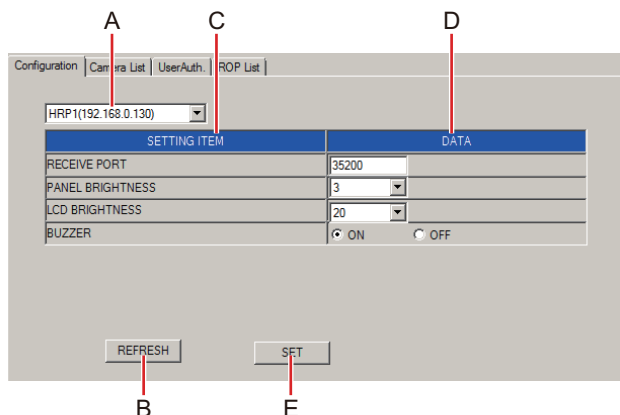
3. [REGISTER]ボタン (F) をクリックして変更を確定する

- [REGISTER]ボタン (F) を押した後の設定に必要な時間は、接続しているROPの台数によって増加します。25台接続時は、最大10分かかります。

本機の機器設定を行う [Configuration]

[Configuration]タブで本機の機器設定を行います。

本機にパーソナルコンピュータを初めて接続したときは、まず[REFRESH]ボタン (B) をクリックし、本機に設定されている値を取得してください。



- A. 設定対象選択リストボックス [Master ROP Number]
- B. REFRESHボタン [REFRESH]
- C. 設定項目 [SETTING ITEM]
- D. DATA欄 [DATA]
- E. SETボタン [SET]

設定手順

1. 設定する本機 (ROP) を選択する。
[Master ROP Number] (A) の▼をクリックすると、設定を行うことができるROPのIPアドレスのリストが表示されます。この中から、設定を行いたいROPのIPアドレスを選択します。
リストは、[ROP List]タブで登録したROPが選択対象となります。
2. [Configuration]タブの表示を更新する。
[REFRESH]ボタン (B) をクリックし、本機に設定されている接続情報をパーソナルコンピュータに取り込み、[Configuration]タブの表示を更新します。
3. 機器設定を行う。
手順1で選択したROPの設定項目 [SETTING ITEM] (C) が表示されます。
[DATA]欄 (D) で必要な項目の設定を行ってください。

RECEIVE PORT	受信ポートを設定します。
PANEL BRIGHTNESS	パネル面LED表示の輝度を設定します。
LCD BRIGHTNESS	液晶画面の輝度を設定します。
BUZZER	ブザー音 (操作音/コール音) の有効、無効を設定します。

- 上記項目は、本体のセットアップモードでも設定可能です。

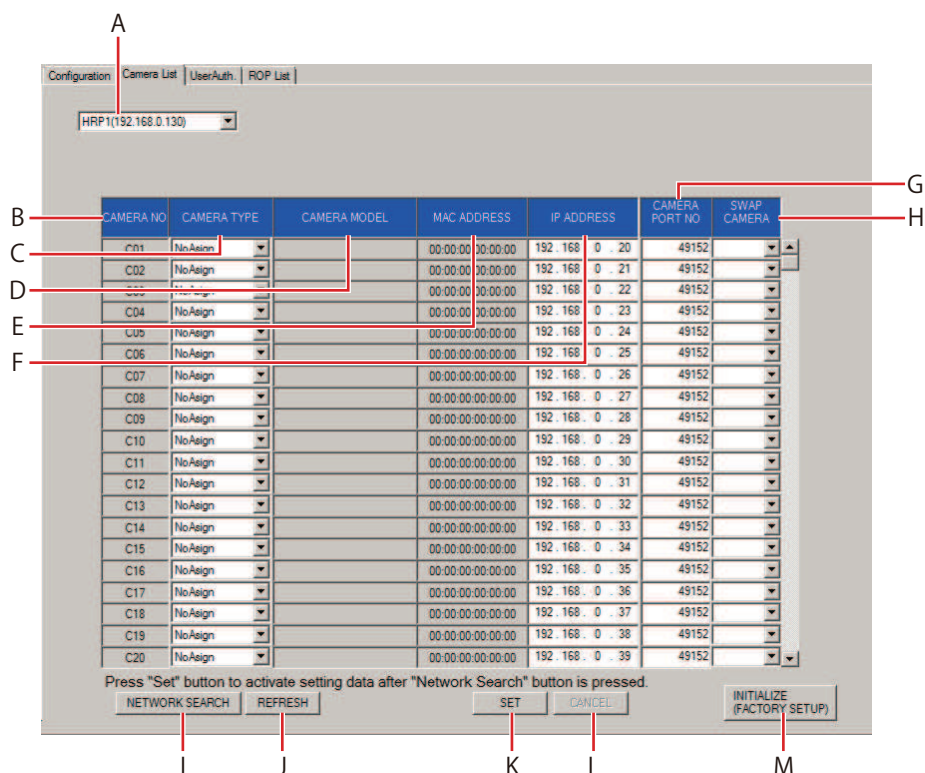
4. 設定した内容を確定する。
設定が終了したら[SET]ボタン (E) を押して内容を確定してください。
[Do you agree to rebooting after data transfer?]のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックしてください。
[CANCEL]ボタンをクリックすると設定内容は本機に反映されません。

カメラとの接続設定をする [Camera List]

[Camera List]タブで、ネットワークに接続されているROPとカメラとの接続設定を行います。

本機にパーソナルコンピュータを初めて接続したときは、まず[Master ROP Number] (A) で設定するROPを選択し、[REFRESH]ボタン (J) をクリックしてください。[Master ROP Number] (A) で選択したROPに設定されている値を取得します。

[C01]~[C19]の各行に、各カメラ番号の接続設定情報が一覧で表示されます。



- A. 設定対象選択リストボックス [Master ROP Number]
- B. CAMERA NO欄 [CAMERA NO]
- C. CAMERA TYPE欄 [CAMERA TYPE]
- D. CAMERA MODEL欄 [CAMERA MODEL]
- E. MAC ADDRESS欄 [MAC ADDRESS]
- F. IP ADDRESS欄 [IP ADDRESS]
- G. CAMERA PORT NO欄 [CAMERA PORT NO]
- H. SWAP CAMERA欄 [SWAP CAMERA]
- I. NETWORK SEARCHボタン [NETWORK SEARCH]
- J. REFRESHボタン [REFRESH]
- K. SETボタン [SET]
- L. CANCELボタン [CANCEL]
- M. INITIALIZE (FACTORY SETUP)ボタン [INITIALIZE (FACTORY SETUP)]

設定手順

1. 接続設定を行うROPを選択する。
 [Master ROP Number] (A) の▼をクリックすると、設定可能なROPのIPアドレスリストが表示されます。この中から、設定を行うIPアドレスのROPを選択します。
 [ROP List]タブで登録したROPが選択対象となります。
2. [Camera List]タブの表示を更新する。
 [REFRESH]ボタン (J) をクリックし、[Master ROP Number] (A) で設定されているROPの接続情報をパーソナルコンピュータに取り込み、[Camera List]タブの表示を更新します。
3. 接続設定を行う。
 手順1で選択したROPの接続設定情報が表示されます。
 必要な項目の設定を行ってください。

接続設定

CAMERA NO	CAMERA TYPE	CAMERA MODEL	MAC ADDRESS	IP ADDRESS	CAMERA PORT NO	SWAP CAMERA
C01	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.20	49152	
C02	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.21	49152	
C04	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.22	49152	
C06	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.25	49152	
C07	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.26	49152	
C08	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.27	49152	
C09	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.28	49152	
C10	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.29	49152	
C11	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.30	49152	
C12	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.31	49152	
C13	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.32	49152	
C14	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.33	49152	
C15	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.34	49152	
C16	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.35	49152	
C17	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.36	49152	
C18	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.37	49152	
C19	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.38	49152	
C20	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.39	49152	

Press "Set" button to activate setting data after "Network Search" button is pressed.

NETWORK SEARCH REFRESH SET CANCEL INITIALIZE (FACTORY SETUP)

B	CAMERA NO欄	カメラ番号が表示されます。
C	CAMERA TYPE欄	<p>▼をクリックして接続種別を選択します。 接続種別は、本体のROPメニューにある[CONNECT SETTING]と同じ内容です。</p> <p>【Serial】、【NetWork】 AK-HC5000シリーズ、AK-UC3000シリーズ、AK-UC4000シリーズと接続するときに選択します。 【Serial】：シリアル接続、【NetWork】：IP接続</p> <p>【Serial(AK)】、【NetWork(AK)】 AK-HC3500Aシリーズ、AK-HC3800シリーズと接続するときに選択します。 【Serial(AK)】：シリアル接続、【NetWork(AK)】：IP接続</p> <p>【Serial(AW)】、【NetWork(AW)】 AK-UB300シリーズと接続するときに選択します。 【Serial(AW)】：シリアル接続、【NetWork(AW)】：IP接続</p> <p>【NoAssign】 設定なし（初期設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 【Serial】、【Serial(AK)】、【Serial(AW)】は、複数のカメラに設定を行えません。
D	CAMERA MODEL欄	<p>[NETWORK SEARCH]ボタン (I) で取得された接続機器を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> シリアル接続しているCCUは表示されません。
E	MAC ADDRESS欄	<p>本機のカメラ番号 [CAMERA NO] (B) とリンク設定されているカメラのMACアドレスを表示します。 [NETWORK SEARCH]ボタン (I) で取得されたカメラ番号の機器のMACアドレスが表示対象になります。</p>
F	IP ADDRESS欄	<p>接続先とするCCUのIPアドレスを指定します。入力した後、[SET]ボタン (K) をクリックして、変更内容を反映させてください。</p>
G	CAMERA PORT NO欄	<p>接続先とするCCUのポート番号を設定します。 入力した後、[SET]ボタン (K) をクリックして、変更内容を反映させてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定可能な範囲 1～65535 ただし、この範囲の値であっても以下の値を設定することはできません。 20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、995、10669、10670 通常時の設定 通常は以下のとおり設定します。ただしカメラ側で変更されている場合には、その設定にあわせる必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> CCU IP：49152

H	SWAP CAMERA欄	2つのカメラ番号間で、接続先として設定されているカメラを入れ替えます。▼をクリックすると、カメラ番号「C01」～「C99」が表示されます。この中から、入れ替えを行いたいカメラ番号を選択します。変更後は、[SET]ボタン (K) をクリックして、変更内容を反映させてください。
I	NETWORK SEARCHボタン	ボタンをクリックして[NETWORK SEARCH]を実行すると、新たに検出したリンク設定の対象のカメラ (CAMERA NO) が黄色で表示されます。 [SET]ボタン (K) をクリックすると設定が確定し、本機の接続先IPアドレスが更新されます。 [CANCEL] (L) ボタンをクリックすると、設定は反映されません。 <ul style="list-style-type: none"> • [NETWORK SEARCH]を実行してもカメラが検出されなかった場合は、一度[SET]ボタン (K) を押してから手動設定をしてください。その後、再度[SET]ボタン (K) を押して設定を確定してください。 • [NETWORK SEARCH]中にDuplicationエラーが発生した場合は、画面上のIPアドレスを変更してください。画面上に表示されている2台以上のカメラのIPが重複している場合や、画面上に表示されているカメラと、新たにネットワーク上に追加しようとしているカメラのIPが重複している場合、Duplicationエラーが表示されます。エラーが出ているIPアドレスを変更して本機に登録後、[NETWORK SEARCH]を実施してください。
J	REFRESHボタン	本機に設定されている接続情報をパーソナルコンピュータに取り込み、[Camera List]タブの表示を更新します。
K	SETボタン	[Camera List] タブで行った変更内容を確定し、本機の設定値を更新します。 [Do you agree to rebooting after data transfer?]のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックしてください。 [CANCEL]ボタン (L) をクリックすると設定内容は本機に反映されません。
L	CANCELボタン	[NETWORK SEARCH]ボタン (I) 実施後の変更内容をキャンセルします。
M	INITIALIZE (FACTORY SETUP) ボタン	[INITIALIZE (FACTORY SETUP)]ボタン (M) をクリックすると、本機の設定が初期化されます。 IPアドレスも初期化 (工場出荷値 : 192.168.0.130) されます。

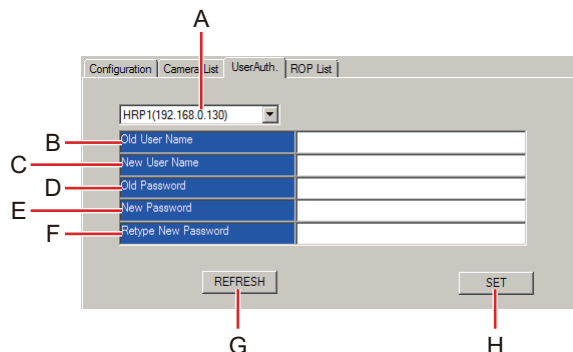
カメラ番号設定時のご注意

各AK-HRP1000の[Camera List]の設定において、以下の点に注意してください。

- 各カメラの番号を先に決定し、[Camera List]はそれぞれのカメラ番号がすべてのROP設定で同一となるように設定してください。
例えば、CCU、ROPそれぞれ2台をシリアル接続、IP接続する場合、HRP1の[Camera List]は、[C01]をシリアル接続、[C02]をIP接続と設定してください。HRP2の[Camera List]は、[SWAP CAMERA]を用いて[C01]をIP接続、[C02]をシリアル接続に設定してください。
- [NETWORK SEARCH]で検索を行うと、同一セグメント上のカメラ、CCUがすべて (C01、C02) 検出されますが、シリアル接続で設定済みのカメラは「NoAssign」に変更してください。

ユーザー認証の設定を行う [UserAuth.]

ユーザー認証機能が有効になっているCCUを制御するためには、ユーザー名とパスワードを本機に設定する必要があります。この設定は、本ソフトウェアの[User Auth.]タブで行います。ユーザー認証機能は、IP接続したCCUを制御するときのみ有効です。CCUの取扱説明書もあわせて参照してください。



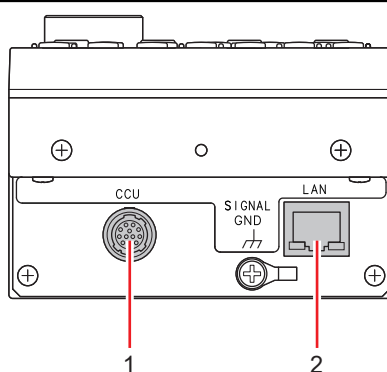
- 設定対象選択リストボックス [Master ROP Number]
- Old User Nameボックス [Old User Name]
- New User Nameボックス [New User Name]
- Old Passwordボックス [Old Password]
- New Passwordボックス [New Password]
- Retype New Passwordボックス [Retype New Password]
- REFRESHボタン [REFRESH]
- SETボタン [SET]

設定手順

1. **[Master ROP Number] (A) で、接続設定を行うROPを選択する**
▼をクリックすると、設定可能なROPのIPアドレスリストが表示されます。この中から設定するIPアドレスのROPを選択します。
[ROP List]タブで登録したROPが選択対象となります。
2. **[REFRESH]ボタン (G) をクリックする**
[Master ROP Number] (A) で選択したROPに設定されているユーザー名が[Old User Name] (B) に表示されます。
 - 工場出荷時のROPは、「admin」が設定されています。
3. **[New User Name] (C) に、新たに設定するユーザー名を入力する**
4. **[Old Password] (D) に、選択されたROPに設定されているパスワードを入力する**
 - 入力された文字は「*」で表示されます。
5. **[New Password] (E) に、新たに設定するパスワードを入力する**
 - 入力された文字は「*」で表示されます。
6. **[Retype New Password] (F) に、手順5.で入力したパスワードと同じパスワードを入力する**
 - 入力された文字は「*」で表示されます。
7. **[SET] ボタン (H) をクリックする**
[Master ROP Number] (A) で選択されたROPに、ユーザー名とパスワードが設定されます。
 - ユーザー認証機能が有効になっているカメラを制御するときは、ここで設定したユーザー名とパスワードが用いられません。接続先で設定したユーザーIDとパスワードを設定してください。

資料

コネクタピンアサイン表



1 〈CCU〉コネクタ

(ヒロセ電機製：HR10A-10R-10PC (71))

ピン番号	機能	極性	信号の流れ
1	CAM DATA (H)	+	CAM→ROP
2	CAM DATA (L)	-	CAM→ROP
3	CAM CONT (H)	+	ROP→CAM
4	CAM CONT (L)	-	ROP→CAM
5	CAM No.A		
6	CAM No.B		
7	CAM No.C		
8	CAM No.D		
9	12 V		
10	GND		

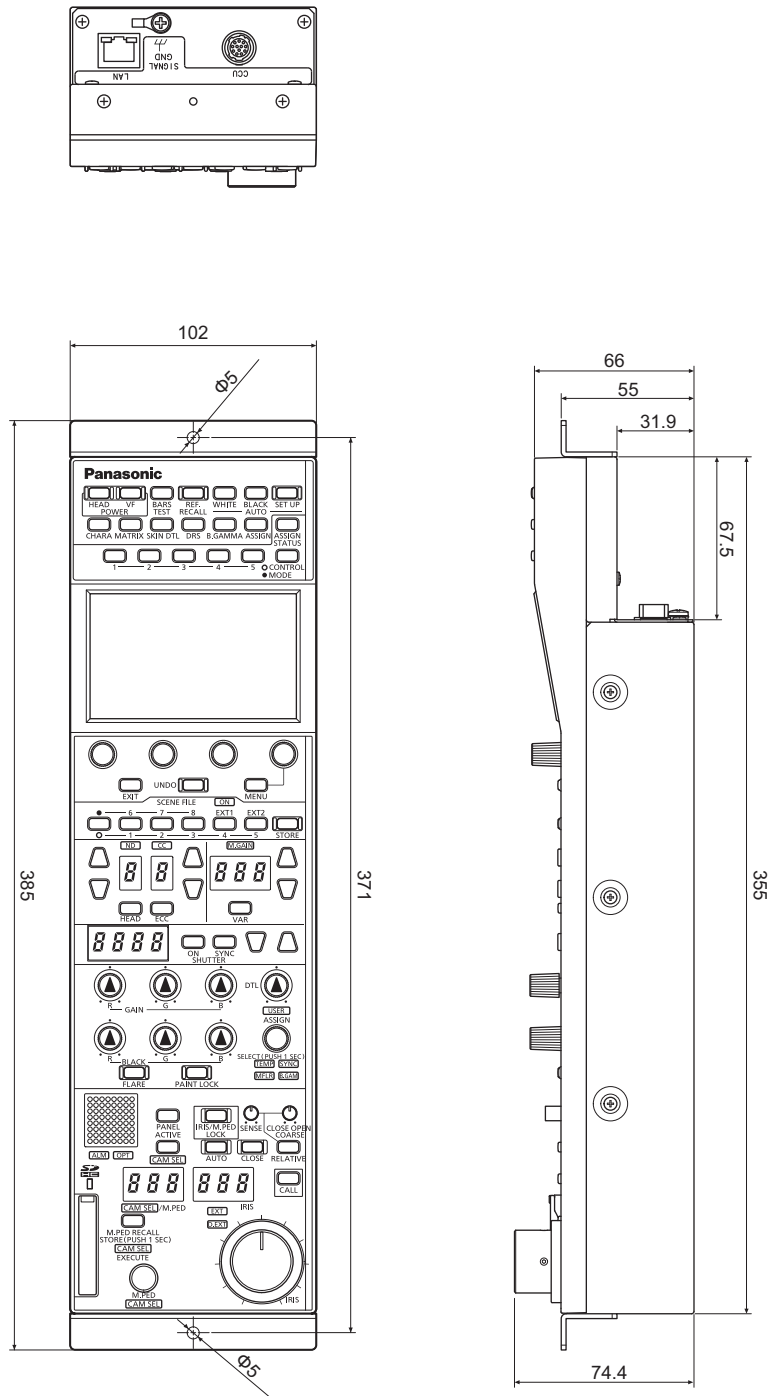
2 〈LAN〉コネクタ

100base-TX準拠です。

PoE規格対応のネットワーク機器（IEEE802.3af準拠）と接続できます。

外形寸法図

単位：mm



保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（同梱印刷物に添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間 [8年]

当社は、リモートオペレーションパネルの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- 保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除し、SDメモリーカードを外して、ご依頼ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認くださいのうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	リモートオペレーションパネル
品番	AK-HRP1000
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

総合

電源	DC (≡) 12 V (カメラ給電DC10 V - 16 V) DC (≡) 42 V - 57 V (PoE電源)
消費電力	0.51 A (カメラ給電DC10 V - 16 V) 0.15 A (PoE電源)

 は安全項目です。

カメラ/CCU制御	コントロール信号 (カメラ本体 / CCU制御) 電源給電 DC16 V (CCU接続時) *1、DC12 V (カメラ接続時) *1
制御ケーブル最大延長距離	カメラ本体接続時：20 m CCU接続時：50 m
動作温度	0℃～40℃
保存温度	-20℃～60℃
湿度	90%以下
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	102 mm × 385 mm × 74.4 mm
質量	約1.7 kg

*1：CCUから給電可

索引

- **A**
 - ALMインジケータ 33
 - ASSIGN 50
 - ASSIGN STATUSボタン 22
 - ASSIGNステータス画面 51
 - ASSIGNボタン 21
 - AUTO BLACKボタン 20
 - AUTO SET UPボタン 20
 - AUTO WHITEボタン 20
 - AUTOボタン 31
 - AUTO IRIS SETTING 125
- **B**
 - B.GAMMAボタン 20
 - B.GAMインジケータ 29
 - BARS/TESTボタン 19
 - BLACK GAMMA 81
 - BLACK R, BLACK G, BLACK Bダイヤル 28
 - BLACK SHADING 70
- **C**
 - CALLボタン 33
 - CAM INFO 49
 - CAM SELボタン 30
 - CAM USER SW TEMP 77
 - CAMERA IP SETTING 119
 - CAMERA MENU CONTROL 108
 - CCU MENU CONTROL 109
 - CCUコネクタ 34, 140
 - CCインジケータ 25
 - CCセットボタン 25
 - CCディスプレイ 25
 - CCフィルター 39
 - CHARAボタン 20
 - CLOSEボタン 31
 - COARSEダイヤル 31
 - COLOR CORRECTION 95
 - COLOR TEMP 75
 - CONNECT SETTING 115
 - CONTROL/MODEボタン 22
- **D**
 - D.EXTインジケータ 30
 - DNR 99
 - DRS 84
 - DRSボタン 20
- DTLダイヤル 29
- **E**
 - ECC 40, 76
 - ECCボタン 26
 - EXITボタン 23
 - EXTインジケータ 30
- **F**
 - FLARE 79
 - FLAREボタン 28
- **G**
 - GAIN R, GAIN G, GAIN Bダイヤル 28
 - GAMMA 80
- **H**
 - HD CHROMA 72
 - HD DETAIL 85
 - HD SKIN TONE DTL 89
 - HDR-PAINT 126
 - HEADボタン 25
- **I**
 - IP簡単設定ソフトウェア 131
 - IP接続 129
 - IRIS 44
 - IRIS/M.PED LOCKボタン 32
 - IRISダイヤル 30
 - IRISディスプレイ 31
- **K**
 - KNEE 82
- **L**
 - LANコネクタ 34, 140
 - LENS CONTROL 128
 - LENS FILE/EDIT 101
 - LINEAR MATRIX 93
- **M**
 - M.GAIN 41
 - M.GAINインジケータ 26
 - M.GAINセットボタン 26
 - M.GAINディスプレイ 26
 - M.PED 43
 - M.PED RECALL STORE/CAM SEL EXECUTE
ボタン 32
 - M.PED/CAM SELダイヤル 30
 - M.PED/CAM SELディスプレイ 31

MATRIXボタン	20	SHUTTERセットボタン	27
MENUダイヤル	23	SHUTTERディスプレイ	27
MENUボタン	23	SIGNAL GND端子	34
MFLRインジケータ	29	SKIN CORRECTION	98
MONITOR	103	SKIN DTLボタン	20
N		STOREボタン	24
NDインジケータ	25	SYNCインジケータ	29
NDセットボタン	25	SYSTEM CAM	104
NDディスプレイ	25	SYSTEM CCU	106
NDフィルター	38	T	
O		TEMPインジケータ	29
OPT LEVEL	49	U	
OPTインジケータ	33	UHD CHROMA	73
P		UHD DETAIL	87
PAINT LOCK	37	UHD SKIN TONE DTL	91
PAINT LOCKボタン	28	UNDOボタン	23
PAINT SWITCH	68	USERインジケータ	29
PANEL ACTIVEボタン	33	V	
PEDESTAL	71	VARボタン	26
POWER HEADボタン	19	W	
POWER VFボタン	19	WHITE CLIP	83
R		WHITE SHADING	78
REF. RECALLボタン	19	あ	
REFERENCE	124	アイリス	44
RELATIVEボタン	30	色温度	40
RGB GAIN	74	液晶パネル	23
ROP IP SETTING	117	オートセットアップ	35
ROP SETTING	110	か	
ROPセットアップソフトウェア	133	カメラナンバー/タリーディスプレイ	33
ROPメニュー	52	さ	
操作	53	シーンファイル	36
表示	52	シーンファイルページ切り替えボタン	24
S		シャッター	42
SCENE	49	シリアル接続	17
SCENE FILE ONインジケータ	24	ステータス画面	48
SD CARD LOAD	122	ま	
SD CARD STORE	121	マスターゲイン	41
SD DETAIL	88	マスターペダスタル	43
SELECTダイヤル	29, 46	メモリーカードアクセスインジケータ	33
SENSEダイヤル	31	メモリーカードスロット	33
SHUTTER	42	ら	
SHUTTER ONボタン	27	ラックマウント	15
SHUTTER SELECT	100		
SHUTTER SPEED	69		
SHUTTER SYNCボタン	27		

■ 番号

1/6, 2/7, 3/8, 4/EXT1, 5/EXT2 (SCENE FILE)ボタン	24
1~5(CONTROL/MODE)ボタン	22

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2016